

# 令和4年度

## 主要施策の成果



©青山剛昌／小学館

# 目 次

## ○ 一般会計

議会事務局、監査委員事務局	1	産業振興課	56
総務課	4	観光交流課	71
企画財政課	15	地域整備課	75
町民課	20	教育総務課	82
福祉課	26	生涯学習課	97
健康推進課	39	中央公民館	108
環境エネルギー課	48	図書館	112
農業委員会	53		
その他			
新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金活用事業	115		

## ○ 特別会計・企業会計

国民健康保険事業特別会計	119	大栄歴史文化学習館特別会計	129
介護保険事業特別会計	121	後期高齢者医療事業特別会計	131
農業集落排水事業特別会計	126	水道事業会計	132
栄財産区特別会計	127	下水道事業会計	134
合併処理浄化槽事業特別会計	128	風力発電事業会計	136

## ○ 資料編

令和4年度各会計別決算状況	139
令和4年度一般会計決算状況	140
令和4年度普通会計決算状況	142
財政状況・財政指標の推移	145
財政健全化判断比率等の状況	150
財政健全化判断比率の推移	158

款	1 議会費	項	1 議会費	予算現額	決算額
		目	1 議会費	100,652千円	100,075千円

①議員経費事業 3,730千円

(1) 本会議の開催状況

区分	R4年							R5年			
	第3回 臨時会	第4回 定例会	第5回 臨時会	第6回 定例会	第7回 臨時会	第8回 臨時会	第9回 定例会	第1回 臨時会	第2回 臨時会	第3回 定例会	
招集日	5/16	6/7	7/14	9/5	10/13	12/1	12/6	1/17	2/10	3/6	
会期	1日	14日	1日	17日	1日	1日	15日	1日	1日	17日	
会議日数	1日	5日	1日	6日	1日	1日	5日	1日	1日	6日	
議案	町長提出	5件	4件	1件	22件	2件	5件	13件	3件	2件	26件
	委員会提出	1件	3件	0件	1件	0件	1件	1件	0件	0件	5件
	議員提出	0件	0件	0件	1件	0件	0件	0件	0件	0件	4件
一般質問	-	12人	-	10人	-	-	13人	-	-	11人	
	-	26問	-	18問	-	-	27問	-	-	22問	
傍聴者数	0人	16人	0人	16人	0人	0人	44人	1人	0人	17人	

(2) 委員会、全員協議会の開催状況

区分	全員協議会	議会運営委員会	広報広聴常任委員会	総務教育常任委員会	民生経済常任委員会
会議日数	19日	12日	27日	5日	5日

区分	特別委員会		
	道の駅整備	定数及び報酬等	ふるさと館再整備
会議日数	1日	5日	1日

(3) 請願・陳情状況

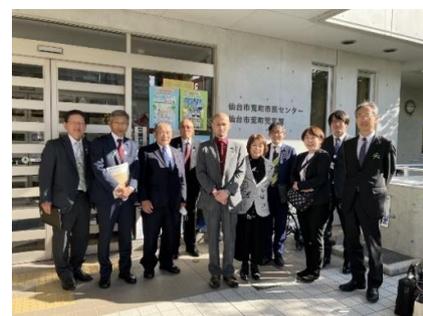
区分	受理件数	審査件数	その他
請願	4件	4件	0件
陳情	8件	12件	0件

(4) 意見書提出状況  
提出件数 9件

(5) 調査研究活動及び議員研修旅費 1,843千円  
【議員先進地視察調査研究】

○総務教育常任委員会：10/25～27

- ・秋田県横手市「横手市増田まんが美術館」  
(マンガに特化した美術館や記念館を建設した経緯と財源、生涯教育への役割について)
- ・宮城県仙台市「若林区荒町市民センター」  
「青葉区中央市民センター」  
(複合施設となっている公営公民館の建設の経緯と建設財源、運営状況について)
- ・宮城県石巻市「石ノ森萬画館」  
(設立の経緯と住民のかかわりについて)



複合施設の運営状況を視察

○民生経済常任委員会：10/5～7

- ・北海道ニセコ町  
(「SDGs未来都市」に選定された町における持続可能なまちづくりの取り組みについて)
- ・北海道下川町  
(「SDGs未来都市」及び「自治体SDGsモデル事業」に選定された町における持続可能なまちづくりの取り組みについて)



持続可能なまちづくりの取り組みを視察

【他団体との意見交換会】

- ・ 民生経済常任委員会と農政委員会との意見交換会  
(まちづくりビジョン及び農業振興計画について)

【議員研修】

- ・ 北栄町議会議員研修：議会におけるハラスメントと人権（議場） 【議員14人】
- ・ 新議員研修会（三朝町） 【議員5人】
- ・ 鳥取県町村議会広報研修会（湯梨浜町） 【議員2人】
- ・ 鳥取県町村議会議員研修会（三朝町） 【議員14人】
- ・ 鳥取県町村議会女性議員研修会（湯梨浜町） 【議員2人】
- ・ 中部町村議会議員研修（湯梨浜町） 【全議員】
- ・ 市町村議会議員研修（滋賀県大津市） 【議員2人】

- (6) 議会報告会（議会出前座談会）の開催状況  
6回（西園、西新田場、由良宿2区、江北、土下、駅前）



議会出前座談会

- (7) 一般会議の開催状況  
・ 鳥取中央育英高等学校同窓会と意見交換 【議員13人】

- (8) 議長交際費 161千円  
議長または議会が行政執行上必要な外部との交際に要した経費  
慶弔費等 13件

- (9) 議会だより発行事業 1,287千円  
発行回数 年4回 発行部数 5,400部

- (10) 高校生議会  
鳥取中央育英高等学校生徒による高校生議会  
14人の高校生が参加し、一般質問(13問)を実施。  
高校生議長 (1人) ・ 高校生議員 (13人)



質問する高校生議員(高校生議会)

【成果】

先進地への調査研究や議員研修に参加することで自己研さんと資質の向上を図り、適正で効率的な町政運営の確保に務めることができた。  
議会報告会を開催し、町民との意見交換の場を設け、町民参加を推進することができた。  
議会だよりを発行し、情報公開、情報発信を積極的に行うことができた。  
高校生議会を開催し、若い世代に町政への関心を持ってもらうことができた。

②事務局経費事業 5,060千円

- ・ 会議録調製並びに検索システム委託 4,212千円
- 定例会・臨時会の会議録を調製し、ホームページで公開した。

【成果】 議会の情報公開、情報発信を広く行うことができた。  
(議長交際費の公開、会議結果の公表等)



事前打合せの様子(高校生議会)

③議会関係負担金事業 1,853千円

- ・ 県議長会負担金 1,749千円
- ・ 中部議長会負担金 104千円

款	2 総務費	項	6 監査委員費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 監査委員費	1,300千円	1,220千円

①監査委員事業 1,220千円

- (1) 監査委員 2人  
 ・ 識見監査委員 (代表監査委員)  
 ・ 議会選出監査委員

(2) 活動状況

○検査

- ・ 例月現金出納検査 12回 (毎月1回)
- ・ 現金及び現金等価物実査 (年1回)



遊具安全点検

○監査

- ・ 定期監査 (年2回)  
5月
  - ・ 委託状況について
  - ・ 遊具安全点検



定期監査報告

11月

- ・ 補助金状況について
- ・ 工事状況について
- ・ 現地確認

○審査

- ・ 決算審査 (11会計)
- ・ 基金の運用状況審査 (17件)
- ・ 普通会計の財政健全化審査 (8件)
- ・ 公営企業会計の経営健全化審査 (3件)



現金等価物実査

○各種研修会

- ・ 鳥取県町村監査委員研修会：2回 (湯梨浜町)
- ・ 中部町村監査委員協議会研修会：1回 (琴浦町)
- ・ 町村監査委員全国研修会(東京都 渋谷公会堂)

【成果】年間監査計画を作成し、公正で合理的かつ能率的な町の行政運営の確保を行うことができた。計画的に監査を実施し、監査結果は講評や町長報告によりフィードバックしたほか、告示、ホームページ、町報により町民に向けて公表した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 一般管理費	1,294,494千円	1,269,571千円
		①一般管理事業		111,116千円	
		・職員研修関係		2,937千円	
		団体等が実施する各種研修に参加させたほか、町単独で財政研修等を実施した。 (研修参加の状況)			
		年度	R2年度	R3年度	R4年度
		中央研修	2人	3人	1人
		県自治研修	92人	43人	34人
		町単独研修	799人	272人	839人
		・町長交際費		735千円	
		(交際費の支出件数)			
		年度	R2年度	R3年度	R4年度
		支出件数	32件	28件	59件
		・電話、郵便代等通信運搬費		16,560千円	
		・職員健康診断経費(ドック含む)		4,310千円	
		・公共施設産業廃棄物収集委託料		2,897千円	
		【成果】職員を各種の研修に参加させ、職員の資質の向上及び能力開発を行った。リモート等による研修の実施により、研修受講者数は改善した。			
		②電算処理委託事業		54,178千円	
		公会計、住基、税務、上下水道、介護保険、給与、農業行政、国民健康保険、保育料、特別医療、後期高齢、選挙、町営住宅などの業務処理に係る経費を支出。 基幹システム運用委託：(株)鳥取県情報センター			
		【成果】各業務の電算処理委託によって、事務の効率化を図った。			
		③一般管理関係負担金事業		2,636千円	
		・県、中部町村会負担金		2,613千円	
		・行政不服審査会共同設置負担金		21千円	
		【成果】各種団体等への負担を行い、事務運営等の効率化を図った。			
		④事務用品一括購入事業		2,320千円	
		・事務用品等消耗品費		2,320千円	
		【成果】事務用品等の一括購入により、各部署での購入事務・経費を節減した。			
		⑤鳥取県中部ふるさと広域連合負担金事業		23,755千円	
		・管理費(一般管理費、議会費、監査委員費等)		20,204千円	
		・休日急患診療所及び病院輪番制病院運営費		3,551千円	
		【成果】休日急患診療所等の運営に対して負担することにより、運営体制を維持した。			
		⑥行政改革事業		26,400千円	
		・北条支所窓口、庶務業務委託料		26,179千円	
		【成果】民間で可能なことは民間委託し、定型業務の効率化を図った。			

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 会計管理費	287千円	273千円

- ①会計管理事業 273千円  
銀行オンラインシステム回線使用料、事務用品の購入に要した経費

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 財産管理費	612,922千円	573,581千円

- ①町有財産管理事業 11,199千円

- ・罹災建物修繕費 172千円
- ・町有建物災害共済保険料 6,688千円
- ・町有施設電気設備保安委託料 4,339千円

- ②大栄庁舎管理事業 19,919千円

- 大栄庁舎の維持管理をするとともに、施設の老朽化に伴う修繕などを行った。
- ・光熱水費 10,534千円（大栄改善センターの電気料金含む）
  - ・修繕費（施設修繕） 636千円
  - ・委託料（清掃、冷暖房機保守、植木管理など） 6,830千円
  - ・備品購入費（事務イスなど） 1,020千円

【成果】不良箇所の修繕や維持管理を行い、安定した行政サービス提供を行うことができた。

- ③公用車管理事業 4,867千円

- ・公用車燃料費 1,191千円
  - ・自動車損害共済保険料 1,380千円
  - ・公用車修繕費 1,299千円
- （大栄庁舎集中管理車両）

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
普通乗用自動車	3台	3台	3台
軽自動車	9台	13台	12台

【成果】各課が共有して利用する公用車の管理を行い、移動手段を確保できた。

- ④防災無線維持管理事業 6,187千円

- ・防災無線保守点検業務委託料 2,640千円
  - ・備品購入費（個別受信機80台） 2,904千円
- （戸別受信機の設置状況）

区 分	R2年度末	R3年度末	R4年度末
一般家庭	4,945台	4,996台	5,032台
企業等	58台	61台	61台
自治会・公共施設	136台	136台	136台

【成果】防災行政無線設備を維持管理することにより、情報伝達手段の確保を図った。

- ⑤天神いこいの広場管理事業 953千円

- ・遊具設置工事請負費（ブランコ） 439千円
- ・維持管理委託料（みどり2区）、トイレ清掃委託料 402千円

【成果】広場の維持管理を行うとともにブランコを新設し町民の交流に寄与した。

## ⑥天神桜づつみ管理事業 325千円

- ・維持管理委託料（江北／東新田場） 325千円

【成果】桜づつみ（2か所）の維持管理を行い、桜見物など町民憩いの場として活用できた。

## ⑦北条多目的広場管理事業 1,584千円

- ・芝生維持管理委託料 675千円  
（芝刈、散水、施肥等）
- ・広場作業倉庫設置工事費 440千円
- ・光熱水費 53千円
- ・植木管理、トイレ清掃委託料 277千円



芝生化完成記念グラウンドゴルフ大会

【成果】芝生化完成記念グラウンドゴルフ大会や記念植樹を開催し、町民の交流に寄与した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 北条庁舎管理費		

## ①北条庁舎管理事業 7,187千円

- ・光熱水費 5,862千円
- ・施設管理委託料（警備、清掃、消防設備等） 1,244千円
- ・鳥取中部ふるさと広域連合事務所経費負担金（町収入）

	R2年度	R3年度	R4年度
	4,215千円	4,210千円	5,122千円

【成果】施設の維持管理を行い、支障なく鳥取中部ふるさと広域連合事務所等で活用できた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 北条支所管理費		

## ①北条支所管理事業 3,379千円

北条支所としての総合窓口業務と北条健康福祉センターの維持管理を行った。

- ・光熱水費 1,323千円
- ・修繕費（建物・設備） 297千円（玄関エントランス雪持ち設置など）
- ・施設管理委託料（警備、消防設備、清掃等） 539千円  
（窓口取扱件数の状況）

年度	R2年度	R3年度	R4年度
窓口取扱数	19,776件	21,328件	19,148件
うち現金取扱数	5,540件	5,677件	4,613件

（北条健康福祉センターの利用状況）

年度	R2年度	R3年度	R4年度
回 数	218回	117回	197回
利用者	4,745人	1,764人	3,055人

【成果】施設の維持管理を行い、安定した行政サービスの提供や事故のない施設活用ができた。

## ②北条地区振興事業 461千円

住民有志が集い、コロナウイルス感染対策を実施して北条地区振興の活動を実施した。

- ・消耗品費（会議等消耗品） 107千円
- ・印刷製本費（広報紙製作） 325千円

【成果】「あつまらいや北条」を中心に地域住民交流の場「まつり」の開催や学校等と「児童もち米作り体験」、「異世代交流記念植樹」等を実施。コロナ禍においても記憶や記録に残る地域振興への活動機会を提供した。



3年ぶりの開催となった  
第5回北条ふるさとまつり

## ③公用車管理事業 1,207千円

（北条庁舎集中管理車両）

区分	R2年度	R3年度	R4年度
マイクロバス	2台	2台	2台
軽自動車	1台	1台	1台

【成果】バス予約・運転手手配手続きの北条支所一元化により、利用者の利便性が向上した。また事務の効率化も図れ適切に管理・運営できた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 北条改善センター費		
				3,659千円	3,139千円

## ①北条改善センター管理事業 3,139千円

- ・光熱水費 2,254千円
- ・施設修繕費（照明スイッチ等修理） 64千円
- ・施設管理委託料（警備、消防設備、清掃等） 686千円

（センターの利用状況）

年度	R2年度	R3年度	R4年度
回 数	83回	141回	196回
利用者	4,896人	12,258人	17,549人

【成果】多くの方に安全に施設を使っていただけのように、適切な維持管理を実施した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 大栄改善センター費		
				52,380千円	52,372千円

## ①大栄改善センター管理事業 52,372千円

- ・修繕費（ステージ、玄関ホール照明修繕など） 635千円
- ・センター外壁及び防水改修工事 47,860千円
- ・センター外壁及び防水改修工事設計監理委託料 1,650千円
- ・アスベスト対策のための煙突修繕工事 700千円

（センターの利用状況）

年度	R2年度	R3年度	R4年度
回 数	1,702回	1,441回	1,244回
利用者	20,456人	13,205人	16,267人

【成果】大規模な修繕工事を行い、施設の長寿命化を図ることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	47,383千円	41,069千円

## ①自治体DX推進事業 1,823千円

町のデジタル施策を総合的、効果的に推進するため、庁内に副町長を最高責任者（CIO）とする推進体制を構築。

自治体DX推進計画に記載の重点取組事項にプロジェクトチームを発足し、また、CIO補佐官にデジタル専門人材を配置し、DXを推進した。

- ・北栄町DX推進計画の策定（令和4年12月）
- ・デジタル人材（CIO補佐官）支援業務委託料 1,823千円

【成果】町DX推進計画によって、めざす将来像や基本方針を明らかにすることができた。

## ②コミュニティ助成事業 9,900千円

一般財団法人自治総合センターが実施する助成事業を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
交付自治会	北尾、西高尾	国坂、みどり二区 大島、由良宿7区	上種、弓原浜、みどり南、高千穂	東園、東亀谷 妻波、さつきヶ丘 団地

【成果】助成制度を活用することにより、自治会活動に必要な設備を購入することができ、自治会の財政的な負担軽減となった。

※写真は整備した設備の一部



遊具の導入(東亀谷)



卓球台の導入(妻波)



パイプ椅子の導入(さつきヶ丘)



LED照明の導入(東園)

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 自治会活動促進費	15,185千円	14,598千円

## ①自治会総合交付金事業 14,398千円

- (1) 自治会運営交付金 12,310千円  
自治組織の活性化を図るため、全自治会に事務費等の補助を行った。
- (2) 防犯灯維持管理交付金 1,064千円  
61自治会に対し、自治会が設置した防犯灯の電気料金の3分の1の補助を行った。
- (3) 再生可能エネルギー交付金 1,024千円  
63自治会に対し、自治会が設置した太陽光発電設備などに対して補助を行った。

## ②自治会集会施設整備費補助金事業 200千円

- ・自治会が行った集会施設のバリアフリー化等整備に対し助成を行った。  
助成自治会 1自治会

【成果】町と地域（自治会）との連携を強化するとともに、自治活動の推進を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	11 交通安全対策費	4,379千円	4,175千円

## ①交通安全対策事業 2,116 千円

交通指導員を配置し、交通安全パトロール、イベント等で交通指導を行った。

- ・交通安全指導員出動手当 743 千円

(交通指導員等の状況)

年度		R2年度	R3年度	R4年度
交通指導員数(定員22人)		19人	19人	20人
活動 延人数	研修長時間指導	12人	11人	12人
	啓発パトロール等	313人	349人	252人

(本町で発生した交通死亡事故等の状況) ……県警資料

年度		R2年	R3	R4年
交通事故死亡者数		1人	1人	1人
人身事故件数		17件	24件	28件

【成果】全国交通安全運動期間の取り組みを中心に、交通事故の犠牲が多い子どもや高齢者への交通安全啓発を実施し、交通安全意識の向上を図った。

## ②交通安全施設整備事業 1,822 千円

カーブミラーの修繕、整備を行った。

(カーブミラー整備等の状況)

年度		R2年度	R3年度	R4年度
カーブミラー修繕		46基	39基	22基
カーブミラー設置		2基	2基	1基

【成果】カーブミラーの新設・修繕により、町内の交通安全に寄与した。

## ③交通安全負担金事業／交通安全補助金事業 237 千円

- ・倉吉地区交通安全指導員連絡協議会負担金 22 千円
- ・交通安全協会倉吉地区協会負担金 6 千円
- ・ルートナイン交通安全対策協議会負担金 20 千円
- ・交通安全協会北栄支部活動費補助金 189 千円

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 光ファイバーネットワーク施設管理費	77,432千円	76,835千円

## ①光ファイバーネットワーク施設管理事業 76,835 千円

各種情報の提供、地域住民のコミュニティの醸成、農業構造の改善を図るための光ファイバーネットワーク施設の管理を行った。

- ・光ファイバー施設修繕費 1,338 千円
- ・伝送路ケーブル新設・移設・撤去工事 27,630 千円
- ・電柱共架料、自営柱用地借上料 6,830 千円
- ・光ファイバーネットワーク施設保守 19,698 千円
- ・備品購入費(ONU 140台) 8,008 千円

【成果】光ファイバーネットワーク施設を適切に維持管理することにより、安定した各種サービス提供を図った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																
		目	13 情報処理費	30,074千円	29,750千円																
<p>①情報処理事業 <b>29,750千円</b></p> <p>機器及び各庁舎及び出先施設を結ぶネットワークの維持管理を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行政情報システム保守委託 18,944千円</li> <li>・パソコン等備品購入費 3,273千円 (パソコン23台、プリンター1台)</li> <li>・自治体ICT共同化推進等県負担金 2,504千円</li> </ul> <p>【成果】庁内ネットワークの維持管理に努め、業務の効率化を図った。</p>																					
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																
		目	14 防犯対策費	4,967千円	4,747千円																
<p>①防犯対策事業 <b>4,747千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町設置防犯灯、カメラ電気料金 1,725千円</li> <li>・LED化対策工事請負費 2,446千円</li> <li>・環境にやさしいLED防犯灯整備補助金 573千円</li> </ul> <p>(防犯灯整備等の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公設防犯灯整備</td> <td>26灯</td> <td>35灯</td> <td>18灯</td> </tr> <tr> <td>自治会整備補助</td> <td>13自治会</td> <td>9自治会</td> <td>11自治会</td> </tr> <tr> <td>防犯カメラ整備</td> <td>1基</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】防犯灯、防犯カメラの整備により、町内の防犯、環境にやさしいまちづくりを推進した。</p>						年度	R2年度	R3年度	R4年度	公設防犯灯整備	26灯	35灯	18灯	自治会整備補助	13自治会	9自治会	11自治会	防犯カメラ整備	1基	-	-
年度	R2年度	R3年度	R4年度																		
公設防犯灯整備	26灯	35灯	18灯																		
自治会整備補助	13自治会	9自治会	11自治会																		
防犯カメラ整備	1基	-	-																		
款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																
		目	15 諸費	805千円	297千円																
<p>①諸費事業 <b>279千円</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉吉地区防犯協議会負担金 250千円</li> <li>・安全運転運行管理者協議会負担金 29千円</li> </ul> <p>②自衛隊募集事業 <b>18千円</b></p> <p>自衛隊鳥取地方本部倉吉地域事務所及び北栄町自衛隊友の会と連携し、自衛官募集にかかる広報、啓発活動を実施した。</p> <p>(新入隊の状況)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>北栄町内</td> <td>0人</td> <td>4人</td> <td>1人</td> </tr> </tbody> </table>						年度	R2年度	R3年度	R4年度	北栄町内	0人	4人	1人								
年度	R2年度	R3年度	R4年度																		
北栄町内	0人	4人	1人																		
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																
		目	1 選挙管理委員会費	349千円	146千円																
<p>①選挙管理委員会事業 <b>146千円</b></p> <p>選挙管理委員会の開催 5回開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員会の主な内容</li> </ul> <p>各種選挙人名簿登録、裁判員候補者予定者の選定、検察審査員候補者の選定 住民投票資格者名簿の作成、投票機会の確保対策と実施</p>																					

款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	2 選挙啓発費	76千円	30千円																							
<p>①選挙啓発事業 <b>30千円</b> (県明るい選挙推進負担金含む)</p> <p>実施事業等  北栄町明るい選挙推進協議会の開催 令和5年2月16日開催  主権者教育に関する授業(選挙出前講座)の実施 令和5年1月18日開催  明るい選挙啓発ポスター募集事業 令和4年5月~9月募集  鳥取県明るい選挙推進協議会連合会負担金 4千円</p> <p>【成果】町内の高校で主権者教育に関する授業(選挙出前講座)を実施し、明るい選挙の推進を行った。</p>																												
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	5 参議院議員通常選挙費	10,623千円	10,609千円																							
<p>①参議院議員通常選挙事業 <b>10,609千円</b></p> <p>公示日 令和4年6月22日  投票日 令和4年7月10日  投票率 55.35%</p>																												
款	2 総務費	項	4 選挙費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	8 鳥取県知事・議会議員選挙費	5,743千円	3,788千円																							
<p>①鳥取県知事・議会議員選挙事業 <b>3,788千円</b></p> <p>告示日 令和5年3月23日・31日  投票日 令和5年4月9日  投票率 知事選挙投票率 58.67% 県議会選挙投票率 58.36%</p>																												
款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額																							
		目	1 常備消防費	214,646千円	210,378千円																							
<p>①中部ふるさと広域連合負担金(消防)事業 <b>210,378千円</b></p> <p>常備消防として整備している鳥取中部ふるさと広域連合消防局への負担金支出。  (火災発生件数等)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">区 分</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">火災発生</td> <td>北栄町内</td> <td>7件</td> <td>6件</td> <td>7件</td> </tr> <tr> <td>広域連合内</td> <td>28件</td> <td>35件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">救急出動</td> <td>北栄町内</td> <td>537件</td> <td>533件</td> <td>659件</td> </tr> <tr> <td>広域連合内</td> <td>4,472件</td> <td>4,677件</td> <td>5,350件</td> </tr> </tbody> </table>						区 分		R2年度	R3年度	R4年度	火災発生	北栄町内	7件	6件	7件	広域連合内	28件	35件	38件	救急出動	北栄町内	537件	533件	659件	広域連合内	4,472件	4,677件	5,350件
区 分		R2年度	R3年度	R4年度																								
火災発生	北栄町内	7件	6件	7件																								
	広域連合内	28件	35件	38件																								
救急出動	北栄町内	537件	533件	659件																								
	広域連合内	4,472件	4,677件	5,350件																								

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 非常備消防費	14,060千円	11,415千円

## ①消防団活動事業 7,879 千円

町消防団の消防活動における出動経費などの支弁を行うとともに、必要な消防ホースなどの消防器具や団員装備の整備を実施。

(町消防団の状況)

(人数は年度末)

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
体制	1本部・5分団	1本部・5分団	1本部・5分団
実数/定員	94人/110人	92人/110人	93人/110人
うち女性団員数	8人	8人	8人

(町消防団の出動等の状況)

区分	R2年度		R3年度		R4年度		
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	
出 動	火 災	7件	175人	6件	96人	3件	128人
	非火災	9件	59人	0件	0人	1件	37人
	捜 索	0件	0人	0件	0人	0件	0人
	警 戒	1件	16人	1件	78人	0件	0人
操法水防訓練等	16件	291人	15件	223人	26件	273人	
会議・研修等	17件	96人	14件	50人	22件	55人	
火災予防広報等	42件	329人	47件	388人	54件	436人	

【成果】火災出動や警報発令時における警戒出動を行ったほか、操法訓練・水防訓練活動や、女性消防団員などによる防火啓発活動を行い、災害対応能力を強めた。

## ②消防関係負担事業 3,535 千円

- ・ 県、郡消防協会負担金 269 千円
- ・ 鳥取県町村消防災害補償組合負担金 417 千円
- ・ 消防団員退職報奨金掛金負担金 2,112 千円
- ・ 消防賞じゅつ金負担金 440 千円

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 消防施設費	10,640千円	9,018千円

## ①消防施設設置事業 9,018 千円

- ・ 消火栓工事負担金（水道会計へ） 2,877 千円
- ・ 消火栓維持管理負担金（ " ） 600 千円

(消火栓修繕等の状況)

区分	R2年度	R3年度	R4年度
消火栓修繕	14か所	8か所	8か所
消火栓新設	-	-	-
防火水槽	修繕1、撤去1、標識更新17	修繕1、撤去1、標識更新4	-

【成果】消火栓等の維持管理を行い、火災予防・消防団活動の安全確保を行った。

款	8 消防費	項	1 消防費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 災害対策費	27,233千円	26,164千円

## ①災害対策事業 6,152千円

- ・備蓄品購入費 1,739千円（飲料水、毛布、アルファ米ほか）
  - ・災害対策費用保険掛金 861千円
  - ・災害見舞金 100千円（火災1件）
- （防災訓練等の状況）

区分		R2年度	R3年度	R4年度
防災会議	開催日	R3.2.17	R3.3.18	R5.3.15
	内 容	計画の見直し等	計画の見直し等	計画の見直し等
防災訓練	開催日	R2.9.6	中止	R4.9.4
	主会場	大栄中学校		大栄改善センター
	想 定	水害/コロナ対策		水害/コロナ対策
防災士資格 取得(累計)	町職員	1人	2人	1人（累計17人）
	一 般	3人	6人	12人（累計38人）
他市町村災害への 職員応援派遣		派遣なし	派遣なし	派遣なし

（警報等による町の警戒等体制の配備状況）

区分	R2年度	R3年度	R4年度
警戒体制配備	大雨等2、大雪等4	大雨等2、大雪等3、暴風2	暴風2、大雪2
非常体制配備	-	大雨等1	-
避難所開設	-	大雨等2	-
避難指示	-	大雨等1（7/7）	-

※大雨等=大雨警報、洪水警報 大雪等=大雪警報、暴風雪警報

【成果】警報発令ごとに警戒体制等を配備し対応した。

## ②防災用備品購入補助金事業 1,900千円

- コミュニティ助成事業（地域防災組織育成）助成金 1,900千円
- 松神自治会自衛消防団 防災資機材購入

## ③自主防災組織育成事業 4,736千円

- 自主防災組織、自衛消防団の運営や訓練、資機材購入に対して、交付金等を支給した。
- （自主防災組織等の状況）

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
自主防災組織数	48組織	48組織	48組織
自衛消防団（隊）数	50団、4隊	50団、4隊	50団、4隊
資機材整備組織数	39組織	33組織	44組織
訓練活動実施組織数	42組織	28組織	32組織

## ④空家等対策事業 6,658千円

- ・助言等の実施件数 助言指導 9件、勧告 0件、命令 0件
- （空家除却費助成等の状況）

区 分		R2年度	R3年度	R4年度
老朽危険空家	件数	10件	6件	4件
	除却費助成金額	16,600千円	9,189千円	6,539千円
空家把握数（年度末）		284件	283件	279件

【成果】危険空家の除却を促し、地域住民の安心・安全に寄与した。

## ⑤自治会除雪活動支援事業 1,533 千円

(除雪等補助の状況) …1/2補助

区 分		R2年度	R3年度	R4年度
除雪費用	自治会数	24自治会	32自治会	35自治会
	金額	1,190千円	1,675千円	1,283千円
除雪機購入	自治会数	-	-	1自治会
	金額	-	-	250千円

## ⑥被災者住宅再建支援基金積立事業 1,270 千円

指定自然災害で被害を受けた世帯へ給付金を支給するための基金拠出 (H30年～10年間)

・被災者住宅再建支援負担金 1,270 千円

## ⑦災害対応人件費事業 698 千円

・警戒体制配備による職員給与費 698 千円

## ⑧防災拠点等設置事業 3,217 千円

B&amp;G財団が実施する「防災拠点の設置及び災害時相互支援体制構築事業」の令和3年度(～令和5年度)から実施。2年目の令和4年度は、導入した機械等の操作研修を中心に事業を実施した。

- ・B&G財団指定 広域研修(東京)旅費 425 千円
- ・防災備蓄品購入(毛布、ベッド、テントなど) 473 千円
- ・小型車両系建設機運転等業務の教育負担金 1,714 千円



ドローン操作研修



油圧ショベル操作研修



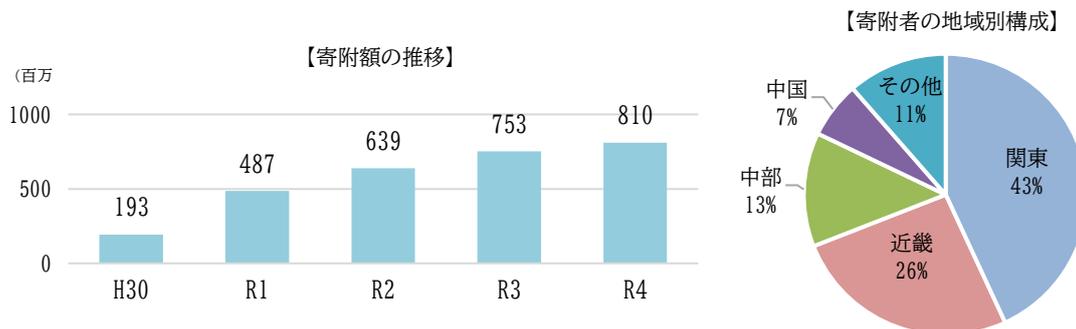
救助艇を使った訓練

【成果】B&amp;G財団事業の活用により、町職員等で使用・操作できる機器・設備が充実した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	1 一般管理費	1,294,494千円	1,269,571千円

①ふるさと北栄基金事業 787,034千円

ふるさと納税制度を活用して受け入れた寄附金を財源として、返礼品などに係る経費のほか、基金への積立を行った。



②統一的な基準による地方公会計整備事業 770千円

財務書類（貸借対照表、行政コスト計算書、資金収支計算書、純資産変動計算書）を作成した。

【成果】統一的な基準による財務書類を作成し分析することにより、世代間の公平性や住民一人当たりの行政コストなど詳細な財務情報を公開することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	2 広報費	4,898千円	4,831千円

①広報事業 4,831千円

- ・町報印刷 3,825千円  
「広報 北栄」発行

区分	R2年度	R3年度	R4年度
ページ数(延べ)	252ページ	248ページ	252ページ
発行部数(部/月)	5,600	5,600	5,600

- ・ホームページ保守業務 772千円

- ・多様な情報発信

区分	R2年度	R3年度	R4年度
フェイスブック	いいね! 投稿数 4,112 722	4,480 1,184	4,922 978
ツイッター	フォロワー数 投稿数 2,728 427	3,365 422	4,661 423
インスタグラム	フォロワー数 投稿数 1,489 135	1,636 234	1,811 336
ユーチューブ	フォロワー数 投稿数 1,350 14	1,680 42	1,880 100
外国人向け紹介動画の作成(英語)	2本	5本	0本

- ・外部広報誌仕分け作業委託料 125千円  
県等が発行する広報誌の仕分け作業を、障がい者就労施設に委託した。

【成果】町報やSNSなど情報伝達手段の多様化に対応し、情報を受ける人が利用しやすい情報媒体で情報を発信することができた。



広報北栄 2022年7月号

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 財産管理費	612,922千円	573,581千円

## ①財政調整基金積立金事業 486,769千円

財政運営の安定のため、町の「貯金」にあたる財政調整基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R2年度	R3年度	R4年度
基金残高	1,459,187	1,756,617	2,243,386

## ②減債基金積立金事業 4千円

将来の起債償還財源となる減債基金を積み立てた。

(単位：千円)

	R2年度	R3年度	R4年度
基金残高	44,062	104,680	104,684

## ③普通財産管理事業 1,926千円

町有地の維持管理、町有地売却業務の民間委託、町有地の貸付、不要財産の売却を行った。

(単位：千円)

区分	R2年度	R3年度	R4年度
町有地貸付収入	4,095	4,531	4,148
財産売却収入	2,796	8,937	167,079

- ・町有地管理委託料 1,187千円
- ・駐車区画線修繕 208千円

【成果】町有財産の管理を行い、所有財産を適切に維持することができた。  
また、未利用町有地の貸付と不要財産の売却により、自主財源の確保につなげた。

## ④コナン駅前広場等管理事業 2,413千円

コナン駅前広場及び旧鳥取県運転免許試験場の維持管理を実施した。

- ・光熱水費 616千円
- ・修繕費(建物・設備) 380千円
- ・トイレ清掃委託料 1,305千円

## ⑤風のまちづくり基金積立金事業 37,434千円

環境施策、子どもの育成支援に係る施策等の財源として活用した。

- ・創エネ設備等設置補助金事業、省エネ住宅リフォーム補助金事業、再生資源収集委託事業、再生可能エネルギー等導入事業、地域新電力推進事業、自治会交付金事業、観光振興事業、子育て総務事業、在宅育児支援事業ほか

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	47,383千円	41,069千円

## ①企画事業 1,670千円

- ・倉吉未来中心管理運営負担金 1,359千円
- ・地方創生推進会議開催 2回
- ・男女共同参画審議会開催 1回

【成果】まちづくりビジョンや総合戦略、男女共同参画推進計画の点検を通じて、町の取り組みの方向性の確認や事業成果の振り返りができた。

## ②女性団体連絡協議会補助金事業 300千円

町内10団体で組織する女性団体連絡協議会に対し、補助金を交付した。

【成果】倉吉市で開催された日本女性会議への参加、女性と町長と語る会の開催、男女共同参画フォーラムの開催等、男女共同参画社会の実現に向けて広く町民に啓発を図る女性団体連絡協議会の活動に対し補助金を交付し、団体の活動を通じて町民の連携やネットワークづくりにつながった。

## ③地域の自立活性化活動支援交付金事業 790千円

地域の活性化・自立に向けて積極的な活動を行おうとするコミュニティに対し、活動に必要な交付金を交付した。

	R2年度	R3年度	R4年度
交付団体数	5団体	2団体	4団体

団体名	事業名
コール・ウインドミル	コール・ウインドミルコンサート
あつまらいや北条	北条ふるさとまつり
高千穂自治会	持続可能な「ふるさと高千穂」の実現
東亀谷振興会	東亀谷振興会事業

【成果】意欲ある団体の自主的な活動を支援し、地域の賑わいを創出することができた。

## ④交通対策事業 16,491千円

輸送人員の減少による利用者の減少で維持が困難なバス路線に対し、路線維持に必要な経費を補助した。

## ・路線維持費補助金

(単位：千円)

事業者	路線	R2年度	R3年度	R4年度
日交	北条線（西倉吉～倉吉駅～江北～由良駅）	3,966	5,045	5,124
日ノ丸	赤碕線（倉吉駅～由良駅入口～赤碕駅）	6,238	5,932	6,110
	栄線（倉吉駅～西亀谷）	736	690	702
合計		10,940	11,667	11,936

## ・乗りあいタクシー運行支援事業費補助金

区分	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	412人	250人	302人
補助金額	872千円	525千円	640千円

## ・鳥取砂丘コナン空港連絡バス運行支援事業補助金

区分	R2年度	R3年度	R4年度
利用者数	190人	416人	1,483人
補助金額	740千円	740千円	549千円

【成果】地域住民の生活交通路線及び観光客の移動手段の確保するために、バス路線、乗りあいタクシーの運行を維持することができた。また、共助交通に関心のある団体の組織立ち上げまでを支援し、新年度の本格稼働につなげることができた。

⑤しあわせ♡創生事業 1,430千円

若い男女が安心して結婚できるような環境づくり、新婚生活を応援する取り組みを行った。

- ・広域婚活事業負担金 200 千円
- 婚活イベント 5回、個別相談・引き合わせ 21枠
- エントリー共催イベント 2回



婚活イベントの様子

- ・結婚新生活支援事業補助金 1,200 千円
- 新婚生活の応援として、新居の住居費や引越費用を支援 支援件数4件
- ・婚活支援事業負担金 30 千円
- 県が開設した婚活サポートセンター「えんトリー」の登録料を支援
- 新規加入5人、更新1人

【成果】婚活イベント・パーティ参加者：99人  
 婚活イベント・パーティでのカップル成立数：22組（うち町内7組※）  
 ※カップルのどちらかが町民の数

⑥官学連携事業 8千円

地域をフィールドにした実習の場を提供した。

- ・地域探究の時間（鳥取中央育英高校）  
2年生 82人 13テーマに分かれてフィールドワークに取り組んだ。
- ・鳥取大学地方創生政策体験学習  
9月3、4日 鳥取大学工学部2人  
体験学習：マンガのまちづくりについて学び、その成果を北栄ツアーに活かした。
- ・Let's Go北栄ツアー（鳥取中央育英高校、鳥取大学、由良宿まちづくりの会等）  
7月14日 町長との意見交換会 10月15日 北栄ツアー2022

【成果】生徒・学生の課題発見、解決力の向上のための実践型学習として、地域資源等活動の場を提供することができた。



Let's go北栄ツアーと町長の意見交換会  
 (7月14日)

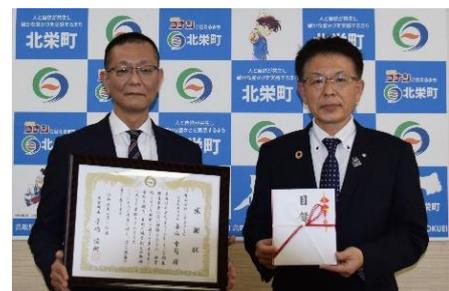


高校生ガイドによる「Let's go北栄ツアー2022」  
 (10月15日)

⑦関係人口創出事業 400千円

地域DXや関係人口をはじめとした人の流れの創出・拡大を図るため、企業版ふるさと納税（人材派遣型）により、専門的知識・ノウハウを有する企業人材の受け入れを行った。

【成果】企業版ふるさと納税（人材派遣型）の受け入れ態勢を整備できた。（条例改正など）  
 ※関係人口創出につながるモデル展開業務については令和5年度へ繰り越し



企業版ふるさと納税（人材派遣型）  
 辞令交付式及び感謝状贈呈式(2月10日)

款	2 総務費	項	5 統計調査費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	1 統計費	985千円	915千円								
①統計調査事業 848千円 主な調査 人口移動調査、学校基本調査、就業構造基本調査 【成果】各施策の基礎資料など、広く利用に供される基礎データの取得につながった。													
款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	1 元金	689,452千円	689,452千円								
①町債償還元金事業 689,452千円													
款	10 公債費	項	1 公債費	予 算 現 額	決 算 額								
		目	2 利子	29,682千円	25,874千円								
①町債償還利子事業 25,874千円													
<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>起債残高</td> <td>7,366,453千円</td> <td>7,463,965千円</td> <td>7,327,413千円</td> </tr> </tbody> </table>							R2年度	R3年度	R4年度	起債残高	7,366,453千円	7,463,965千円	7,327,413千円
	R2年度	R3年度	R4年度										
起債残高	7,366,453千円	7,463,965千円	7,327,413千円										

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	47,383千円	41,069千円

## ①消費者行政推進事業 1,249千円

中部ふるさと広域連合負担金 1,155千円  
啓発物資等消耗品費 94千円

消費生活相談窓口（町民課内）及び中部消費生活センター（専門相談員設置）にて消費者相談の受付・対応を行った。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
相談受付件数	56件	78件	76件

町報やチラシなどを通じ、消費者トラブルについて注意喚起を行ったほか、中部消費生活センター相談員と連携し、出前講座など地域住民への啓発活動を実施した。

- ・出前講座（シニアクラブ、いきいきサロン） 1回
- ・小学生金銭講座 1回
- ・チラシ、パンフレット配布等での啓発活動 3回
- ・高齢者等への「自動通話録音装置」の貸出 22台（貸出）/29台（保有）※年度末現在

【成果】専門相談員を置く中部消費生活センターとの連携により、相談体制が充実した。地域住民への各種啓発活動（消費者講座等）により、特殊詐欺などの情報提供を行い、消費者被害の予防に努め、『くらしの安心・安全』につなげることができた。

款	2 総務費	項	2 徴税费	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 税務総務費	91,020千円	89,923千円

## ①税務総務事業 12,665千円

土地管理システム等委託料 950千円  
標準宅地鑑定委託料 5,639千円 など

【成果】経常的な税務事務を実施し、課税や徴収環境の安定を図ることができた。

## ②税務総務関係負担金事業 1,333千円

軽自動車関係負担金 798千円  
地方税共同機構負担金 478千円 など

【成果】関係団体からの必要な税務情報の入手等、適正課税につながった。

## ③中部ふるさと広域連合負担金事業 4,934千円

（単位：千円）

滞納徴収分	R2年度	R3年度	R4年度	
広域連合負担金	7,386	8,058	8,169	※国保会計分を含む。
広域連合徴収額	4,004	3,877	5,259	※延滞金含む

（単位：千円）

年度	徴収状況				処理状況				
	委託金額 (A)	徴収額		徴収率 (B)/(A)	受託 人数	処理人数			処理率
		本税 (B)	延滞金			完結	執行停止	取消	
R2	6,363	3,111	893	48.9%	54	38	1	0	72.2%
R3	7,658	3,435	442	44.9%	57	31	0	0	54.4%
R4	7,469	4,297	962	57.5%	52	34	5	1	76.9%

【成果】新型コロナの影響から臨戸や搜索に制限がかかったものの、累積滞納案件が着実に減少している。

款	2 総務費	項	2 徴税费	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 賦課徴収費	6,658千円	5,766千円

①賦課徴収事務事業 5,766千円

納付書等印刷費 826千円  
過誤納還付金 4,784千円 など

【成果】きめ細やかな催告や調査を実施し、新型コロナの影響による徴収率の低下を最小限にすることができた。

・徴収率の状況 (単位：千円・%)

区 分	徴収率 $b/(a-c)$			R4年度の収納状況		
	R2年度	R3年度	R4年度	調定額a	収入額b	不納欠損c
町民税 (個人+法人)	99.5	99.6	99.9	594,013	592,665	701
現年課税分	99.7	99.8	99.9	591,795	591,311	62
滞納繰越分	57.3	64.9	89.9	2,218	1,354	640
固定資産税	97.1	99.4	99.1	682,817	676,072	329
現年課税分	97.6	99.8	99.4	679,146	675,026	142
滞納繰越分	42.0	86.0	33.6	3,671	1,046	188
軽自動車税	99.7	99.8	100.0	71,519	71,488	0
現年課税分	99.8	99.9	100.0	71,396	71,396	0
滞納繰越分	65.3	64.9	75.3	123	93	0
町たばこ税	100.0	100.0	100.0	102,391	102,391	0
現年課税分	100.0	100.0	100.0	102,391	102,391	0
小 計 (税合計)	98.4	99.6	99.5	1,450,740	1,442,616	1,031
現年課税分	98.7	99.8	99.7	1,444,727	1,440,123	203
滞納繰越分	47.0	82.8	55.2	6,012	2,493	827
国民健康保険税	98.2	98.5	99.6	403,136	399,686	1,873
現年課税分	99.0	99.3	99.8	397,091	396,341	0
滞納繰越分	61.3	55.2	86.3	6,044	3,345	1,873
介護保険料	99.7	99.8	99.9	363,724	363,542	0
現年課税分	99.7	99.9	99.9	363,116	362,934	0
滞納繰越分	82.6	80.3	99.9	608	608	0
後期高齢者医療保険料	99.6	99.6	99.99	154,388	154,368	0
現年課税分	99.7	99.6	99.99	153,855	153,837	0
滞納繰越分	89.7	88.9	99.7	533	531	0
小 計 (保険合計)	99.0	99.2	99.8	921,248	917,596	1,873
現年課税分	99.4	99.6	99.9	914,062	913,112	0
滞納繰越分	65.5	60.0	88.5	7,185	4,484	1,873
合 計	98.6	99.4	99.6	2,371,988	2,360,212	2,903
現年課税分	99.0	99.7	99.8	2,358,790	2,353,235	203
滞納繰越分	57.1	76.1	73.3	13,198	6,977	2,700

※千円単位で四捨五入しているため、項目ごとの押上計算と、小計・合計は一致しません。

・税等の収納比率（上段：R2年度、中段：R3年度、下段：R4年度）

区 分	口座振替	コンビニ	町差押え	広域連合	特別徴収	窓口等	合計
町・県民税	15.1 %	4.4 %	0.0 %	0.0 %	75.4 %	5.1 %	100%
	16.0 %	4.4 %	0.1 %	0.1 %	74.0 %	5.4 %	100%
	14.9 %	4.7 %	0.1 %	0.1 %	75.0 %	5.3 %	100%
固定資産税	51.8 %	8.8 %	0.1 %	0.0 %	- %	39.3 %	100%
	50.7 %	9.4 %	0.2 %	0.1 %	- %	39.6 %	100%
	50.2 %	11.4 %	0.3 %	0.0 %	- %	38.1 %	100%
軽自動車税	47.0 %	29.7 %	0.0 %	1.0 %	- %	22.3 %	100%
	47.1 %	32.6 %	0.1 %	0.0 %	- %	20.2 %	100%
	42.4 %	31.2 %	0.1 %	0.2 %	- %	26.0 %	100%
国民健康保険税	64.9 %	9.1 %	0.0 %	0.3 %	13.7 %	12.0 %	100%
	62.7 %	9.5 %	0.1 %	0.4 %	13.7 %	13.6 %	100%
	64.9 %	10.8 %	0.2 %	0.7 %	13.7 %	9.8 %	100%
介護保険料	1.6 %	1.9 %	0.1 %	- %	93.9 %	2.5 %	100%
	1.6 %	2.1 %	0.0 %	- %	92.7 %	3.6 %	100%
	2.5 %	2.0 %	0.1 %	- %	92.7 %	2.8 %	100%
後期高齢者医療保険料	13.3 %	2.0 %	0.2 %	- %	76.1 %	8.4 %	100%
	14.8 %	2.1 %	0.1 %	- %	75.5 %	7.5 %	100%
	16.6 %	3.8 %	0.1 %	- %	69.8 %	9.6 %	100%

款	2 総務費	項	3 戸籍住民基本台帳費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 戸籍住民基本台帳費	69,083千円	67,285千円

## ①戸籍及び住民登録事務事業 13,214千円

・住民基本台帳事務関係

令和5年3月末の住民基本台帳人口は14,451人、世帯数は5,493世帯で、令和4年3月末と比較して人口は162人減少し、世帯は37世帯の増加であった。

(1) 住民基本台帳人口及び世帯数（年齢階層別人口）

(単位：人)

年 齢	区 分	R2年度	R3年度	R4年度	対前年比
年少人口 (0～14歳)	男	954	953	946	△ 7
	女	861	873	871	△ 2
	計	1,815	1,826	1,817	△ 9
	構成比率	12.33%	12.50%	12.57%	0.07%
生産年齢人口 (15～64歳)	男	3,906	3,831	3,767	△ 64
	女	3,826	3,765	3,671	△ 94
	計	7,732	7,596	7,438	△ 158
	構成比率	52.53%	51.98%	51.47%	△0.51%
老年人口 (65歳以上)	男	2,216	2,221	2,229	8
	女	2,957	2,970	2,967	△ 3
	計	5,173	5,191	5,196	5
	構成比率	35.14%	35.52%	35.96%	0.44%
合計	男	7,076	7,005	6,942	△ 63
	女	7,644	7,608	7,509	△ 99
	計	14,720	14,613	14,451	△ 162
世帯数		5,417世帯	5,456世帯	5,493世帯	37世帯
(再掲) 75歳以上	男	949	946	1,014	68
	女	1,567	1,574	1,624	50
	計	2,516	2,520	2,638	118
	構成比率	17.09%	17.24%	18.25%	1.01%

## (2) 住民基本台帳関係事務処理数

(単位：人)

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
転 入 者	378	367	352
出 生 者	80	102	88
そ の 他	6	5	3
計 (A)	464	474	443
転 出 者	402	349	409
死 亡 者	192	226	215
そ の 他	4	6	6
計 (B)	598	581	630

(単位：件)

種 別	件 数
転 居	86
世帯変更	152
職権修正	194
違反通知	0
戸籍の附票	2,219
計	2,651

社会増減	△ 24	18	△ 57
自然増減	△ 112	△ 124	△ 127
その他	2	△ 1	△ 3
計 (A) - (B)	△ 134	△ 107	△ 187

## (3) 印鑑登録関係件数

(単位：件)

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
登 録	463	473	517
(うち再登録)	(198)	(174)	(184)
抹 消	523	516	536
年度末登録者数	10,460人	10,417人	10,398人

## ・ 戸籍事務関係事業

## (1) 本籍数及び本籍人口など

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
本 籍 数	8,254戸籍	8,166戸籍	8,053戸籍
本 籍 人 口	19,850人	19,609人	19,317人

## (2) 戸籍届書の取扱い件数

(単位：件)

事件の種類	年 度	R2年度	R3年度	R4年度
出生		162	186	151
国籍留保		1	0	1
認知		3	2	2
養子縁組		15	21	11
養子離縁		0	3	5
離縁の際に称していた氏を称する届		0	0	2
婚姻		178	182	161
離婚		29	41	35
離婚の際に称していた氏を称する届		11	20	15
親権変更		0	3	2
死亡		265	291	311
失踪		0	0	0
復氏		0	0	1
姻族関係終了		0	1	1
入籍		17	50	37
分籍		4	5	8
帰化		0	0	0
国籍喪失・選択		1	3	2
氏の変更		1	1	0
転籍		60	67	65
戸籍訂正		10	12	5
続柄の記載更正		0	0	1
その他		1	0	0
不受理申出		3	4	1
合 計		761	892	817

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
新戸籍編製	84	91	79
戸籍全部消除	152	179	192

## ・住民票・戸籍など取扱い件数

(単位：件)

区 分	有 料			無 料		
	R2年度	R3年度	R4年度	R2年度	R3年度	R4年度
住民票謄抄本	5,011	4,771	4,645	341	239	178
記載事項証明	119	109	129	3	5	19
戸籍の附票	342	350	368	1,015	977	554
閱 覧	160	75	130	8,311	7,134	14,728
小 計	5,632	5,305	5,272	9,670	8,355	15,479
印鑑登録証明書	3,888	4,061	3,773	95	83	34
身分証明書	176	151	148	0	0	0
その他証明	259	239	320	40	105	72
小 計	4,323	4,451	4,241	135	188	106
計	9,955	9,756	9,513	9,805	8,543	15,585

戸籍謄抄本	2,438	2,289	2,427	1,089	1,087	607
除籍謄抄本	2,386	2,240	2,664	2,715	2,766	1,453
戸籍記載事項証明	3	0	4	0	0	0
受理証明	21	21	20	0	0	0
計	4,848	4,550	5,115	3,804	3,853	2,060

合 計	14,803	14,306	14,628	13,609	12,396	17,645
-----	--------	--------	--------	--------	--------	--------

【成果】法令等に基づく届出の処理、証明発行を適正に行った。

## ②個人番号カード事務事業 17,946千円

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
個人番号カード交付枚数	2,076枚	2,118枚	4,340枚

【成果】個人番号カードの交付、電子証明書の更新等の手続きについて、専用窓口で適正かつ円滑に行うことができた。また、休日交付窓口や出張申請受付等、交付・申請支援体制の実施により、交付率を上げることができた。



款	3 民生費	項	3 国民年金事務取扱費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 国民年金事務取扱費	213千円	213千円

## ①国民年金事務取扱事業 213千円

国民年金に係る法定受託事務(資格取得ほか住民記録事項の変更に伴う各種届出、保険料免除、裁定請求等)を処理した。

また、年金事務所との情報共有(年金加入状況、所得状況)により、年金加入者に不利益が生じることがないように必要な情報を提供するなど、サービス向上に努めた。

拠出年金被保険者数 (単位：人)

区分	R2年度	R3年度	R4年度
1号	1,482	1,459	1,392
3号	477	444	412
任意	14	17	12
計	1,973	1,920	1,816

窓口事務受付件数 (単位：件)

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
資格取得	137	144	137
種別変更	17	24	22
保険料減免	86	83	84
学生納付特例	33	44	26
年金裁定請求	4	5	3
未支給請求	47	52	54
その他	72	52	45
計	396	404	371

【成果】国民年金加入者の年金相談、年金手続きを行い、適正なサービスの提供を行った。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	19 災害復興支援費	147千円	146千円
<p>①被災者生活復興支援貸付事業 146千円 鳥取県中部地震による災害援護資金の償還にあたり、利子相当額を助成した。</p> <p>【成果】被災者の生活再建、安定につながった。</p>					
款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	405,947千円	379,489千円
<p>①社会を明るくする運動事業 72千円 全国統一の「社会を明るくする運動」月間（7月）に保護司等による啓発、小・中学生に作文コンテスト（県主催）を周知し、応募を行った。</p> <p>【成果】のぼり旗・懸垂幕の掲出と、町放送・町報等による啓発を行ったことにより、町民への啓発を図った。</p>					
<p>②戦没者追悼式事業 189千円 諸英霊に対し、町主催の追悼式を行った。 期 日 令和4年9月29日 場 所 大栄農村環境改善センター 参 列 者 数 遺族40人、来賓5人（うち遺族3人含む）</p> <p>【成果】遺族、来賓とともに戦没者の慰霊を行うことで、世界平和を祈念した。</p>					
					
戦没者追悼式					
<p>③民生児童委員協議会事業 2,444千円 地域福祉向上のため活動する民生委員・児童委員、主任児童委員に対し、活動費として補助金を交付した。また、中部協議会へ負担金を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町協議会（委員45人）への活動補助 2,286千円</li> <li>・中部民生委員協議会負担金 158千円</li> </ul> <p>【成果】ひとり暮らし高齢者等の見守り、あいさつ運動期間中の街頭啓発、各種研修会参加による資質向上に努めたことで、地域福祉の推進を図った。</p>					
<p>④社会福祉費補助金事業 140千円 町遺族会（3地区）の活動に対して、補助金を交付した。</p> <p>【成果】補助金を交付したことで、各遺族会の活性化を図った。</p>					
<p>⑤社会福祉協議会補助金事業 13,619千円 地域福祉事業の推進のため、町社会福祉協議会に補助金を交付した。また、県社協として行う事業に負担金を支払った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町社会福祉協議会補助金 13,574千円</li> <li>・鳥取県社会福祉協議会負担金 45千円</li> </ul> <p>【成果】社協職員人件費、マイクロバス運営維持管理費、配食サービス事業等への補助で福祉サービスの充実を進めた。</p>					

## ⑥介護保険特別会計繰出金事業 220,070千円

介護保険事業特別会計へ法定の負担分を繰出した。

・介護給付費町負担分	186,024千円
・地域支援（介護予防）事業分	5,330千円
・地域支援（包括的支援・任意）事業分	532千円
・一般事務費分	11,812千円
・低所得者軽減分	16,372千円

【成果】介護保険特別会計の健全な運営を行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 老人福祉費		
				33,251千円	29,701千円

## ①老人福祉事業 645千円

米寿（数え年の88歳）、金婚（結婚50年）の方に祝詞、記念品を贈り祝意を表した。

	R2年度	R3年度	R4年度
米寿	143 人	113 人	118 人
金婚	50 組	54 組	57 組

【成果】町長及び町の幹部が直接長寿のお祝いを述べ、ご労苦をねぎらった。

## ②敬老会事業 2,551千円

75歳以上の高齢者を対象に敬老会や敬老記念行事を行った自治会に対し、対象者1人につき1,000円の補助を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度
自治会数	54	53	54
対象者数	2,417 人	2,408 人	2,551 人

【成果】自治会単位で実施することにより、自治会の多世代との交流が図られ、敬老や支え合いの気持ちにつながっている。

## ③老人保護措置事業 12,494千円

環境的、経済的理由により、在宅生活の維持が困難な高齢者を老人福祉法に基づき養護老人ホームに措置入所させ、安心安全な生活のため適切な支援を実施した。

	R2年度	R3年度	R4年度
入所者数	6 人	7 人	7 人

【成果】入所により高齢者が適切な指導や見守りを受けて、安心安全な環境での生活ができています。

## ④北栄町シルバー人材センター負担金事業 4,510千円

高齢者等の雇用の安定等に関する法律に基づき、北栄町シルバー人材センターの事業安定のため運営補助を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度
会員数	155 人	161 人	169 人

【成果】高齢者の技能を活かし簡易な仕事の提供をするシルバー事業に補助することで、組織の安定運営、会員の生きがいと自立した生活につながっている。

## ⑤老人クラブ補助金事業 1,756千円

老人クラブ及び老人クラブ連合会の活動・運営に対し補助を行い、高齢者が地域で役割を果たすなど社会参加を促進した。

会員数	補助金額(※)	R2年度	R3年度	R4年度
50人～	70,000円	4	4	3
40人～49人	60,000円	3	4	3
30人～39人	50,000円	6	5	6
20人～29人	40,000円	6	7	7
10人～19人	30,000円	1	0	0
合 計	クラブ数	20	20	19
	補助金額	1,030千円	1,050千円	970千円

・老人クラブ連合会補助 764千円

【成果】仲間づくり、生きがいと健康づくり、奉仕活動など地域支え合いに積極的に取り組む単位老人クラブと、それを支援、育成する連合会に補助し、高齢者の自主活動を促した。令和2年度以降はコロナ禍により、連合会活動の縮小が続いている。

## ⑥成年後見支援センター事業 785千円

中部圏域で成年後見ネットワーク倉吉に委託してセンターを設置し、困難事例の専門職による相談、申し立て事務、制度の広報、啓発を進めた。

		R2年度	R3年度	R4年度
後見委任数		4件	5件	7件
相談 件数	高齢者	10件	13件	9件
	障がい者	1件	10件	26件

(延件数)

【成果】困難事例が増える中、中部市町が協力して法人後見ができる体制が整った。

## ⑦地域医療介護総合確保基金事業 5,909千円 (繰越事業)

介護施設等の大規模修繕の際にあわせて行う介護ロボット・ICTの導入を支援した。

【成果】町内事業所への全居室見守りセンサーシステム導入を支援することにより、介護従事者の負担軽減及び施設利用者の安全性の向上が図られた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 介護予防生活支援費		
				91,695千円	86,948千円

## ①タクシー利用料助成事業 11,212千円

高齢者の方や障がい等特別な事情で移動手段に困っている方、免許証を自主返納された方へタクシー利用料を助成し、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	R2年度		R3年度		R4年度	
	従来券	300円券	従来券	300円券	従来券	300円券
登録者数(人)	603		595		601	574
延利用件数(件)	11,969		12,976		9,207	4,573
助成額(千円)	7,951		8,731		6,483	4,369

【成果】移動手段を持たない高齢者等へタクシーの利用助成を行うことにより、日常生活の移動支援につながった。

## ②在宅通院支援事業 9,780千円

要支援・要介護の認定を受けている方、介護予防・日常生活支援総合事業対象者の基準に該当する方、または障がいのある方で通院の必要性がある方に対し、公共交通機関を利用することが困難な場合にタクシー利用による病院送迎への助成を行い、費用負担の軽減と交通の確保を図った。

	R2年度	R3年度	R4年度
登録者数	224人	226人	230人
延利用件数	5,605件	6,039件	5,523件
助成額	9,981千円	10,673千円	9,776千円

【成果】タクシーを利用した通院送迎を行い利用者の通院に利便を図り、身体状況の悪化等の防止につながった。

## ③介護予防地域支え合い事業 5,763千円

・いきいきサロン 5,227千円

高齢者の交流の場として、自治会自主運営や社協支援で実施し、介護予防につなげた。

	R2年度	R3年度	R4年度
自治会数	45	44	43
開催回数	798回	678回	824回
参加延べ人数	8,856人	7,726人	8,834人

・災害時要支援者台帳管理システム事業 536千円  
災害時要支援者として登載する対象者のデータ管理のためシステムの保守管理を委託した。

【成果】自立支援の意識、高齢者の閉じこもり防止等、介護予防につながった。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	5 障害者福祉費	461,277千円	446,202千円

## ①障がい者福祉関係負担補助金事業 204千円

町心身障がい児者育成会（ひまわり会）などの活動に対する補助を行い、障がい者福祉の増進を図った。

- ・町心身障がい児者育成会（ひまわり会）補助金 158千円
- ・町精神障がい者家族会補助金 20千円
- ・東伯郡身体障害者福祉協会負担金 26千円

【成果】障がい者が団体の活動に参加し交流することで、更生意欲、自立支援、社会参加への意欲を高めた。

## ②心身障がい者医療費扶助事業 3,980千円

中度の心身障がい者（身体障害者手帳3,4級、療育手帳B、精神手帳2級の交付を受けた者）で町民税非課税者に対し医療費を助成することにより、特別医療費助成制度対象外の障がい者の医療費負担の軽減を図った。

	R2年度	R3年度	R4年度
件数	268件	266件	255件
金額	4,209千円	3,841千円	3,980千円

【成果】医療費助成を行ったことにより、中度障がい者の健康保持、負担軽減を図った。

## ③障害支援区分認定事務事業 835千円

障がいの程度に応じた支援区分決定のため、主治医意見書の作成手数料負担や広域連合委託で認定審査を実施した。

	R2年度	R3年度	R4年度
認定件数	22件	27件	56件

【成果】認定審査を中部ふるさと広域連合に委託し、スムーズな障害福祉サービスの利用につながった。

## ④自立支援給付事業 386,643千円

障害者総合支援法に基づき、障がい児・者の障害福祉サービス利用の支援を行った。

	R2年度		R3年度		R4年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
居宅介護、重度訪問介護等	190	9,045	159	11,527	172	10,181
上記以外の介護給付費等	2,295	365,415	2,364	384,785	2,255	351,840
サービス利用計画作成費	529	6,605	539	6,979	482	6,673
補装具費	28	4,195	23	2,483	17	1,413

【成果】心身に障がいのある方の自立した日常生活や社会生活を維持することができた。

## ⑤自立支援医療給付事業 16,114千円

人工透析医療、ペースメーカー植込み術等に係る医療費を給付し、身体等の障がいの軽減、機能回復を図った。(更生医療、育成医療、療養介護医療)

	R2年度		R3年度		R4年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
更生医療	1,113	11,976	1,204	17,294	873	12,362
育成医療	14	131	9	23	18	199
療養介護医療	47	2,762	45	2,728	44	2,571

【成果】医療費助成を行ったことにより、障がい者の自立した日常生活、社会生活につながった。

## ⑥障がい者地域生活支援事業 28,873千円

・意思疎通支援事業 3,315千円

聴覚障がい者等の手話通訳や要約筆記などのコミュニケーション支援を行った。

委託先：公益社団法人鳥取県聴覚障害者協会

	R2年度	R3年度	R4年度
延派遣依頼件数	90件	79件	88件

・日常生活用具給付等事業 3,965千円

障がい者等に対し、ストマ用装具等の福祉用具の給付を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度
延利用件数	330件	347件	331件

・移動支援事業 724千円

屋外での移動が困難な障がい者等について、外出のための支援を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度
延利用者数	121人	74人	65人

・日中一時支援事業 8,146千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等が活動できる場を確保した。

	R2年度	R3年度	R4年度
延利用者数	318人	232人	222人

・地域活動支援センター事業 10,760千円

見守り等の支援を受けながら障がい者等の創作的活動、生産活動の場を提供した。

	R2年度	R3年度	R4年度
延利用者数	131人	122人	120人

【成果】障がいに応じた様々なサービスを提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

⑦障がい者グループホーム等夜間世話人配置事業 786千円

地域生活の受け皿となるグループホーム等で夜間・休日の世話人を配置し、障がい者の地域移行を進める事業所に対し補助を行った。

【成果】グループホーム等利用者の安心安全な生活に資することができた。

⑧障がい者相談員設置事業 75千円

身体・知的・精神障がい者相談員を委嘱し、当事者や家族が地域で相談できる体制を作った。

【成果】身近な相談員を設置していることで、相談しやすい体制ができた。

⑨特別障害者手当等給付事業 5,886千円

日常生活において、常時特別な介護を要する在宅の重度の障がい児・者に対し、精神的・物理的な負担を軽減するため、手当等を給付した。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
受給者数(延べ)	230人	268人	273人

【成果】在宅で生活する重度の障がい児・者の負担軽減を図った。

⑩障がい児者在宅生活支援事業 1,399千円

日常的に医療行為の必要な障がい児者や重症心身障がい児者に対し、町が定める事業を行う対象者に補助を行った。

【成果】医療的ケア児者や重症心身障がい児者の在宅生活等を支援することができた。

⑪重症心身障がい児者支援事業 878千円

重度障がい児者の受入れを行う社会福祉法人等に対して助成を行った。

【成果】重度障がい児者の活動を支援すること及び保護者の負担・不安を軽減すること、重度障がい児者の支援体制の充実を図ることができた。

⑫相談支援事業所機能強化事業 285千円

北栄町の障がい者の相談支援業務はほとんど他市町の事業所に委託しており、事業所の増員に対して他市町が行う助成の内、北栄町の利用率に基づいた応分の負担を行った。

【成果】障がい者の相談支援業務を担う事業所の機能強化を支援することにより、相談しやすい体制ができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 生活困窮者自立支援費		

①生活困窮者自立相談支援事業 158千円

・住居確保給付金

休業等に伴う収入の減少により、住居を失うおそれがある方に対し、家賃相当額を支給した。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
延支給件数	9件	21件	6件

【成果】生活や就労に向けた相談支援を行うとともに、住まいの確保につながった。

②就労準備支援事業 962千円

・地域づくりモデル事業 300千円

生活困窮者支援を通じて、地域づくりの推進を図る取組みを行う就労訓練事業所に対して補助を行った。

【成果】生活困窮者の自立促進や社会参加につながった。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	32,724千円	29,915千円

## ①地域包括支援センター事業 15千円

- ・相談支援事業 地域包括支援センターにて、高齢者に関する相談支援を行った。

## 地域包括支援センター相談件数

	R2年度	R3年度	R4年度
一般相談	1,934 件	1,843 件	1,543 件
地域支援	711 件	797 件	558 件
予防給付	1,762 件	1,535 件	1,546 件
計	4,407 件	4,175 件	3,647 件

- ・地域ネットワーク会議  
関係機関のネットワークの構築及び資質向上のための研修会・意見交換会を年10回開催した。

- ・権利擁護事業  
高齢者虐待対応の状況（実数）

	通報相談件数	虐待判断件数
養護者による虐待	1件	0件
施設従事者による虐待	0件	0件

- 高齢者・障がい者虐待防止連絡協議会  
虐待対応状況及び虐待防止の取り組みについて報告した（書面開催）。

【成果】相談に応じた支援を提供、高齢者の自立支援、重度化予防、権利擁護の支援を行った。

## ②障がい者相談支援事業 4,133千円

- ・相談支援事業 3,252千円  
障がい者地域生活支援センターを設置し、障がいのある人やその家族の相談支援を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度
町障がい者地域生活支援センター	468 件	268 件	211 件
障がい者虐待相談数（実数）	4 件	2 件	2 件
中部障害者地域生活支援センター（仁厚会へ委託）	295 件	299 件	640 件
障がい児相談支援（りっかへ委託）	1123 件	1071 件	1710 件

（延件数）

- ・中部圏域障がい者地域自立支援協議会事務局運営事業 881千円  
相談支援事業を効果的に実施するため、圏域自立支援協議会事務局に専門職を配置した。

【成果】障がいに応じた相談支援を提供し、障がい者の自立支援、社会参加につながった。

## ③生活困窮者自立相談支援事業 5,667千円

- ・自立相談支援事業  
相談支援員、就労支援員など職員を配置し、生活困窮者の自立相談支援、就労支援等を実施した。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
新規相談者数	34人	35人	24人

【成果】新型コロナウイルス感染症の影響による生活困難も含め、相談支援や就労支援など分野を超えた包括的支援を実施し、生活困窮者の自立促進を図った。

## ④地域介護予防活動支援事業 482千円

- ・高齢者サークル活動支援事業委託料

介護予防活動の地域展開に資する住民主体の通いの場等の活動支援を行った。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
団体数	21 団体	26 団体	26 団体
延回数	1,101 回	1,173 回	1,364 回
延人数	7,306 人	7,456 人	9,286 人

- ・地域介護予防活動支援事業

事業名	延人数	開催回数	備考
こけないからだ講座	0 人	0 回	西園自治会、コロナで中断中
こけないからだ講座（フォロー）	232 人	21 回	21自治会



こけないからだ講座

講座終了後、住民主体で地域の公民館などで週1～月1回程度集まり、体操を継続することで、筋力の維持・向上、閉じこもり予防、交流の場となっている。

	R2年度	R3年度	R4年度
実施自治会(内新規)	28 (1)	30 (1)	27 (0)
その他(介護事業所等)	3	3	3

R3～再開 1自治会、R4中断 3自治会

【成果】閉じこもりの解消や支え合う関係づくり、介護予防活動の推進を図った。

## ⑤生活支援体制整備事業 6,592千円

生活支援コーディネーターを配置（委託）するとともに、第1層（町全域）協議体「ほくえい支え愛協議体」、および第2層（小学校区単位）協議体「よっしゃやらあ会」を設置。生活支援や見守り、助け合い活動の推進に取り組んだ。

生活支援サポーター養成講座	8人	1回
第1層協議体	0人	0回
第2層協議体	65人	12回
支え愛連絡会	86人	6回

【成果】ちょっとした困りごとに対する生活支援サービスの提供を図るとともに、地域内の見守りや助け合い活動の推進を図った。

## ⑥生活困窮者等共助の基盤づくり事業 3,563千円

共助の取組みを活性化し、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスの創出・推進を図る取組みを実施した。

【成果】他事業（生活支援体制整備事業等）と連携して取組み、集いの場や共助交通の活動など支え合うしくみづくりの推進やインフォーマル活動の活性化を図った。

## ⑦参加支援事業 956千円

社会参加しにくい人などを対象とした、社会とのつながりづくりや参加の支援を実施するとともに、支援メニューづくりの取組みを行った。

【成果】福祉関係機関へ事業の周知を行ったことにより、参加の場や機会の提供・協力について共通認識を図ることができた。

## ⑧アウトリーチ等を通じた断続的支援事業 989千円

- ・アウトリーチ訪問等の実施  
必要な支援が届いていない人に支援を届けるため、アウトリーチによる対象者との信頼関係づくり、制度等へのつなぎ等の支援を行った。
- ・世帯訪問調査の実施  
福祉の相談窓口の周知及び必要な支援へのつなぎを目的に全戸訪問を実施（8自治会）した。

【成果】必要な支援が届いていない人への相談支援体制の基盤づくりを図った。

## ⑨多機関協働事業 416千円

複雑化・複合化した課題を抱え単独の支援機関では対応が難しい事例に対し支援を実施した。また、横断的な相談支援体制の構築に向け、福祉施策アドバイザーを設置し体制整備を推進した。

【成果】包括的支援会議にて個別支援方策を検討したほか、分野横断的研修や関係機関連絡会などを実施し多分野連携の促進を図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	8 住民税非課税世帯等臨時特別給付金事業費	223,132千円	127,870千円

## ①住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業 67,812千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、様々な困難に直面した方々が、速やかに生活・暮らしの支援を受けられるよう、住民税非課税世帯等に給付金を支給した。

支給世帯 令和3年度非課税世帯等 475世帯×100千円=47,500千円（繰越事業）  
 // 令和4年度非課税世帯等 184世帯×100千円=18,400千円

【成果】生活が困窮した住民税非課税世帯等に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

## ②価格高騰緊急支援給付金支給事業 60,059千円

電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、特に家計への影響が大きい住民税非課税世帯等を支援するため給付金を支給した。

支給世帯 令和4年度非課税世帯等 1,159世帯×50千円=57,950千円

【成果】生活が困窮した住民税非課税世帯等に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予算現額	決算額
		目	13 新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金事業費	5,477千円	4,381千円

## ①新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金支給事業 4,381千円

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、特例貸付を利用できない方に対して就労による自立を図る為、支給対象者に給付金を支給した。

支給対象者： 単身世帯（2世帯）60千円×4回=240千円（繰越事業）  
 2人世帯（1世帯）80千円×3回=240千円（ // ）  
 3人以上世帯（3世帯）100千円×16回=1,600千円（ // ）

【成果】生活が困窮しているが特例貸付を利用できない方に対して、給付金を支給するとともに、生活困窮相談員と連携し、就労に向けた支援を行った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	4 母子父子福祉費	15,211千円	13,654千円

## ①母子家庭等支援給付金事業 100千円

- ・高等職業訓練促進給付金の給付 100千円  
就業に向けた高等職業訓練の修学を行う母子家庭等に対し、給付金の給付を行った。  
支給対象者：母子家庭1件（月額100千円）

【成果】給付金の給付を行ったことにより、修学中の生活を支え、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

## ②町母子会補助金事業 1,100千円

- ・母子寡婦福祉資金の貸付 1,000千円

要件を満たす母子及び寡婦に対し、上限20万円（無利子）の貸付を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度
借入件数	6件	4件	4件
借入金総額	950千円	700千円	750千円

【成果】母子寡婦貸付を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

## ③児童入所施設措置等事業 10,371千円

- ・母子生活支援施設措置委託料 9,941千円  
配偶者がいない又は、これに準ずる女子とその者が監護すべき児童を保護し、自立促進のため生活の支援及び相談に応じた。

【成果】施設に保護し就労、子育て支援等の指導を行ったことにより、自立した生活に向けた準備を促すことができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	6 児童手当費	212,007千円	211,985千円

## ①児童手当等給付事業 211,985千円

次代を担う児童の健全育成や子育て家庭の生活の安定を図るため、児童を養育する保護者等に対し手当を支給した。

区分	一人当たり月額	
0歳～3歳未満	15,000円	
3歳以上小学校修了前	第1子、第2子	10,000円
	第3子以降	15,000円
中学生	10,000円	
所得制限対象	5,000円	

児童手当対象児童数 延べ 18,990人

【成果】児童手当を支給したことにより、児童の健全育成、子育て家庭の生活の安定を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	7 児童扶養手当費	63,814千円	63,672千円

## ①児童扶養手当給付事業 63,672千円

ひとり親で18歳までの子どもを扶養している家庭の生活の安定と自立を助けるため手当を支給した。

対象児童数	全部支給	一部支給
1人	月額 43,070円	月額 43,060円～10,160円
2人目	月額 10,170円	月額 10,160円～ 5,090円
3人目以降	月額 6,100円	月額 6,090円～ 3,050円

実支給家庭数	R2年度	R3年度	R4年度
母子家庭数	115 世帯	114 世帯	103 世帯
父子家庭数	12 世帯	11 世帯	9 世帯

【成果】児童扶養手当を支給したことにより、受給者世帯の生活の安定と児童の福祉の増進を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	8 児童措置費	93,152千円	90,461千円

## ①障害児通所給付事業 90,461千円

障がい児の機能訓練、集団生活適応訓練、社会との交流支援など必要に応じたサービスに係る給付を行った。

	R2年度		R3年度		R4年度	
	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
児童発達支援	39	796	58	1,502	69	2,624
医療型児童発達支援	30	213	27	298	30	242
放課後等デイサービス	656	41,628	861	66,640	935	77,095
保育所等訪問支援	28	524	49	1,168	71	2,146
相談支援	230	4,596	231	4,760	320	6,503

【成果】発達障がいを含めた障がい児に対し事業の連携により一貫した支援ができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予算現額	決算額
		目	9 子育て世帯臨時特別給付金事業費	9,449千円	8,235千円

## ①子育て世帯臨時特別給付金事業 8,235千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている子育て世帯の生活を支援するため高校生までの児童を養育している保護者に給付金を支給した。

支給対象者30人×100千円=3,000千円（繰越事業）

【成果】子育て世帯に給付金を支給したことにより、受給者世帯の負担軽減を図った。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	10 子育て世帯生活支援特別給付金事業費	30,231千円	29,457千円

## ①子育て世帯生活支援特別給付金（児扶）事業 11,134千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）への生活支援として児童扶養手当受給者等に給付金を給付した。

支給対象者203人×50千円=10,150千円

【成果】新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯）に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

## ②子育て世帯生活支援特別給付金（他世帯）事業 18,322千円

新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）への生活支援として住民税非課税相当かつ児童手当等受給者等に給付金を給付した。

支給対象者199人×50千円=9,950千円

【成果】新型コロナウイルス感染症の影響を受けている低所得の子育て世帯（ひとり親世帯以外）に給付金の支給を行ったことで、負担軽減を図った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 生活保護総務費	73,781千円	73,437千円

## ①生活保護総務事業 4,428千円

福祉事務所で、生活保護業務を迅速かつ円滑に処理した。

生活保護 人員体制 所長、課長、査察指導員、ケースワーカー2人

- ・ 嘱託医報酬 296千円
- ・ 生活保護システム保守委託料 1,370千円
- ・ レセプト管理システム委託料 2,297千円
- ・ 被保護者夏季見舞金 215千円

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
総務事業費	4,232千円	5,726千円	4,428千円

【成果】生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	4 生活保護費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 生活保護扶助費	85,750千円	80,623千円

①生活保護扶助事業 80,623千円

生活に困窮する者に対し、最低限度の生活を保障するとともにその自立を促すため、必要な扶助を行った。

- ・生活扶助 28,527千円
- ・医療扶助 42,414千円
- ・介護扶助 1,565千円

年 度	R2年度末	R3年度末	R4年度末
受給者数	58 人	53 人	54 人
世帯数	50 世帯	45 世帯	47 世帯
扶助費	97,231千円	77,508千円	72,506千円

年 度	R2年度	R3年度	R4年度	
相談数	24 件	23 件	30 件	
申請数	8 件	6 件	10 件	
結 果	決定	5 件	5 件	7 件
	却下	1 件	1 件	2 件
	取下	2 件	0 件	1 件
廃止	10 件	10 件	5 件	
内 訳	就労	0 件	0 件	0 件
	死亡	2 件	2 件	4 件
	その他	8 件	8 件	1 件

【成果】生活保護費の給付を適正に行った。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会福祉総務費	405,947千円	379,489千円

## ①国民健康保険特別会計繰出金事業 121,036千円

- ・保険基盤安定分 94,958千円
- ・保険財政安定化支援分 6,418千円
- ・未就学児均等割保険料負担軽減分 1,284千円
- ・出産育児一時金分 1,672千円
- ・事務費、職員給与分 16,704千円

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 特別医療費助成事業費	89,152千円	89,000千円

## ①特別医療費助成事業 87,342千円

対象者にかかる医療費を助成した。

- ・特別医療費審査手数料 59,358件 2,041千円
- ・特別医療費助成費 29,704件 85,301千円

(単位：千円)

	R2年度			R3年度			R4年度		
	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額	延人数	件数	金額
身障1,2級	235	6,080	36,249	233	5,976	31,144	235	6,045	34,791
重度知的障がい者	41	976	1,759	41	989	1,695	35	901	1,653
精神障がい者	7	160	2,473	8	147	2,679	11	239	2,882
特定疾病	1	13	177	1	10	148	2	13	142
ひとり親家庭	75	761	2,069	54	688	1,820	64	717	2,053
小児	2,352	20,666	38,433	2,357	22,597	43,168	2,351	21,789	43,780
合 計	2,711	28,656	81,160	2,694	30,407	80,654	2,698	29,704	85,301

【成果】小児は18歳までを助成対象とし、対象者の医療費負担を軽減することができた。

## ②養育医療費助成事業 761千円

身体の発育が未熟なまま生まれ、入院養育を必要とする未熟児に対して、指定養育医療機関において養育に必要な医療の給付を行った。

(単位：件、千円)

	R2年度		R3年度		R4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未熟児養育医療扶助費	5	6,273	1	1,404	1	761

【成果】対象者の医療費負担を軽減することができた。

## ③特定不妊治療費助成事業 897千円

	R2年度	R3年度	R4年度
特定不妊治療	22件 (人数11人)	31件 (人数12人)	6件 (人数5人)
人工授精	1件 (人数1人)	7件 (人数7人)	-
金額 (千円)	2,748	3,082	897

【成果】令和4年度から不妊治療の保険適用に伴い、保険適用外となる治療の助成に変更した。治療の保険適用に伴い、人工授精は助成対象外となった。保険適用外の治療については引き続き助成対象者の負担軽減を行う。助成額：上限200,000円/回・人

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健衛生総務費	155,530千円	151,485千円

## ①保健衛生総務事業 2,013千円

保健事業の推進のための各種事業を行った。

- ・健康推進員活動支援
- ・健康計画推進委員会の開催2回
- ・公用車の燃料費及び管理費

【成果】健康推進員が健診受診啓発や健康づくりの推進活動を行った。また、第3次健康ほくえい計画の推進に向け、各組織の推進状況や今後の取り組みを確認出来た。

## ②健康管理システム委託事業 4,655千円

健康かるてシステムを活用し各種健診・予防接種の通知や、健診結果・予防接種の管理を実施し、庁舎内で情報共有を図った。

【成果】健診結果、予防接種履歴等をシステムで一元管理することにより、保健指導、接種勧奨等に役立った。

## ③献血事業 1千円

町内の各施設、事業所の協力のもと、献血を行った。

区 分	R2年度		R3年度		R4年度	
	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数	受付人数	実施人数
400ml	146人	126人	165人	139人	173人	143人
実施回数	3日（延9会場）		3日（延9会場）		3日（延10会場）	

【成果】コロナ禍で巡回可能会場数が減少する中、献血協力者の確保に努めた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 健康増進センター費	5,493千円	4,701千円

## ①健康増進センター管理事業 4,701千円

各種健診をはじめとする保健、健康増進事業の拠点として健康増進センターの管理運営を行った。また、利用者数等については、コロナワクチンでの利用も計上。

区 分	利用者数		
	R2年度	R3年度	R4年度
健 診 棟	3,535人	9,132人	8,293人
調 理 室	570人	265人	460人
会 議 室	2,307人	8,296人	8,126人

区 分	利用回数		
	R2年度	R3年度	R4年度
母子保健事業・成人健診事業	92回	158回	130回
子育て支援センター	通年利用	通年利用	通年利用
その他各種会議等	98回	92回	112回

【成果】施設の維持管理を行い、保健事業や子育て事業の場として活用した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 感染症等予防費	150,480千円	134,615千円

## ①感染症等予防事業 40,955千円

## ・定期予防接種

予防接種法に基づき、乳幼児・児童・生徒及び65歳以上の高齢者等に対する定期予防接種を実施し、感染症の予防を図った。

(延人数)

区 分	接種者数			
	R2年度	R3年度	R4年度	
四種混合(DTP-IPV)	354人	218人	379人	
二種混合(DT)	107人	121人	98人	
麻しん風しん混合	212人	208人	210人	
日本脳炎	527人	302人	371人	
BCG	89人	95人	99人	
ヒブワクチン	350人	199人	378人	
小児肺炎球菌ワクチン	345人	199人	377人	
子宮頸がん予防ワクチン	16人	13人	144人	
水痘	186人	165人	188人	
B型肝炎 (H28.10~)	261人	153人	243人	
ロタウイルス (R2.10~)	82人	117人	210人	
高齢者インフルエンザ	3,496人	3,031人	2,993人	
高齢者肺炎球菌	208人	225人	155人	
風しん(第5期) (H31.4~)	273人	75人	118人	29人
			17人	4人

※令和4年度から子宮頸がんワクチンについては、勧奨が再開となった。また積極的勧奨を行わなかった年代の方々を対象にキャッチアップ接種も開始したことで、接種を促進した。

※風しん(第5期)は左が抗体検査、右が予防接種の人数。

## ・任意予防接種 費用助成

なるべく受けておきたい予防接種について、任意接種に係る費用の一部助成を行い、感染症の予防を図った。

(延人数)

区 分	接種者数		
	R2年度	R3年度	R4年度
乳幼児インフルエンザ	751人	616人	511人
小学生インフルエンザ (H27.10~)	710人	583人	430人
中学生インフルエンザ (H27.10~)	163人	109人	98人
障がい児・者インフルエンザ (R2.10.1~)	21人	16人	20人
ロタウイルス (H27.4~R2.9)	118人	-	-
おたふくかぜ	119人	85人	113人
風しん(大人)	17人	9人	9人

【成果】医師会・医療機関と連携し、予防接種事業を実施することで感染症予防につながった。

## ②新型コロナウイルス予防接種事業 93,660千円

予防接種法に基づき新型コロナウイルスワクチン接種の初回接種(1・2回目)と追加接種(3回目~5回目)を実施し、感染予防・重症化予防を図った。

※接種はR3年度から開始

## ・接種者数

区分	接種者数
1回目	11,226人
2回目	11,184人
3回目	9,670人
4回目	6,975人
5回目	3,982人
合計	43,037人

## ・接種率

区分	接種率
1回目	78.1%
2回目	77.8%
3回目	67.2%
4回目	48.5%
5回目	27.7%

## ・集団・巡回接種実施回数

区分	実施回数	
	集団接種	巡回接種
R2年度	-	-
R3年度	38回	31回
R4年度	52回	26回
合計	90回	57回

【成果】町による集団接種、高齢者施設等への巡回接種、中部一市四町の医療機関での個別接種を実施することで新型コロナウイルスの感染予防・重症化予防につながった。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子衛生費	15,200千円	13,247千円

## ①母子衛生事業 13,247千円

## ・乳幼児健康診査

乳児、1歳6か月児、3歳児を対象に、心身の発達状態を観察するとともに、医師の診察を実施し、健康状態、育児、食事等について相談・助言を行った。

5歳児は保護者の希望等による相談（医師・心理士・就学に関する）を行った。

項目	R2年度				R3年度				R4年度			
	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児	乳児	1.6児	3歳児	5歳児
実施回数	6回	7回	6回	4回	6回	6回	6回	4回	6回	6回	7回	4回
対象者	93人	111人	111人	17人	95人	94人	101人	23人	101人	95人	111人	35人
受診者	93人	110人	111人	17人	93人	89人	97人	19人	100人	91人	111人	35人
要精密	4人	3人	12人	9人	4人	1人	13人	6人	2人	3人	18人	10人
追跡観察	7人	15人	22人	3人	21人	22人	27人	6人	15人	20人	13人	9人
要治療	0人	1人	1人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	0人	4人	0人

## ・妊婦乳児一般健康診査

妊婦及び乳児の健康診査を医療機関に委託して実施した。

項目	R2年度	R3年度	R4年度	※延件数
妊婦一般健康診査	1,026件	1,244件	1025件	
乳児一般健康診査	179件	154件	198件	

## ・乳幼児健康相談及び健康教室

各健康相談、教室を実施するとともに、訪問による指導により、母子保健の推進を図った。

項目	R2年度			R3年度			R4年度		
	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者	実施回数	対象者	参加者
離乳食講習会	5回	87人	31人	5回	97人	30人	6回	95人	37人
1歳児教室	5回	75人	36人	5回	88人	36人	6回	102人	38人
2歳児教室	5回	75人	55人	5回	75人	49人	6回	89人	58人
2歳6か月児教室	3回	77人	65人	3回	92人	43人	4回	105人	68人

## ・訪問指導

	R2年度	R3年度	R4年度	※延人数
妊産婦	102人	100人	122人	
乳児	94人	98人	151人	

- ・ 歯科対策  
(1歳6か月児、3歳児健診を除く)

項目		R2年度			R3年度			R4年度		
		回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者	回数	対象者	参加者
フッ素塗布	3歳未満	8回	152人	120人	8回	167人	92人	10回	194人	126人
	3歳以上	5回	324人	321人	5回	311人	307人	10回	298人	263人
フッ化物洗口	年中・年長	5回	215人	215人	5回	206人	206人	5回	201人	187人
	小学生	26回	803人	803人	29回	818人	742人			
歯磨き指導(夏・冬)		11回	649人	649人	10回	628人	622人	10回	597人	560人

- ※フッ素塗布3歳以上は年1回実施。  
平成29年度から全園で実施。
- ※歯磨き指導は年2回、全園の3歳以上のクラスで実施。
- ※フッ化物洗口は町立4園、私立1園の4・5歳児を対象に実施した実人数。
- ※令和4年度は、コロナ感染拡大により、小学校のフッ化物洗口実施を中止した。

- ・ 妊婦歯科健診、ふしめ歯科検診

	対象者	対象者数	受診者数
妊婦歯科健診	妊婦の方	77人	46人
ふしめ歯科検診	20.30.40 50.60.70歳	990人	72人

- ・ 保育所・こども園食育

各園の食育年間計画に基づき食育事業を実施された。町栄養士、食生活改善推進員(食推)も参加し、体験型クッキング活動として味噌汁作りを1園で行った。その他、手洗いチェッカー体験、カレー作り等も行った。

- 【成果】こども園訪問を計画的に実施し、こども園・教育総務課・健康推進課でこどもの発達等について支援を共有・協議し、保護者支援を行うことができた。  
クッキング活動では、子ども達が五感を使って体験し、食に興味を持つ事ができた。正しい手洗いの方法やポイントを確認する事ができた。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 健康支援費	46,913千円	41,886千円

①健康診査等事業 39,838千円

- ・ 基本健康診査、特定健診

病気の早期発見、早期治療、また、糖尿病、高血圧症、脂質異常症などの生活習慣病の予防を図ることを目的に実施した。令和元年度より、基本健診、後期高齢者健診は医療機関委託を開始した。

健診区分	受診者数			
	R2年度	R3年度	R4年度	
基本健康診査	125人	108人	89人	
特定健診(国保)	1,156人	1,175人	1,252人	
内 訳	集団健診	673人	663人	688人
	個別健診	402人	512人	433人
	人間ドック	81人	126人	131人
特定健診(国保外)	68人	61人	73人	
後期高齢者健診	415人	393人	305人	

\*費用は国保会計で支出

\*支出なし

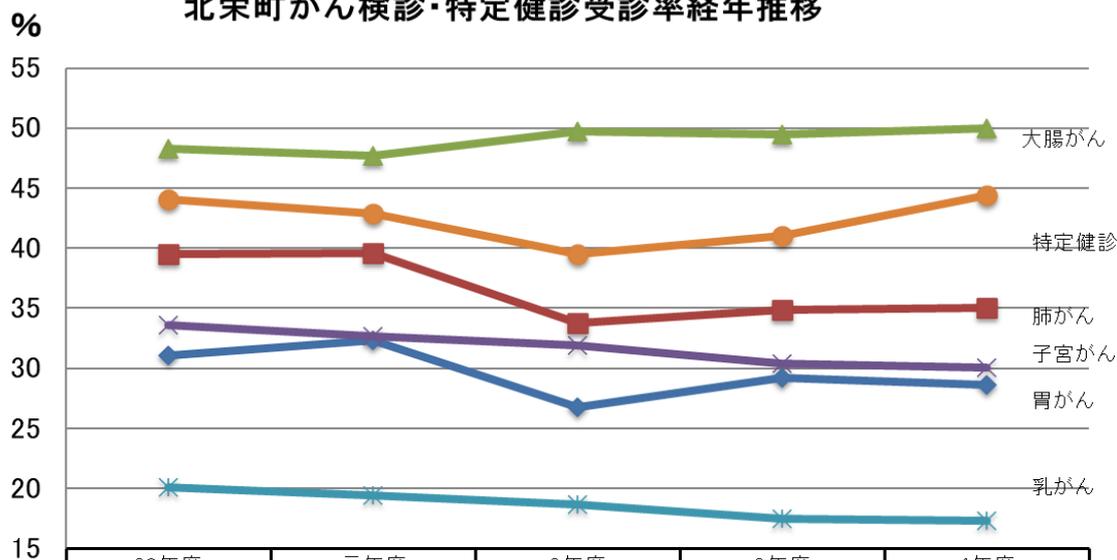
- ・ 各種がん検診

がんは、総死亡の3割を占めており全がん死亡率は現在も増加傾向にある。がん検診により早期発見し、早期治療を行うことでがん死亡を減少させるために実施した。

※精密受診者はR5年5月31日現在

		R2年度				R3年度				R4年度			
		胃	肺結核	喀痰	前立腺	胃	肺結核	喀痰	前立腺	胃	肺結核	喀痰	前立腺
受診者数	集団	394	1,295	5	157	377	1281	4	154	377	1239	5	147
	ドック	210	210	3	89	275	277	2	130	279	277	5	123
	個別	876	357	18	/	956	366	12	/	924	415	10	/
	合計	1,480	1,862	26	246	1,608	1924	18	284	1580	1931	20	270
	うち要精密 ()は受診者	29人 (26)	89人 (74)	0人	12人 (7)	36人 (30)	91人 (78)	0人	14人 (6)	35人 (28)	62人 (52)	0人	14人 (8)
	精密受診率 (%)	89.7	83.1	/	58.3	83.3	85.7	/	42.9	80	83.9	/	57.1
		肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸	肝炎	子宮	乳	大腸
受診者数	集団	32	697	475	2739	36	647	430	2666	32	658	437	2655
	ドック	50	/	/	212	63	/	/	274	54	/	/	276
	個別	47	435	134	/	41	433	140	/	23	412	127	/
	合計	129	1132	609	2951	140	1080	570	2940	109	1070	564	2931
	うち要精密 ()は受診者	1人 (1)	14人 (13)	47人 (46)	237人 (170)	3人 (2)	7人 (2)	29人 (28)	188人 (138)	0人	7人 (6)	33人 (31)	172人 (108)
	精密受診率 (%)	100	92.9	97.9	71.7	66.7	28.6	96.6	73.4	/	85.7	93.9	62.8

北栄町がん検診・特定健診受診率経年推移



	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
胃がん	31.1	32.3	26.8	29.2	28.6
肺がん	39.5	39.6	33.8	34.9	35.0
大腸がん	48.3	47.7	49.7	49.5	50.0
子宮がん	33.6	32.7	31.9	30.4	30.1
乳がん	20.1	19.4	18.7	17.5	17.3
特定健診	44.1	42.9	39.5	41.0	44.4 (速報値)

- ・人間ドック委託（対象年齢 40歳、45歳、50歳、55歳、61歳、65歳、70歳）

受診者	R2年度	R3年度	R4年度
男性	90	132	124
女性	123	146	155
計	213	278	279

- ・訪問指導

健診の事後に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

項目	R2年度	R3年度	R4年度
特定保健指導	26人	46人	35人
健診事後指導	18人	28人	30人

(実人数)

【成果】各がん検診を実施し、胃・肺・大腸・子宮・乳がんにおいて早期がんの人が発見できた。

大型はがきの再開や電話等の受診勧奨を行ったことが健診受診率向上につながった。

## ②健康支援事業 1,808千円

食推に健康づくりや食育推進に関する知識をさらに深める学習会を開催し、推進員が各自治会において食の分野を中心に健康づくりについての伝達講習会を行った。

項目	対象者	R2年度		R3年度		R4年度	
		回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数
学習会	食生活改善推進員	6回	103人	6回	93人	6回	108人
伝達講習会	自治会住民	7回	69人	3回	33人	6回	69人
食生活改善推進員養成講座		6回	32人			6回	39人

- ・健康相談及び健康教育

健診の事後や自治会を対象に、生活習慣病の予防と疾病の重症化を防ぐ目的で行った。

- ・食推伝達講習会は、町補助金で6回、町食推補助金で6回、県・国補助金で13回実施できた。

項目	R2年度		R3年度		R4年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
歯科相談	6回	306人	6回	256人	6回	355人
いきいき健康講座（各自治会）	11回	163人	11回	153人	20回	384人
その他の健康教室(出前講座等)	4回	68人	4回	49人	11回	183人
※健診事後教室	4回	26人	4回	31人	5回	31人
生活習慣病予防講演会	(血圧)	48人	(血圧)	41人		
健康フェスタ					1回	200人

※健診事後教室：「食べ方講座」「運動教室」

- ・小学校食育『弁当の日』の取り組み

小学校、栄養教諭、食生活改善推進員と連携して実施した。

小学6年生が弁当の日に取り組んだ。小学5年生が家庭科の授業を利用した弁当作りに取り組んだ。

- ・健康ポイントラリー（健康マイレージ）

健(検)診事業（赤シール）と、健康づくり事業（青シール）の両方を必ず1つ以上使用して5ポイント貯まった方（抽選で200人）に、健康に関する賞品を贈呈した。

事業を2つに分類することで、講座や教室等の参加者を増やし、健(検)診・運動・食事など日常生活における健康づくりの大切さについて健康意識の向上を図った。

応募者数	R2年度	R3年度	R4年度
	317人	335人	477人

※健診受診・健康づくり事業への参加動機となった割合74.2%（応募時アンケートより）

・ヘルスアップ教室（糖尿病性腎症重症化予防）

糖尿病が重症化するリスクの高い未受診者、受診中断者に適切な受診勧奨や保健指導を行い、腎不全、人工透析等への理解促進と生活習慣を振り返る機会とした。

参加者16人、延30人（看護師理学療法士講演会8人、管理栄養士理学療法士講演会8人、血液検査11人、保健指導3人）

※教室参加者の健診・血液検査結果から改善 HbA1c 28.6%、腎機能 14.3%

※医療機関未受診者25人中、受診勧奨により6人受診(24.0%)

【成果】

・食推算分を含めると14自治会（延22自治会）及び健診会場で合計25回の伝達講習会を実施し、望ましい食習慣の啓発の機会となった。（参加者537人）

・他の組織・団体と連携した食生活推進活動を実施し、食育の普及を図った。  
（小・中学校、学校栄養職員、公民館等）

・食推養成講座を開催し、新たに7名が会員となった。

・小学校6年生の『弁当の日』では事前学習、弁当作りを通して、栄養バランスの学習や感謝の気持ちや自立心を養う機会となった。5年生の家庭科授業での弁当作りでは、弁当作りの基礎を学ぶ事ができた。

・健康フェスタは社会福祉協議会と合同開催し、健康ほくえい計画の推進、また若い頃からの健康づくりと介護予防を考え、主体的な健康行動につながる機会となった。

・いきいき健康講座は、コロナにより開催自治会が少なかったが、開催自治会では健康の意識向上につながった。また健康推進員等合同研修会をTCCでテレビ健康講座として放映したことで広く啓発につながった。

・運動教室終了後、北栄スポーツクラブの回数券11回分を贈呈し、教室後の運動習慣定着を支援した。



小学生弁当の日

③生活習慣病予防事業

239千円

・子どものよい生活習慣づくり

子どものころからの生活習慣病予防を推進するため、小学6年生を対象に生活習慣病予防講演会を実施した。

【成果】

喫煙の害や糖分摂取、メディア利用の注意など、生活習慣病予防について学ぶ事ができた。新型コロナウイルス感染症予防のため保護者参観はなしとし、啓発として講演内容をYoutubeに動画掲載した。

・中学生におけるピロリ菌検査及び除菌

中学3年生を対象に、将来に向けて胃がんを予防する目的で行った。

項目	R2年度	R3年度	R4年度
一次検査受診率	78 %	82.5 %	76 %
真の陽性率	2.0 %	3.5 %	2.2 %

（平成27年度から実施。7年目）

【成果】

受診率も高く、将来のがん予防に向け期待できる。

④健康づくり人材育成事業

健康サポーターは、健康フェスタで健康劇を実施。月に1回社協での運動教室を担当するなど自主的に活動を続けている。また、自治会や事業所を対象に各種団体と連携を図りながら出前健康講座を企画、運営した。

【成果】

健康サポーターの自主的な活動は、周囲を巻き込んで啓発効果が期待できる。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 後期高齢者医療対策費	248,789千円	243,483千円

①後期高齢者医療対策事業 194,221千円

後期高齢者医療広域連合へ支払う療養給付費の町負担分 184,484千円  
 後期高齢者医療広域連合へ支払う共通経費の町負担分 9,737千円

【成果】後期高齢者医療に関する給付及び事務を広域連合で行うことにより効率的な運営となっている。

②後期高齢者重複・頻回受診者訪問指導事業 316千円

【成果】医療費適正化のため、糖尿病性腎症重症化予防及び低栄養対象者40人、重複受診者2人に対して訪問・電話指導を行った。

③後期高齢者医療特別会計繰出金事業 48,946千円

・基盤安定分 45,628千円  
 ・一般事務費等分 3,090千円  
 ・健診個人負担分 228千円

【成果】後期高齢者の健診の個人負担を無料、健診勧奨の一助としている。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額																
		目	20 持続可能なまちづくり推進費	1,291千円	1,284千円																
<p>①地域新電力推進事業 1,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥取県中部地域新電力構想検討事業 (株)鳥取みらい電力へ出資金 1,000千円</li> </ul> <p>【成果】選定企業体と3町による協議を行い、民間主導・官民連携で新電力事業を行う(株)鳥取みらい電力が設立された。鳥取みらい電力は小売電気事業の資格を取得した。北栄町・琴浦町・倉吉市は鳥取みらい電力へ出資した。令和5年度から公共向けに電気(実質再エネ100%)供給開始。</p>																					
<p>②持続可能な発展を目指す自治体会議事業 284千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・持続可能な発展を目指す自治体会議等負担金</li> <li>・自治体相互視察(岩手県二戸市) 10/19~21、定例会(Web会議) 1/26</li> </ul> <p>【成果】人口減少、少子高齢化など同じ課題を持つ小規模自治体が地域資源を活かしたエネルギー分野の取組などを互いに学び、先進事例や情報を速やかに共有し北栄町の環境施策の立案に活かした。</p>																					
款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額																
		目	7 環境衛生費	16,938千円	14,827千円																
<p>①環境衛生事業 1,376千円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境審議会開催(3回実施:7/25,12/22,3/20)</li> <li>・環境推進委員会開催(3/8)</li> <li>・クリーンランドほうき管理委員会開催(2/21)</li> <li>・環境学習会</li> </ul> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催数</td> <td>2小学校 1自治会 3団体</td> <td>2小学校 2自治会 1団体</td> <td>2小学校 8自治会 5団体</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こどもエコクラブ活動支援補助金(町内の保育所、こども園、小・中学校等)</li> </ul> <table border="1" style="display: inline-table;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動人数</td> <td>1,584人</td> <td>1,620人</td> <td>1,602人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】令和4年度から有害ごみ(乾電池、蛍光管、充電機一体型製品)の分別回収が新たに始まり、環境学習会(出前講座)の希望が多くあった。有害ごみの説明にあわせて町の取り組み、環境衛生事業の説明、啓発等を行い、住民の環境意識の高揚が図られた。</p>							R2年度	R3年度	R4年度	開催数	2小学校 1自治会 3団体	2小学校 2自治会 1団体	2小学校 8自治会 5団体		R2年度	R3年度	R4年度	活動人数	1,584人	1,620人	1,602人
	R2年度	R3年度	R4年度																		
開催数	2小学校 1自治会 3団体	2小学校 2自治会 1団体	2小学校 8自治会 5団体																		
	R2年度	R3年度	R4年度																		
活動人数	1,584人	1,620人	1,602人																		
<p>②広域連合負担金(火葬)事業 6,336千円</p> <p>斎場の管理運営に要した経費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中部ふるさと斎場 5,776千円</li> <li>・琴浦斎場(相互利用負担金) 560千円</li> </ul> <p>【成果】中部ふるさと斎場の維持管理に寄与した。</p>																					
<p>③猫避妊・去勢手術費補助金事業 700千円</p> <p>補助金申請件数・金額 34件 700千円</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>申請数</td> <td>22件</td> <td>31件</td> <td>34件</td> </tr> <tr> <td>頭数</td> <td>72頭</td> <td>112頭</td> <td>80頭</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】「人と動物の共生」を理念に、飼い主のいない猫の繁殖を抑制することにより、生活環境の保全を図った。</p>							R2年度	R3年度	R4年度	申請数	22件	31件	34件	頭数	72頭	112頭	80頭				
	R2年度	R3年度	R4年度																		
申請数	22件	31件	34件																		
頭数	72頭	112頭	80頭																		

## ④犬登録等事業

155千円

(単位:頭)

	R2年度	R3年度	R4年度
予防注射済証発行	486	423	458
登録数	637	661	607

【成果】 集団接種実施回数がコロナ禍前に回復した。犬の登録制度に基づき、狂犬病予防注射の徹底を図った結果、注射を受ける頭数が増えた。  
※R3からR4の登録数の減少については、登録台帳の整理による。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 環境保全費		

## ①再生可能エネルギー等導入事業 698千円

- ・木質バイオマス協議会アドバイザー報償費 25千円
- ・バイオマスボイラー成分分析手数料 663千円
- ・バイオマス産業都市推進協議会負担金 10千円

B&G海洋センターに導入した木質バイオマスボイラーの稼働を開始した。春～秋はプールの加温に利用し、冬季は館内の暖房に利用した。

【成果】 木材の有効活用、再生可能なクリーンなエネルギーの推進・活用が進んだ。また、プールの利用期間の延長、館内の暖房により利用者の健康増進へ繋がった。

## ②省エネルギー普及啓発事業 398千円

- ・「かんきょうチェックノート」配布 (小学4年生)  
配布 139人 提出 84人 (回収率 60.4%)
- ・DIY断熱ワークショップ開催 参加者12人

【成果】 小学4年生を対象に事前学習を行った上で夏休みに「かんきょうチェックノート」を配布し、家庭でできる省エネルギーの取組を実践し、家族を含めた普及啓発ができた。  
また、中央高等学園専修学校を会場に、町内事業者協力のもと実践式のDIY断熱ワークショップを行うことで、参加者に断熱の重要性と効果を体感してもらうとともに、会場となった校舎の断熱化も図ることができた。



断熱ワークショップの様子

## ③ゼロカーボン推進事業 9,999千円

- ・脱炭素ロードマップ策定業務委託料 9,999千円

脱炭素社会を見据え、本町の地域特性を踏まえて地域課題の解決につながる再生可能エネルギーの導入や省エネ対策等の目標を定めるための調査・検討を行い、2050年までにゼロカーボンを実現するためのロードマップを策定した。

【成果】 ゼロカーボン実現のためにどのような取り組みが必要なのかが明らかになった。住民対象のワークショップや事業者向け研修会を開催したことにより脱炭素への意識浸透につなげ、今後の取り組みを地域全体に広げる仕組みづくりの軸とすることができた。

## ④創エネ設備等設置費補助金事業 9,372千円 ※風のまちづくり事業充当4,687千円

町内の住宅等に太陽光発電システムやその他の創エネルギー設備等を設置する者に設置費用の一部を補助した。

太陽光発電システム			創エネルギー設備等		
年度	件数	出力	木質バイオマス	太陽熱	蓄電池等
R2	15	66.84kW	0件	0件	18件
R3	15	81.74kW	1件	0件	19件
R4	17	82.17kW	0件	廃止	18件

【成果】太陽光発電システムや創エネ設備設置費の一部を補助し、導入促進したことにより、エネルギーの自家消費が増加し、化石燃料由来電力の消費削減につなげた。

⑤電気自動車急速充電器管理事業 351千円 ※風のまちづくり事業充当123千円

- ・道の駅北条公園に設置している電気自動車急速充電器の管理を行った。
- ・道の駅北条公園再整備に伴い電気自動車急速充電器を青山剛昌ふるさと館駐車場へ移転した。

【成果】EV車利用者の利便性を確保し、EV車の普及に貢献した。

⑥省エネ住宅リフォーム補助金事業 1,020千円 ※風のまちづくり事業充当1,020千円

省エネ推進のため、断熱改修などの省エネリフォームに特化し、地元事業者要件も加えて改修費用の一部を補助した。

	R2年度	R3年度	R4年度
申請件数(件)	7	16	8
補助対象経費(千円)	3,840	11,209	4,789
補助金支給額(千円)	967	2,418	1,020

【成果】快適な住環境整備を図るとともに、家庭における省エネルギーを進めることができた。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予算現額	決算額
		目	1 塵芥処理費	151,293千円	145,936千円

①塵芥処理事業 2,311千円

- ・R5ごみ収集日程表作成 5,500部
- ・リサイクルステーション管理
- ・国坂浜土砂捨場管理
- ・有害ごみ専用コンテナ購入 600ヶ
- ・ごみ収集所掲示用看板更新 150枚

②一般廃棄物収集事業 36,809千円

ごみ収集所に排出される一般廃棄物の収集・運搬業務を委託した。

《収集量》

(単位:t)

	可燃ごみ	不燃ごみ	有害ごみ	可燃粗大	不燃粗大	びん	缶	小型家電
R2年度	3,162	133	-	205	79	86	19	26
R3年度	3,204	134	-	216	80	82	19	24
R4年度	3,146	101	4	187	61	75	19	26

③広域連合負担金(ごみ)事業 90,532千円

ほうきリサイクルセンター(ごみ処理施設)、クリーンランドほうき(最終処分場)の管理運営に要した経費

- ・ごみ処理費 86,866千円
- ・最終処分場建設費 3,531千円
- ・ごみ処理施設建設費 135千円

④再生資源収集委託事業 6,198千円

再生資源の収集・運搬・処理業務を委託した。

## 《収集量》

(単位：t)

	ペットボトル	発泡スチロール	雑誌	ダンボール	牛乳パック	新聞	古着
R2年度	21	3	76	40	1	74	39
R3年度	22	3	77	41	2	80	35
R4年度	24	3	70	41	2	76	36

## 《廃食用油回収実績》

	回収量 (kg)
R2年度	10,427
R3年度	10,677
R4年度	8,279

## ⑤再生資源回収団体事業 603千円

再生資源の回収を行った団体に対し助成金を交付した。昨年度より3団体増えた。  
実施団体数 74 団体

## 《回収量》

	古紙	缶	びん
R2年度	168 t	24 t	1,628本
R3年度	161 t	23 t	1,021本
R4年度	159 t	24 t	780本

## 《廃棄物のリサイクル状況》

	総排出量 ①	うち再生資源 ②	リサイクル率 ②/①
R2年度	4,157 t	674 t	16.2%
R3年度	4,213 t	662 t	15.7%
R3年度	4,117 t	619 t	15.0%

## ⑥統一指定ごみ袋事業 6,446千円

町指定ごみ袋作成  
大：250,000枚（500箱）  
中：200,000枚（400箱）

## ⑦海岸漂着物処理事業 2,932千円

海岸に漂着した廃棄物を撤去、処分するため沿岸16自治会に年3回程度の清掃活動を依頼して手数料を交付した。また、ボランティアで海岸清掃を行われる方々への協力、支援等を行った。

## 沿岸自治会実施状況

	のべ回数	参加人数
R2年度	41回	1,637人
R3年度	41回	1,675人
R4年度	45回	1,960人

## ⑧不法投棄対策事業 106千円

パトロールや不法投棄看板の貸出しの実施、また、廃棄物処分費用の補助を行った。

## 不法投棄防止啓発用看板

	貸出	看板作成
R2年度	16カ所25枚	—
R3年度	4カ所5枚	50枚
R4年度	15カ所25枚	—

## 撤去事業等補助金

	対象数	補助金額
R2年度	6件	346,000円
R3年度	—	—
R4年度	1件	15,000円

【成果】ごみの分別・収集を適正に行えるよう環境整備、体制を整えるとともに、ごみの減量化・再資源化に対し、普及啓発を行ったため、ごみの搬入量が減少した。地域の美化活動や不法投棄対策事業を推進することで、美しい環境を守るとともに、環境保全意識の高揚を図った。

款	4 衛生費	項	2 清掃費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	2 し尿処理費	7,402千円	7,198千円															
<p>①広域連合負担金（し尿）事業 7,198千円  クリーンセンター（し尿処理施設）の管理運営に要する経費  ・クリーンセンター費 6,763千円 ・施設建設費 435千円</p> <p>【成果】クリーンセンターの維持管理に寄与した。</p>																				
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	1 町営住宅管理費	9,212千円	8,126千円															
<p>①町営住宅管理事業 7,622千円  2団地105戸を管理。  年度内の入居件数は3件、退去件数は6件で、3月末現在の入居率は86.7%となっている。  ・修繕費 4,076千円 ・昇降設備保守 2,614千円  ・消防用設備保守 279千円 ・白アリ防除 526千円</p> <p>・町営住宅の入居状況（令和5年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>管理戸数</th> <th>入居戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>由良宿団地</td> <td>60戸</td> <td>60戸</td> </tr> <tr> <td>六尾北団地</td> <td>45戸</td> <td>31戸</td> </tr> <tr> <td>町営住宅合計</td> <td>105戸</td> <td>91戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>②民間賃貸住宅家賃補助事業 504千円  六尾北団地の用途廃止に伴い、民間賃貸住宅に移転された方への家賃補助を行った。</p> <p>【成果】適正に募集、管理し、入所希望者、入居者へ適切に住環境を提供した。</p>						団地名	管理戸数	入居戸数	由良宿団地	60戸	60戸	六尾北団地	45戸	31戸	町営住宅合計	105戸	91戸			
団地名	管理戸数	入居戸数																		
由良宿団地	60戸	60戸																		
六尾北団地	45戸	31戸																		
町営住宅合計	105戸	91戸																		
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	3 県営住宅費	697千円	645千円															
<p>①県営住宅団地管理事業 645千円  県から3団地22戸の管理委託を受けている。  年度内の入居件数は1件、退去件数は2件で、3月末現在の入居率は90.9%となっている。</p> <p>・県営住宅の入居状況（令和5年3月31日現在）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>団地名</th> <th>管理戸数</th> <th>入居戸数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>栄第1団地</td> <td>8戸</td> <td>7戸</td> </tr> <tr> <td>栄第2団地</td> <td>8戸</td> <td>8戸</td> </tr> <tr> <td>大野団地</td> <td>6戸</td> <td>5戸</td> </tr> <tr> <td>県営住宅合計</td> <td>22戸</td> <td>20戸</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】適正に管理し、入居者、入居希望者に適切な住環境を提供した。</p>						団地名	管理戸数	入居戸数	栄第1団地	8戸	7戸	栄第2団地	8戸	8戸	大野団地	6戸	5戸	県営住宅合計	22戸	20戸
団地名	管理戸数	入居戸数																		
栄第1団地	8戸	7戸																		
栄第2団地	8戸	8戸																		
大野団地	6戸	5戸																		
県営住宅合計	22戸	20戸																		
款	7 土木費	項	4 住宅費	予 算 現 額	決 算 額															
		目	9 六尾北団地用途廃止費	6,169千円	5,800千円															
<p>①六尾北団地用途廃止事業 5,800千円  用途廃止に伴う調査設計業務の発注及び転居者への移転費用の補助を行った。  ・調査委託料 5,720千円 ・入居者移転補償費 80千円</p> <p>【成果】調査設計及び円滑な移転を進め、用途廃止に向けた準備を進めることができた。</p>																				

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	1 農業委員会費	43,746千円	42,919千円

## ①農業委員会総務事業 22,278千円

総会開催等の委員会事務を行う。

- (1) 現員 26人 うち農業委員 13人 農地利用最適化推進委員 13人  
 (2) 総会開催状況 総会12回

・農地法事務処理状況  
 処理件数

年度	R2年度	R3年度	R4年度
農地法第3条	18件	18件	30件
農地法第4条	1件	1件	1件
農地法第5条	16件	19件	10件
農地法第3条の3	68件	72件	49件
農地法第18条	95件	85件	67件
非農地証明	10件	2件	3件
2a未滿転用	0件	0件	3件
土地改良届	2件	0件	0件

- 農地法第3条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定  
 農地法第4条 : 所有者による農地の転用  
 農地法第5条 : 所有権の移転又は使用貸借権等の設定を伴う農地の転用  
 農地法第3条の3 : 相続等の権利取得の届出  
 農地法第18条 : 農地使用貸借等の解約  
 非農地証明 : 非農地であることの承認  
 2a未滿転用 : 小規模な農業用施設設置に係る転用  
 土地改良届 : 水田の畑への変換

・農用地利用集積事業処理状況  
 処理件数

年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用権設定(筆)	1545筆	775筆	778筆
うち解除条件付	65筆	29筆	77筆
所有権移転	19件	9件	11件

・農地利用状況調査  
 遊休農地の状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度
再生利用が可能な農地	383,693㎡	579,774㎡	639,567㎡
うち田	82,375㎡	129,607㎡	162,289㎡
うち畑	301,318㎡	450,167㎡	477,278㎡

・農家相談の実施状況

農地などの困りごとについて、農業委員が相談を受ける。(毎月1回実施)

年度	R2年度	R3年度	R4年度
相談件数	8件	15件	19件

※ 令和3年1月から実施

・家族経営協定の新規締結状況

年度	R2年度	R3年度	R4年度
新規締結件数	6件	4件	7件

(3) 委員会活動状況

農地委員会 法人営農状況調査1回 (2法人)  
 農政委員会 意見書提出1回、青年農業者研修会  
 広報委員会 農業委員会だより『菜種』発行4回



法人営農状況調査



青年農業者研修会



菜種

(4) 農振法事務処理状況

処理件数及び面積

年度	R2年度		R3年度		R4年度	
軽微変更	-	-	1件	45㎡	2件	329㎡
重要変更	2件	10,739㎡	3件	1,554㎡	2件	3,816㎡

軽微変更 : 農業用施設用地への用途変更等

重要変更 : 農用地区域からの除外 (農地転用) 等

【成果】農地法、農業経営基盤強化促進法、農振法の趣旨に基づき、農地を守り活かすことができた。

②農地流動化推進事業助成金事業 3,726千円

認定農業者等の農地の賃借を助成金で支援し、経営規模の拡大と農地の流動化を図る。

・助成要件 令和4年1月1日から令和4年12月31日までの間における賃貸借3年以上の利用権設定

・認定農業者 (新規2,000円/10a、更新1,000円/10a)

年度	R2年度	R3年度	R4年度
対象者 (人)	52人	29人	41人
うち家族経営協定締結者	17人	7人	14人
対象面積 (㎡)	942,952㎡	400,359㎡	527,578㎡
うち家族経営協定締結者	125,446㎡	29,261㎡	67,287㎡

・認定農業者以外 (新規1,000円/10a、更新500円/10a)

年度	R2年度	R3年度	R4年度
対象者 (人)	98人	46人	40人
うち家族経営協定締結者	6人	5人	3人
対象面積 (㎡)	568,178㎡	219,400㎡	172,271㎡
うち家族経営協定締結者	35,945㎡	28,736㎡	13,630㎡

【成果】認定農業者等の経営規模の拡大、農地の流動化、及び、遊休農地の解消を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 国有農地等管理処分費	24千円	24千円

## ①国有農地等管理処分事業 24千円

国有農地借受者の耕作状況の把握及び貸付使用料の徴収事務を行う。

【成果】国有農地の有効活用を図ることができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 農業者年金費	1,126千円	1,126千円

## ①農業者年金事業 1,126千円

農業者の老後の生活の安定と福祉の向上と併せて、農業の担い手を確保するため、新・旧農業者年金加入者の各種手続きや新農業者年金の加入推進を行う。

- ・農業者年金受給者の届出処理及び指導

被保険者

年度	R2年度	R3年度	R4年度
新農業者年金	54人	54人	67人
うち新規加入者	8人	3人	3人

受給待期者

年度	R2年度	R3年度	R4年度
旧農業者年金	13人	12人	12人
新農業者年金	20人	20人	20人

受給者

年度	R2年度	R3年度	R4年度
旧農業者年金	191人	167人	143人
新農業者年金	31人	34人	35人

【成果】農業者に豊かで安定した老後の生活を提供できた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	17 農地中間管理費	2,993千円	2,862千円

## ①農地中間管理事業 2,862千円

農業の生産性向上や農業経営の効率化を進める担い手への集積・集約を加速させることにより、農業経営の規模拡大、農用地の集団化、有効利用、効率化を図る。

- ・中間管理事業による実績

年度	R2年度		R3年度		R4年度	
	筆数	面積 (m <sup>2</sup> )	筆数	面積 (m <sup>2</sup> )	筆数	面積 (m <sup>2</sup> )
マッチング (中間管理権設定)	258筆	390,051m <sup>2</sup>	121筆	228,046m <sup>2</sup>	128筆	231,092m <sup>2</sup>

【成果】担い手への農地の集積を推進することができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	94,746千円	86,978千円

①上種・両高尾地区地域おこし協力隊事業 4,100千円

上種・両高尾地区地域の住民と連携しながら、有害鳥獣対策を行うなど地域の活性化となる活動を行った。

【成果】地域の人と関わり合いを持った有害鳥獣駆除を通じて、上種・両高尾地域の活性化が図れた。

②イチゴ産地化地域おこし協力隊事業 29,319千円

イチゴの栽培技術の習得に努めた。また先進地視察を行い栽培技術の向上を行った。その他にも、就農に向けた勉強会を行い、就農に向けて準備を行うとともに、自衛消防団に入団するなど地域住民との信頼関係構築に務めた。

【成果】地域おこし協力隊として、イチゴの栽培技術を学ぶとともに、普及所・町の新規就農担当との勉強会、元地域おこし協力隊との意見交換会を行い、新規就農に向けて準備を行った。また、県外への先進地視察を行い、観光農園の経営・運営方法などについて学ぶことができた。

③ブドウ産地活性化地域おこし協力隊事業 7,066千円

(株)北条ワイン醸造所でワイン用ブドウ栽培を学んだほか、北条ワインのPR活動を行った。その他にも、居住地域において地域の清掃活動等に参加し地域住民との交流を深めた。

【成果】年間を通した一連のブドウ栽培に加え、圃場管理者のもとでの成木の管理や農地拡大に伴う苗植えなどについて学び、基礎的な栽培技術を習得できた。また、県外のイベントに参加し、北条ワインのPR活動を行うことができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 農業振興費	880,935千円	761,759千円

①ブロッコリー産地の広域化等総合対策事業 1,681千円

ブロッコリーの産地化に向けた機械導入の支援を行った。  
2件（乗用全自動移植機、高床式野菜作業機）

【成果】機械導入の支援を行い、栽培面積拡大、省力化及び効率化につながった。



乗用全自動移植機

②経営改善支援活動事業 1,039千円

- ・ 認定農業者審査会報償費 22千円
- ・ \*審査内容：(5/27)新規4, (7/29)新規4・更新1, (11/15)新規4・更新3, (3/3)新規5・更新5
- ・ \*審査委員＝農家代表2人、学識経験者1人、普及所1人、農業委員2人、JA（営農センター）1人、産業振興課1人
- ・ 農業経営基盤強化資金利子補助金 66千円
- ・ 果樹等経営安定資金利子助成 57千円
- ・ 果樹共済農家負担軽減補助金 80千円
- ・ 収入保険加入奨励金 340千円
- ・ 収入保険加入促進事業費補助金 474千円

年度	(件)		
	R2年度	R3年度	R4年度
農業経営基盤強化資金利子補助	3	2	1
果樹共済農家負担軽減補助	38	31	28
認定農業者認定件数(新規)	43(20)	40(19)	26(17)

【参考資料】	
認定農業者総数の推移	
R2	137人
R3	150人
R4	160人

【成果】安定的な経営をめざす農業者の育成につながった。

\*所得380万円以上  
1,800時間労働/年

**③野菜価格安定対策事業 1,927千円**

特定野菜等供給産地育成価格差補給事業及び鳥取県ブランド野菜価格安定対策事業の資金造成に係る積立を行った。

【成果】野菜の価格下落に対する農家の支援を行い、営農の継続につながった。

**④農業振興補助金事業 19,677千円**

・北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金 884千円  
コロナ禍で生産者自らが消費地に出かけて行う販売促進活動ができないなか、PR用ポスターやチラシの作成などに要する経費に対して補助金を交付し、さらなるブランド化の推進を図った。

5生産部(長芋、大栄西瓜、花き、らっきょう、ぶどう)

【成果】農産物のブランド化を進め、市場での付加価値を高める取り組みを後押しできた。

・経営所得安定対策推進事業費補助金 2,477千円  
経営所得安定対策制度を円滑に推進するため、実務を行う北栄町農業再生協議会に対して、補助金を交付した。

【成果】申請に必要な書類の配布や回収、データの整理など必要経費を支援することで、事業が円滑に進められるように支援できた。

・鳥取梨生産振興事業費補助金 5,646千円  
鳥取県育成オリジナル新品種(新甘泉など)の導入と生産拡大のための費用に対する支援を行った。

2件(梨の改植 15a、160本) (県2/3)  
(育苗委託 115a、910本) (県2/3)  
(育成奨励金 15a) (県1/2 町1/2)  
(防除用機械 1台) (県3/4)

【成果】新甘泉等の導入と生産拡大の支援により、梨生産の活性化を図れた。

・戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金 9,927千円  
新規就農者の参入促進・梨産地活性化・生産者の所得向上のため、鳥取県育成新品種(新甘泉など)を主体とした果樹団地を戦略的に整備するための費用に対する支援を行った。

【成果】北条島地内で梨団地を整備することにより、効率的な農業運営の支援につながった。

・鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金 743千円  
産地で振興する果樹の優良品種の導入、生産基盤の整備のための費用に対する支援を行った。  
1件(ぶどう果樹棚7.02aの設置)

【成果】果樹棚の整備に対する支援により、生産拡大を図れた。

年度	(千円)		
	R2年度	R3年度	R4年度
北栄町農産物ブランド推進活動支援事業補助金	1,125	874	884
経営所得安定対策推進事業費補助金	2,108	2,419	2,477
鳥取梨生産振興事業費補助金	5,632	2,018	5,646
戦略的スーパー園芸団地整備事業費補助金	-	10,608	9,927
鳥取柿ぶどう等生産振興事業費補助金	9,621	13,947	743
水田共同利用機械整備事業費補助金	3,666	-	-

⑤がんばる農家プラン支援事業 28,762千円

意欲ある農業者等が行う創意工夫を生かしたプランに対して補助金を交付し支援した。

- ・白ネギ、ブロッコリー拡大プラン（2/3年目） 3,238千円  
予冷库、予冷库水道電気工事
- ・中玉トマト、ストックの経営安定を図るプラン（3/3年目） 452千円  
杭打機、土壌消毒機、幌加工
- ・西瓜とほうれん草を基幹とした作業改善プラン(3/3年目) 1,050千円  
プレハブ冷蔵庫
- ・ハウス野菜増産プラン（1/3年目） 4,500千円  
パイプハウス、灌水資材、電気工事、循環扇
- ・ブロッコリー、施設野菜、芝規模拡大プラン（1/2年目） 9,022千円  
作業場、トラクター
- ・花壇苗生産拡大プラン（3/3年目） 10,500千円  
作業場、井戸掘り

≪繰越分≫

・がんばる農家プラン支援事業（繰越） 10,500千円

- ・西瓜とほうれん草を基幹とした作業改善プラン(2/3年目) 10,500千円  
作業小屋

R2年度		R3年度		R4年度	
件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
6	23,431	3	18,054	6	28,762

【成果】農業者による創意工夫を生かした取り組みにより、規模拡大、所得向上等が行われ、元気な農業者の育成、北栄町農業の振興、活性化につながった。

⑥担い手育成支援事業 6,886千円

新規就農者に対し、就農時に必要な機械・施設の導入に対する補助を行うことにより、営農計画の実現と農業経営の安定を図った。

（就農条件整備）

- 皮むき機、結束機、根切り機、ラジコン動力噴霧機、管理機（白ネギ） 901千円
- マルチ巻取機、電動播種機（すいか） 160千円
- 中乗用モア、運搬車（梨） 765千円
- 電動結束機（白ネギ） 155千円
- 土壌消毒機（西瓜、抑制メロン） 183千円
- トラクター（中古）、管理機（中古）、セット動力噴霧機（中古）、ブロードキャスター（中古）、ウイングモア（中古）、全自動野菜移植機、野菜作業車、播種機（ブロッコリー） 1,800千円
- 運搬車、ラジコン動力噴霧機（すいか） 560千円
- 作業場パイプハウス(すいか) 982千円

（経営発展支援）

- 保冷库 1,380千円

	R2年度		R3年度		R4年度	
	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）	件数	金額（千円）
就農整備	6	2,590	5	2,822	8	5,506
経営発展	—	—	—	—	1	1,380

【成果】新規就農者の初期設備投資にかかる負担を軽減し、安定した経営への支援ができた。



作業場パイプハウス

⑦集落営農体制強化支援事業 13,932千円

意欲のある担い手の規模拡大に向けた機械導入などについて支援を行った。  
ツインモア、コンバイン、トラクター

【成果】地域の水稻農業の担い手を支援することにより、面積拡大を支援できた。

⑧産地パワーアップ事業補助金 158,761千円

- ・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金 6,204千円  
産地が定めた「産地パワーアップ計画」に基づき、高収益な作物・栽培体系への転換を図るための取り組みに対する支援を行った。  
\*国事業（国：資材費の1/2）  
西瓜 寒冷紗 42戸 178枚
- ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 152,556千円  
\*県事業（国1/3（資材費の1/2）、県2/9、町1/9）  
西瓜 鳥取型低コストハウス 28戸 109棟

年度	区分	R2年度		R3年度		R4年度	
西瓜 寒冷紗	繰越	123枚	-	-	-	-	-
	現年	185枚	-	63枚	-	178枚	-
西瓜 低コストハウス	繰越	20棟	6,862㎡	-	-	-	-
	現年	47棟	14,627㎡	81棟	26,044㎡	109棟	29,262㎡

＜繰越分＞

・産地生産基盤パワーアップ事業費補助金（繰越） 490,125千円

大栄西瓜選果場の選果ラインの整備をすることで出荷量増加や、更なる産地の発展につながった。

\*国事業（国：資材費の1/2）

【成果】低コストハウスや寒冷紗の導入による栽培技術の向上や選果場改修による選果能力を向上することにより、産地活力の向上が図れた。

⑨園芸産地活力増進事業 20,447千円

鳥取県農業の強みの一つである野菜等の振興を図るため、園芸品目の産地づくりや野菜等の供給体制整備の取り組みを支援する。

- らっきょう植付機（4台） 2,096千円
- らっきょう計量包装器一式 18,351千円

【成果】生産団体等の機材等を導入することにより、生産供給環境の整備を支援できた。



らっきょう計量包装器

⑩農業経営サポート事業 250千円

- ・体験農園の管理委託 250千円  
JA鳥取中央青壮年部大栄支部ドリームクラブに体験農園の管理委託をし、町内の園児とサツマイモの芋掘りを通じて若手農家との交流を行った。

【成果】苗の定植、芋掘りについて園児と若手農家との交流と、農業体験を支援した。

⑪中部フェスタ事業 326千円

負担金により、「中部発！食のみやこフェスティバル」2年ぶりの開催に寄与した。

【成果】北栄町内の飲食事業者や特産品、加工品等をPRする機会とし、地域での消費拡大につなげた。

⑫スマート農業社会実装促進事業 3,009千円

農業散布ドローン 1件、ハウス自動換気装置や環境測定装置 5件の導入に関する支援を行った。

【成果】ドローンやハウス自動換気装置の導入などにより、持続可能な農業を推進できた。

⑬農産物PR事業 760千円

鳥取空港や広島マツダスタジアム、東京都港区、滋賀県湖南市など、県内外での販売促進イベントに出展し、北栄町農産物の魅力を伝えた。

【成果】3年ぶりに現地での販売促進イベントを実施したことにより、消費地において北栄町産の農産物をPRする良い機会となった。また生産者の方にも販売促進に同行していただき、消費者の反応などに直接触れる機会となったことで販路拡大の一助となった。



広島マツダスタジアム

⑭戦略的園芸品目総合対策事業 592千円

光合成促進機、高設栽培ベンチ資材等一式など機械・設備導入を支援することにより、県育成のオリジナルいちご品種「とっておき」の拡大を図った。

【成果】「とっておき」の面積拡大により、産地化を図れた。

⑮鳥取の花いきいき総合戦略事業 2,878千円

高度な技術が必要な育苗の委託や収穫調整機の導入等に対し体制整備の支援を行った。

【成果】品質の安定した苗を定植することで安定して出荷本数を確保でき、調整機の導入で作業効率が向上した。

⑯ジャンボタニシ防除対策事業 37千円

町内水田においてジャンボタニシ（スクミリンゴカイ）による被害が拡大しているため、防除作業（水口ネット設置）に対して補助金を交付した。

【成果】3つの集落営農組織に交付し、水口ネット設置による防除対策を実施することができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 担い手育成支援費	32,178千円	29,878千円

①担い手育成支援事業 29,878千円

- ・東伯地区農業士会負担金 35千円  
東伯地区指導農業士の活動費について、北栄町の推薦している東伯地区指導農業士5人分について負担金を交付した。
- ・農業次世代人材投資資金（経営開始型）、経営開始資金 16,798千円  
独立就農をする新規就農者に対して、就農から5年間の生活基盤安定のため補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

(交付金)

R2年度		R3年度		R4年度	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
8	7,341	9	9,915	14	16,798

- ・親元就農促進支援交付金 9,000千円  
親元で就農しようとする後継者の農業研修をサポートすることにより、地域の農業力の底上げを図るとともに、将来の地域農業の中心となる人材の育成を行った。

R2年度		R3年度		R4年度	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
17	16,400	12	11,800	14	9,000

- ・就農応援交付金 1,950千円  
独立就農をする新規就農者のうち、農業次世代人材投資資金の対象外となった者について、就農から3年間の生活基盤安定のため補助を行った。また、営農などに関するサポートを行った。

R2年度		R3年度		R4年度	
件数	金額(千円)	件数	金額(千円)	件数	金額(千円)
2	985	4	1,985	3	1,950

- ・産地主体型就農支援モデル確立事業 2,095千円

主体的に後継者を確保し育成する仕組みのモデル確立を目指す組織に対して、研修に必要な設備等の整備や体制構築の取り組みに対して支援を行った。

【成果】大栄西瓜組合協議会及び大栄花き部会が主体となった新規就農者受入に必要な設備などを整備することにより、新規就農者が定着しやすい産地の体制づくりを行った。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 農林業地域改善対策費		
				1,109千円	1,108千円

①国坂地区砂丘暗渠排水管理負担金事業 66千円

地域改善対策事業で設置した暗渠について、砂堆積による放水口の閉塞を開削するため、維持管理をしている大野自治会へ開削費用を補助した。

【成果】地元負担の軽減となった。

②地域改善対策負担軽減事業 1,042千円

県営ほ場整備事業（21世紀水田対策大倉地区）に係る地元負担金及び経常経費に対し補助した。

【成果】地元負担の軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 畜産振興費		
				8,946千円	8,353千円

①畜産振興事業 8,353千円

- ・後口谷畜産団地西側伐採・集積作業委託料 400千円  
後口谷畜産団地西側に繁茂している草木等の伐採した。

【成果】敷地内及び敷地外に垂れ下がっている草木を伐採することで、適正な施設管理ができた。

- ・鳥取県畜産推進機構負担金 25千円

- ・畜産経営維持継続支援対策事業補助金 6,601千円  
肉用牛肥育経営安定交付金積立（新マルキン）補助金、肉豚経営安定交付金制度（マルキン）負担金の一部を補助し、経営の維持継続を支援した。

【成果】987頭の肉牛に対し肉用牛肥育経営安定交付金積立補助金、2,660頭の肉豚に対し肉豚経営安定交付金制度を実施し、その一部を補助することで経営の維持継続の支援をすることができた。

- ・乳用牛優良精液利用促進事業補助金 705千円  
優良精液の購入費の補助を行い、優良精液の種付けをすることにより、泌乳能力の向上と高品質な牛乳の生産を図り、安定した酪農経営を支援した。

【過去の実績】

R1年度		R2年度		R3年度		R4年度	
配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)	配布本数	金額(千円)
203本	828	178本	731	161本	822	145本	705

【成果】優良精液を各酪農家が利用し、優良乳用牛の安定した生産と高品質な牛乳の確保へ向けた支援ができた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 農地費		
				95,952千円	80,003千円

①単町農業農村整備事業 3,328千円

町が管理する農道の除草、修繕等を行った。

- ・農道管理委託料 1,847千円  
シルバー人材センター、大栄西瓜組合協議会（スイカロード除草）等へ業務委託した。
- ・農道修繕工事請負費 990千円  
町管理農道の修繕を行った。
- ・小規模修繕工事請負費 263千円  
ため池管理システムの機器設置に支障となる、ため池周囲の伐採工事を実施した。
- ・農道台帳管理費 228千円

【成果】町が管理する農道等の適切な管理ができた。

②土地改良区地元負担軽減補助金事業 13,519千円

地域農業の経営安定と活性化を目的として、地元負担軽減のため土地改良区への補助を行った。（町道新設改良事業費償還金補助を含む）

- ・北条砂丘土地改良区関係 3,355千円
- ・北条水系土地改良区関係 4,636千円
- ・大倉土地改良区関係 1,904千円
- ・大栄町土地改良区関係 3,624千円

【成果】土地改良区へ補助することにより農家の負担軽減となった。

③県営土地改良事業費負担金事業 11,650千円

県営農業用河川工作物等応急対策事業（土地改良施設耐震対策事業）北条用水地区の市町村負担金 \*国55%、県32%、倉吉市5.2%、北栄町7.8%

【成果】北条用水の耐震工事を進めることにより、安心して営農できる環境整備を行っている。

④国営事業 26,217千円

- ・西高尾ダム周辺施設維持管理委託料 1,519千円
- ・国営東伯地区維持管理事業負担金 7,673千円
- ・国営東伯地区基幹水利施設更新事業負担金 16,992千円

【成果】対象施設の適切な維持管理が図れた。

⑤ふるさと活性化基金積立金事業 17,554千円

多面的機能支払交付金活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うための貸付（交付金交付時に償還）をするために、ふるさと農村活性化基金積立金を積立した。

【成果】基金を活用して貸付事業を行うことで、国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動をしてもらうことができた。

⑥団体営農業農村整備事業 6,796千円

- ・測量設計委託料 1,825千円  
農業用水利として利用見込みのない仏石ため池の廃止工事を施工するにあたり、設計業務を委託した。

【成果】ため池周辺の地理条件を鑑み、効果的かつ経済的な工事設計を行えた。

- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業負担金 936千円  
国営東伯地区の施設整備補修工事について、町負担金を負担した。  
\*国55%、県22.5%、町22.5%（琴浦町62.2%、北栄町37.8%）

【成果】東伯地区土地改良区連合の事業費を負担することにより、農家の負担軽減となった。

- ・農業水路等長寿命化・防災減災事業補助金 4,035千円

北条砂丘土地改良区と大栄町土地改良区が既存施設の機能診断結果に基づいて施設を修繕、更新する費用に対して、補助を行った。

【成果】土地改良区に事業費を補助することにより、農家の負担軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	10 中山間地域等直接支払費	176千円	176千円

①中山間地域等直接支払事業 176千円

農業生産条件が不利な状況にある中山間地域等（東高尾地区）における農業生産の維持を図るための活動に対し補助するもの。

年度	R2年度	R3年度	R4年度
協定数	1	1	1
対象用地	15,689㎡	15,689㎡	15,689㎡

※協定期間 R2～R6（第5期）

【成果】中山間地域の農業生産の維持が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	11 有害鳥獣防除費	1,653千円	1,329千円

①有害鳥獣防除事業 1,329千円

有害鳥獣の捕獲や駆除により、農産物への被害を防いだ。

- ・鳥獣被害対策実施隊報酬 100千円
- ・ヌートリア等対策講習会講師謝金 8千円
- ・射撃環境改善事業補助金 30千円  
有害鳥獣捕獲に従事する者の射撃練習に係る費用を支援し、野生鳥獣の保護管理を図った。
- ・侵入防止柵購入支援補助金 184千円
- ・ヌートリア等捕獲奨励金 907千円
- ・カラス一斉駆除用弾代等消耗品 34千円
- ・監視センサー通信費 66千円

(匹、頭、羽)

捕獲・駆除	奨励金	R2	R3	R4
ヌートリア	3,000円	120	94	91
イノシシ	10,000円	32	74	26
カラス	1,000円	37	42	129
シカ	猟期外10,000円	4	6	6
アナグマ	3,000円	5	10	9

\*シカの捕獲については、猟期（11/1～2月末）は奨励金5,000円。

【成果】実施隊による捕獲を積極的に行ったことにより、農作物等への被害の軽減を図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	12 多面的機能支払交付金費	108,286千円	107,805千円

①活動支援推進交付金事業 107,805千円

- ・多面的機能支払交付金 89,535千円
  - ・広域化事務局補助金 160千円
- 地域住民が行う、農地や農業用施設などの農村資源や自然環境の保全の共同活動、農業用施設などの施設の長寿命化を図るための活動に対して交付金を交付した。  
25の組織のうち24の組織で広域協定を締結し、より活動に専念できる環境となった。  
ふるさと活性化基金を活用し、交付金支払いまでの間の各組織の活動費について貸付（無利子）事業を行った。（多面広域協定）  
（取組組織数）

	R2年度	R3年度	R4年度
多面的機能（農地維持、資源向上（共同））活動支援交付金	24 (うち22は広域)	25 (うち24は広域)	25 (うち24は広域)
多面的機能（資源向上（長寿命））活動支援交付金	23 (うち22は広域)	24 (いずれも広域)	24 (いずれも広域)

【成果】

各組織ごとで農地や自然環境の保全、施設等の長寿命化が図れた。

（組織数 2）広域協定組織、東高尾清流の郷

（広域協定組織数 24組織は下記のとおり）＊順不同

江北環境保全会	西園みどりの会	下種地域ふるさと保全会
弓原地区農地・水・環境保全会	六尾農地保全の会	妻波地区農地・水・環境保全会
下神地域環境保全隊	瀬戸みどりネット	大谷ふるさと愛創会
松神豊かな郷	原農村資源保全協議会	TMA（田井）
北尾環境活動組織	穂波水とみどりの会	北条島地区水田耕作者の会
米里農地保全の会	大島みどりと水を守る会	上種ふるさと守る会
まがり美土里グループ	西穂波地区環境保全会	中北条水田を守る会
東園環境保全活動組織	亀谷環境保全会議	由良別所地域水田耕作者の会

- ・多面的機能支払交付金推進貸付金 15,850千円
- ふるさと農村活性化基金積立金を活用して、多面的機能支払の活動組織に対して、交付金交付前の活動を行うために貸付をした。（多面的機能支払交付金交付時に償還）

【成果】国の交付金が入ってくるまでの間、多面的機能の活動組織の運営資金としてもらうことで年度当初からスムーズな活動をしてもらうことができた。

●ふるさと農村活性化基金（＊R5.3.31現在）

	R4年度
基金残高	17,553,938円

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	13 しっかり守る農林基盤整備費	42,899千円	42,810千円

①しっかり守る農林基盤整備事業 42,810千円

- ・整備工事請負費 1,015千円
  - ・整備砕石購入費 35千円
  - ・基盤整備補助金 41,719千円
- 農道補修、畑かん用水ポンプ修繕、畑かん用水管更新、令和3年7月豪雨災害による災害復旧などを行った。

【成果】農業生産基盤の改良、新設及び改修等が図れた。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	14 環境保全型農業直接支援対策費	206千円	205千円

## ①環境保全型農業直接支払対策事業 205千円

農薬の50%削減と地球温暖化効果のある取り組み（カバークロップ（レンゲ草））など環境保全型農業に取り組む農家等に対し、交付金（6,000円/10a）を交付した。

R2年度		R3年度		R4年度	
件数	面積 (a)	件数	面積 (a)	件数	面積 (a)
1	1,289	1	1,134	1	342



カバークロップ(レンゲ草)

【成果】環境保全を重視した農業生の取り組みを支援できた。

\*取組団体：原西部営農組合

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	18 土地改良施設維持管理適正化事業費	4,745千円	4,745千円

## ①土地改良施設維持管理適正化事業 4,745千円

土地改良区が、施設整備・補修・維持管理事業を行うために必要となる事業費を、5年間均等に分けて鳥取県土地改良事業団体連合会を通じて全国連合会に積立拠出するため、その費用を補助した。

\*国30%、県30%、町30%、土地改良区10%

・北条砂丘土地改良区関係 4,488千円      ・北条水系土地改良区関係 120千円  
 ・大倉土地改良区関係 137千円

【成果】土地改良区へ補助することにより農家の負担軽減となった。

款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予算現額	決算額
		目	28 気象災害等対策費	15,255千円	1,470千円

## ① 気象災害対策事業（繰越） 1,378千円

令和3年12月の大雪により被害を受けたパイプハウス等の復旧を支援した。

【成果】早期に災害前の営農を行えるよう支援できた。

※令和5年1月の大雪被害については、令和5年度へ繰越

## ②緊急防除支援事業 92千円

湯梨浜町水田で被害が拡大するジャンボタニシと縞葉枯れ対策のため、湯梨浜町が実施する「水田病害虫緊急対策(秋耕うん推進)事業補助金」について、北栄町に住所を有する農家の経費分を負担した。

【成果】関係機関と連携しながら被害拡大に努めることができた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 林業振興費	11,049千円	4,620千円

## ①枯松伐採促進事業 1,192千円

松くい虫による被害拡散防止と枯松による危険防止のために行った伐採に対し、経費を補助した。

\* 事業体：2団体5個人

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
枯松伐採	7本	9本	87本	144本

【成果】枯松伐採費用の負担軽減を行うことで、被害拡大の防止につなげた。

## ②林業労働者福祉向上推進事業 136千円

林業労働者共済年金掛金及び林業労働者年末一時金支給の経費に対して助成を行った。

\* 事業体：（公財）鳥取県林業担い手育成財団

【成果】林業労働者の生活の安定と福祉の向上に寄与することで林業労働者の確保及び就労条件の改善を図れた。

## ③林業関係負担金事業 37千円

（社）鳥取県緑化推進委員会負担金 17千円  
鳥取県治山林道協会負担金 10千円  
天神川流域林業活性化センター負担金 10千円

【成果】地域の森林整備により森林の公益的機能の充実を図れた。

## ④林道事業 270千円

台風14号の影響による原・曲の倒木撤去と原のふるさと林道伐採工事を行った。

【成果】車両の通行に支障となっていた倒木の撤去や林道の枝伐採処理を行い、林業作業車両及び一般車両の円滑な交通改善を図れた。

## ⑤森林整備担い手育成対策事業 85千円

林業労働者の福利厚生の実施を図るため、林業労働者の育成・確保の助成を行った。

## ⑥間伐材搬出促進事業 515千円

間伐の推進、間伐材の搬出を促進するため、間伐材の搬出経費に対して助成を行った。

\* 事業体：鳥取県中部森林組合

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
伐採面積 (ha)	8.29	5.94	6.76	3.69

## ⑦森林クラウドシステム整備事業 62千円

県・町・林業事業体が共有して森林情報を管理するシステムの整備を行った。

【成果】森林情報の更新を行うことで林業事業の推進に役立った。

## ⑧森林経営管理事業 2,323千円

森林環境譲与税を活用し、新たな森林管理システム推進センターの支援を受け、森林経営管理制度における経営管理意向調査及び経営管理権集積計画作成業務を行った。また、森林整備のための基金積立を行った。

経営管理意向調査業務 1,731千円  
新たな森林管理システム推進センター負担金 592千円

【成果】適切な森林経営管理を行うための計画策定を推進できた。

## ●森林環境譲与税積立金（\*R5.3.31現在）

年度	R3年度	R4年度
基金残高	6,643,274円	641,699円

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 松くい虫防除費	106,926千円	106,795千円

①松くい虫防除事業 97,252千円

松くい虫被害の拡大を防止するため、薬剤散布防除及び被害木の伐倒駆除を実施した。令和4年度は松枯れの被害拡大に早期に対応するため、県内事業者の協力や有識者も含めた特別対策会議を開くなど特別対策を行った。

業務内容	R4年度	
	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	59ha	5,779千円
松くい虫防除地上散布	7.5ha	1,587千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	1,975.3m <sup>3</sup>	78,500千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除（※）	1式	10,773千円
養蜂群移転補償	1式	415千円
その他（動員費、事務費）	1式	198千円



松くい虫防除空中散布

※保全松林周辺被害木伐倒駆除（単町事業）は森林環境譲与税を活用

業務内容	R2年度		R3年度	
	業務量	金額	業務量	金額
松くい虫防除空中散布（地上作業含む）	95ha	8,803千円	59ha	5,821千円
松くい虫防除地上散布	8.5ha	1,669千円	7.5ha	1,558千円
松くい虫被害特別伐倒駆除	196.6m <sup>3</sup>	8,109千円	1,235m <sup>3</sup>	37,327千円
保全松林周辺被害木伐倒駆除	1式	91千円	1式	1,490千円
養蜂群移転補償	1式	632千円	1式	433千円
その他（動員費、事務費）	1式	322千円	1式	305千円

【成果】松くい虫防除及び、松くい虫被害木の徹底伐採を行い、農業への影響をおさえた。

②樹幹注入防除委託料 9,543千円

松くい虫防除対象木766本の樹幹注入を実施した。

【成果】国指導のもと、松くい虫の効果的な防除を実施したことにより被害の拡大防止を図れた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 松林保全対策費	583千円	516千円

①松林保全推進事業 516千円

松くい虫に強い松（抵抗性クロマツ・アカマツ）の苗木の購入を行い、関係者に配布し、松林の保全を行った。

\* 6地区（東新田場、弓原浜、下神、松神、西園、東園）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
購入本数	1,020本	1,530本	1,445本	2,000本
地区数	4	4	5	6

【成果】抵抗性松を配布して各地区に植栽していただき、松林の再生・管理につなげた。

款	5 農林水産業費	項	2 林業費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 竹林整備費	5,660千円	4,504千円

## ①竹林整備事業 4,504千円

- ・ 竹林整備事業補助金 4,504千円  
 放置竹林を整備（伐採）する費用に対し、森林環境保全税を活用し支援を行った。  
 ＊施行地面積が0.1～1.0ha未満（補助率8/10）  
 整備面積 0.72ha  
 整備個所 2か所（国坂、曲）

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
伐採本数	2,320本	1,196本	1,360本	10,224本
箇所数	1	1	1	2

【成果】竹林の拡大防止と森林環境の改善が図られた。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 商工振興費	342,113千円	264,596千円

## ①商工振興事業 6,976千円

- ・ 商工会育成補助金 6,000千円  
 商工会が行う経営支援事業、交流事業、地域活性化事業に補助し、商工業者の活動を支援した。  
 また、商工会員の事業所を訪問して、聞き取りや支援策の提案などを行った。

## 商工会育成費補助金

R2年度		R3年度		R4年度	
会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）	会員数（人）	補助金額（千円）
400	5,800	402	5,800	400	6,000

※会員数は年度末の数字

【成果】商工会の経営支援事業及び地域総合振興事業に対して補助金を交付することで、商工振興の取り組みを支援できた。組織率（会員数/町内事業者数）は、町内事業者数の70%を超え、多くの町内事業者の活動支援につながった。

- ・ 北栄わいわいフェスタ補助金 700千円  
 北栄わいわいフェスタを実施する実行委員会に補助金を交付し、町内産業・観光の魅力を発信することを支援した。

【成果】北栄町の文化・産業の魅力を発信するとともに、コナン通りの賑わいを周辺地域に波及させた。

## ②マル経融資利子補助事業 96千円

事業者の経営改善のために経営改善貸付（マル経融資）を活用した事業者に対し、返済分に係る利子補助を行った。

	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
件 数	16	13	11	4
補助金額（千円）	457	385	205	96

【成果】経営改善に取り組む事業者の負担を軽減し、間接的に中小企業の発展の一助になった。

③中小企業支援事業 314千円

町内企業PRによる人材確保、ビジネスマッチングを目的として、町内企業41社の紹介をメインに、移住希望者向け支援策なども盛り込んだ『北栄町企業ガイドブック』を600部作成した。

【成果】町内小中学校や中部地区各高校、ハローワークに配架するとともに、新成人や移住希望者などに配布して、就職につながるよう地元企業を紹介できた。

④企業立地及び雇用促進事業 9,640千円

- ・企業立地等促進奨励金 9,340千円  
事業所の新增設に伴う投下固定資産税相当額を奨励金として支給した。  
\*該当企業に対し3ケ年間助成を行うもの。  
14件（新規：4件 継続：10件）
- ・雇用促進奨励金 300千円  
事業所の新增設に伴う新規雇用に対し、一人当たり30万円の奨励金を支給した。

【成果】企業が実施する設備投資に対し奨励金を交付することで、企業の発展につながり、地域経済の活性化の一助となった。

⑤ほくえい味覚体験促進事業 132千円

三朝温泉の観光情報冊子「MisasaNavi」及びスマートフォンなどで閲覧できるデジタルマップ「ここいこmap」に、北栄町内の観光農園の情報を掲載した。



ここいこmap

【成果】町内外からの観光客の誘客を促し、本町の農産物の魅力にふれていただくきっかけとなった。

⑥就労・創業支援事業 7,435千円

- 町内で新たに創業した事業者及び個人に対し補助金を支給した。
- 創業支援事業補助金 3件、3,182千円  
生コンプラントの点検・整備（江北）、カーコーティング（下神）、飲食業（由良宿）
  - 由良宿まちづくり活性化支援事業補助金 2件、4,253千円  
飲食業（2件）  
\*由良宿地域において、対象業種を飲食業・小売業・宿泊業に業種を絞り、にぎわい・経済循環を生み出し観光地としての魅力を高めることを目的とする。

【成果】創業時の初期投資に係る負担軽減を図ることで、町内産業の振興に繋がった。

⑦砂丘地振興基金積立金事業 1千円

砂丘地振興基金の定期預金利子を基金に組み入れた。

(千円)

年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
基金残高	83,452	83,456	56,606	47,534

※基金から道の駅北条公園再整備に係る解体工事、物件補償、土木・建築実施設計業務（繰越事業）等の財源 9,072千円を取り崩したことによる残高の減額。

【成果】基金残高としては減額となったものの、道の駅北条公園再整備事業に取り崩した基金を充当して砂丘地振興を図るとともに、資金運用による預金利子を積み立てることができた。

⑧道の駅北条公園再整備事業 112,497千円

基本設計に基づき、土木実施設計（※）、建築実施設計（※）を進めた。また、解体工事、粗造成工事（※）を実施するとともに、事業に必要な用地買収を行った。  
（（※）は、令和5年度への繰越事業）

【南エリア整備イメージ】

【成果】道の駅北条公園の実施設計について、大枠がまとまった。並行して解体工事、粗造成工事、用地買収等を進め、令和7年4月の開業に向け概ね順調に進捗させることができた。



南エリア整備イメージ

⑨道の駅北条公園再整備事業（繰越） 35,179千円

基本計画に基づき、土木基本設計、建築基本設計及びボーリング調査を完了させた。

【成果】道の駅北条公園の基本設計及びボーリング調査が完了し、実施設計につなげることができた。



【バーベキュー棟イメージ】

バーベキュー棟イメージ

⑩町内消費拡大支援事業 5,065千円

商工振興とまちづくりへの参画促進を図り、北栄町商工会が実施する「キャッシュレス決済・地域ポイントカード事業（ほくほくカード）」を後押しするため、行政活動等に参画した町民に対しポイントを付与した。

【成果】4,968,650ポイントの公共ポイントを町民へ付与し、キャッシュレス決済や地域ポイントカード事業の拡大普及を支援できた。



款	11 災害復旧費	項	3 農林施設災害復旧費	予算現額	決算額
		目	2 農地・農業用施設災害復旧費	123,890千円	116,692千円

①農地・農業用施設災害復旧事業（補助） 101,488千円 ≪繰越分≫

令和3年7月豪雨で被災した農地及び農業用施設について、国庫補助事業を活用して災害復旧工事を行った。

延べ8件（農道4件、ため池1件、水路3件）

②農地・農業用施設災害復旧事業（単独） 9,880千円 ≪繰越分≫

施工監理業務委託料 6,372千円

鳥取県土地改良事業団体連合会に、工事施工監理業務を委託した。

農道等修繕工事請負費 3,508千円

災害復旧工事を進めていく過程で生じた、国の災害復旧事業対象外となる工事を行った。

③農地・農業用施設災害関連事業（補助） 5,323千円 ≪繰越分≫

災害復旧事業に併せ、ため池洪水吐の改修工事を行った。

【過去の災害復旧費の実績】 (千円)

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度
事業費	7,176	32,575	0	26,442

【成果】国の災害復旧事業を活用し、令和3年7月豪雨により被災した農業用施設8箇所の復旧計画を立て、復旧工事を完了した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 企画費	47,383千円	41,069千円

## ①北栄砂丘まつり交付金事業 5,431千円

- ・第15回北栄砂丘まつり
- 期 日 令和4年8月21日(日)
- 会 場 お台場公園多目的広場

【成果】3年ぶりに、新型コロナウイルス感染対策を講じた上で実施。町民参画によるまつりを実施し、町民のつながりを深め、元気な北栄町をPRした。



北栄砂丘まつり

## ②国内外の交流推進事業 914千円

【成果】本町と友好交流協定を結んでいる滋賀県湖南市と、相互の夏まつり等への出店などを通じて相互交流を深め、関係人口の増加に寄与した。  
※台湾台中市大肚区との青少年訪問団を計画していたが、新型コロナウイルスの影響を勘案し、事業を中止した。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	16 移住推進費	94,746千円	86,978千円

## ①北栄暮らし支援事業 42,286千円

- ・移住奨励金 7,300千円(県1/2)※県外転入者の場合
- ・若年層移住定住者住宅取得支援補助金 20,382千円(県1/2)※県外転入者の場合
- ・定住支援住宅取得補助金 11,450千円
- ・移住支援員の配置 2,207千円(県1/2)
- ・移住促進番組の制作 577千円

## 【実績】

事業名	R2年度	R3年度	R4年度
移住相談会	7回※全てオンライン	7回※全てオンライン	6回※1回現地参加
移住奨励金	79人/29件	103人/34件	70人/25件
若年層移住定住者住宅取得支援補助金	24件	26件	21件
IJUターン空き家改修支援事業補助金	0件	0件	0件
家財道具等処分費補助金	1件	1件	0件
定住支援住宅取得補助金	27件	35件	25件
空き家活用流通促進事業補助金	2件	4件	0件
Uターン就職活動交通費助成事業補助金	1人	0人	0件
移住支援員配置	1人	1人	1人

【成果】北栄町への移住・定住を推進するため、オンライン移住相談会への参加、パンフレットの更新、配布等を行い北栄町を広くPRした。また、北栄町独自のオンライン移住相談会を1回開催した。PRを行ったことで、移住希望者の移住選択肢の一つとして北栄町を提示することに繋がった。

奨励金交付、若年層の住宅取得に対する補助などを行い、移住・定住の促進を図ることができた。また、町内者へも住宅取得に対する補助を行い定住を促進することができた。町内外問わず幅広い支援を行うことで、町内に住み続けたいと思うキッカケ作りとすることができた。

移住促進番組(週末移住バラエティ番組「冠ルーヤ」)を制作し、移住促進を図った。(全4回放映。平均視聴率:5.5%、TVer視聴数:延55,996人)

②おためし住宅事業 135千円

・おためし住宅 消耗品費・光熱水費・委託費・通信費 135千円

【実績】		R2年度	R3年度	R4年度
	人数/利用件数	-人/-組	-人/-組	-人/-組

【成果】新型コロナウイルスの影響を勘案し、年間を通し利用を停止した。

③地域づくり地域おこし協力隊事業 3,629千円

名探偵コナンによるまちづくり地域おこし協力隊は、コナン通りを中心とした賑わい創出として町SNSでの観光PRの他、ハロウィンイベントを町内関係機関（観光協会、商工会）と協力し企画実施。県内外から多くの方が訪れ大変賑わった。令和5年3月末に退任。

妻波地区地域おこし協力隊は、募集を行いオンラインで個別相談などを行ったが、任用までには至らなかった。

- ・トレーディングカード制作 119千円
- ・イベント委託（チラシ制作、米花商店街水中照明レンタル、会場警備） 257千円

【成果】観光、地域活性といった隊員が抱えるミッションを果たすことで、その取り組みから地域、町の活性化に寄与し地域の賑わいを創出した。

④ほくえい魅力発見！事業 443千円

町内の小中学生等に将来Uターンしたい・住み続けたいと思ってもらえるよう、また県外者に北栄町を知り好きになってもらう機会の創出を目的とし、ほくえいフォトコンテスト、動画制作ワークショップを行った。

- ・ほくえいフォトコンテスト  
 ワークショップ（講師：町内在住の写心家大塚氏） 参加者27人  
 フォトコンテスト 応募者62人  
 公開審査会 参加者21人
- ・動画制作ワークショップ（全4回） 参加者17人

【成果】フォトコンテストや動画制作ワークショップを開催し、町内の小中学生等が参加することにより、北栄町の魅力を再発見してもらう機会を創出した。

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 観光費	131,956千円	91,363千円

①観光振興事業 41,085千円

観光施設を整備して受け入れ態勢の向上を図り、関係団体と連携して観光案内や情報発信を進め、誘客宣伝を図った。

- ・各種手数料（遊具点検、防火管理者資格取得講習等） 372千円
- ・各種業務委託 8,110千円  
 （観光パンフ作成保管配布、観光施設草刈り、鳥取空港観光案内等）
- ・観光施設整備工事（お台場公園遊具撤去等） 1,584千円
- ・観光施設等修繕工事 10,445千円
- ・指定管理施設の備品購入 305千円
- ・北栄町観光協会補助金 7,734千円
- ・関係団体等負担金 1,894千円  
 （鳥取中部観光推進機構、鳥取県観光連盟、道の駅連絡会等）
- ・【繰越事業】レークサイド大栄トイレ修繕工事 2,574千円

【成果】コロナ禍においても、施設整備や観光案内、情報発信を進めることで、感染終息後の集客回復を見込んだハード、ソフト両面の整備を進めた。

## ②観光施設指定管理者委託事業 18,204千円

4か所の町有施設に指定管理者を置き、サービスの向上と運営の効率化を図った。

- ・観光施設指定管理委託料 17,573 千円
- <内訳> 北条海浜広場 } 5,339 千円
- 蜘蛛ヶ家山山菜の里
- お台場公園 6,016 千円
- レークサイド大栄 6,218 千円
- ・土地賃借料（北条海浜広場、レークサイド大栄案内誘導看板） 604 千円

年間利用状況（利用者数）

区 分		R2年度		R3年度		R4年度	
オートキャンプ場		8,751人		8,623人		9,433人	
お台場公園		29,101人		30,861人		44,219人	
レークサイド大栄		40,270人		39,022人		42,465人	
主催グラウンドゴルフ大会	一般	26回	5,267人	31回	6,429人	53回	9,090人
	会員	6回	623人	6回	664人	5回	674人

【成果】新型コロナウイルス感染対策を実施しながら、指定管理者によるサービスの向上と運営の効率化を進め、施設の適切な整備を行ったことで利用者の利便性の向上を図った。

## ③コナンのまちづくり事業 20,909千円

- ・観光PRチラシ（石製モニュメント、ゆらまちウォーク等）の制作 354 千円
- ・公用車ラッピング委託料（2台修繕） 487 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路の開催（委託先：北栄町観光協会） 7,790 千円  
（R4開催委託分 6,416千円、R5（R4）開催委託分 1,374千円）  
（R4累計入場者数24,397人、R4入場料収入7,832千円（町収入分））
- ・名探偵コナン巨大迷路看板パネル制作設置業務委託 687 千円
- ・名探偵コナン巨大迷路改修等工事 492 千円
- ・青山剛昌ふるさと館再整備基本計画策定検討会 116 千円
- ・青山剛昌ふるさと館再整備に伴う測量調査委託 4,180 千円
- ・「まんが王国とっとり」協働推進補助金（交付団体：2団体） 2,460 千円
- ・まんが・アニメ関連商品開発支援事業補助金（交付団体：2団体） 60 千円

【成果】コロナ禍においても、集客催事として巨大迷路を開催し、コナン通りの受け入れ環境を整備することで、「名探偵コナンに会えるまち」を内外に発信し続け、感染終息後のV字回復に向けて布石を打つことができた。  
また、青山剛昌ふるさと館再整備基本計画の策定に向けた検討会を行い、ふるさと館再整備に向けた議論を進めた。

## ④「まんが王国とっとり」協働推進事業 11,165千円

- ・「ジン&ウォッカ（悪夢の始まり）」キャラクターオブジェの設置 9,768 千円

【成果】新しいキャラクターオブジェを設置したことで、SNS等で話題となり、ファンや観光客、住民の方の関心を高めることができた。



ジン&ウォッカオブジェ

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 お台場公園サービスエリア費		
				3,148千円	3,098千円

## ①お台場公園サービスエリア管理事業 3,098千円

お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を行った。

- ・トイレ清掃委託料 2,265 千円
- ・トイレトーパー等消耗品購入費 789 千円

年間利用状況(利用者数)

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
レストラン・売店	14,892人	18,902人	23,201人
農産物直売所	244,702人	230,004人	240,927人
計	259,594人	248,906人	264,128人

【成果】お台場公園サービスエリア(道の駅大栄)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保した。



道の駅大栄

款	6 商工費	項	1 商工費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条砂丘公園センター費		
				1,029千円	970千円

## ①北条砂丘公園センター管理事業 970千円

北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を行った。(道の駅北条公園再整備事業により10月閉場)

- ・トイレ清掃委託料 640 千円
- ・トイレトーパー等消耗品購入費 45 千円
- ・光熱水費(希望の館含む) 285 千円

年間利用状況(利用者数)

区 分	R2年度	R3年度	R4年度
農産物直売所・食事処	20,400人	20,780人	10,120人

【成果】閉場までの間、北条砂丘公園センター(道の駅北条公園)の維持管理を適切に行うことにより、利用者への安定的なサービスが確保した。

款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	予 算 現 額	決 算 額	
		目	7 環境衛生費	16,938千円	14,827千円	
①合併処理浄化槽整備事業 1,265千円						
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		補助事業費	412千円	435千円	1,265千円	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽推進協議会会費、浄化槽台帳システム共同整備負担金 29千円</li> <li>・合併処理浄化槽設置費補助金（区域外：西園、瀬戸、東高尾）1,236千円</li> </ul>						
【成果】令和4年度設基数：3 下水道が整備されていない地域で、汚水や雑排水を処理するために合併処理浄化槽を設置しようとする者に浄化槽設置助成を行い、公共用水域の水質保全に寄与した。						
②合併処理浄化槽特別会計繰出金事業 4,994千円						
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		繰出金	4,441千円	4,441千円	4,994千円	
【成果】合併浄化槽特別会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。						
③浄化槽設置事業推進基金積立金事業 1千円						
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	うちR4 利息
		基金残高	1,553千円	1,459千円	1,365千円	29円
【成果】基金利息分の積立を行った。						
款	4 衛生費	項	3 上水道費	予 算 現 額	決 算 額	
		目	1 上水道施設費	336千円	336千円	
①上水道事業会計繰出金事業 336千円						
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		繰出金	240千円	140千円	336千円	
【成果】水道事業会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。						
款	5 農林水産業費	項	1 農業費	予 算 現 額	決 算 額	
		目	4 農業総務費	73,353千円	70,392千円	
①農業集落排水特別会計繰出金事業 9,437千円						
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	
		繰出金	9,134千円	9,185千円	9,437千円	
【成果】農業集落排水特別会計へ繰出しを行い、経営の安定に寄与した。						
②集落排水事業推進基金積立金事業 2千円						
		年度	R2年度	R3年度	R4年度	うちR4 利息
		基金残高	6,243千円	5,210千円	4,176千円	1,562円
【成果】基金利息分の積立を行った。						

款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 土木総務費	145,614千円	127,170千円

## ①土木総務事業 2,022千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	1,171千円	1,793千円	2,022千円

- ・消耗品購入 275千円  
作業服、図書（災害手帳、国交省土木積算基準ほか）、折りたたみコンテナ等
- ・通常点検、災害等緊急対応等（維持管理）200千円  
機械、車両（軽ダンプほか）等燃料、自賠責、公課費ほか
- ・不動産鑑定料、印紙税等 827千円
- ・大栄ICアクセス道路関連用地買収 687千円
- ・公用車車検（重量税） 33千円

【成果】業務に必要となる資機材の整備等を行い、道路管理等を円滑に行うことに寄与した。

## ②土木総務関係負担金事業 295千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	291千円	248千円	295千円

- ・道路建設関係団体負担金（分担金） 235千円  
鳥取県道路利用者会議、国道313号整備促進期成同盟会、中国国道協会、  
国道9号整備・山陰自動車道建設促進鳥取県期成会、日本道路協会
- ・海岸・治水砂防・道の駅等負担金（会費） 60千円  
全国海岸協会、全国治水砂防協会鳥取県支部

【成果】大規模事業等の予算確保に向けた要望活動等を行い、事業推進に寄与した。

## ③斜面崩壊災害復旧事業【繰越】 1,871千円

- ・由良地区単県斜面崩壊復旧工事 1,871千円

【成果】斜面復旧対策として、安全性の高い工事を行うことができた。



## ④震災に強いまちづくり促進事業 1,989千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	5,358千円	5,833千円	1,989千円

- ・木造住宅耐震診断業務委託料（建築士協会）453千円
- ・震災に強いまちづくり促進事業補助金 1,536千円  
（内訳）  
無料診断2件、ブロック塀改修・撤去6件  
有料診断1件

【成果】危険なブロック塀の除却（撤去）改修をすすめることができたほか、住宅の耐震化についても地道に啓発を続けており、年間数件ずつではあるものの、継続的に耐震改修工事が行われており、町内住宅の耐震化に寄与することができた。



着工前



完成

⑤法定外公共物事業 1,595千円

⑤-2 【繰越】 2,906千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	974千円	1,134千円	4,501千円

- ・合銀北側伐採処分（由良） 99千円
- ・改良区管理施設移管協議資料作成【繰越】1,870千円
- ・暗渠試掘・復旧（田井） 90千円
- ・西新田場暗渠排水土砂撤去 66千円
- ・グレーチング、反射材（修繕） 70千円
- ・吸出し防止対策工事（国坂東伊賀団地） 1,252千円
- ・米里大野線交差点部床板設置【繰越】 921千円
- ・法定外水路堆積土撤去（新座川）【繰越】 44千円
- ・転落防止柵設置【繰越】 71千円
- ・原材料（常温合材）購入 18千円

着工前



完成



【成果】法定外公共物等の維持管理を行い、受益者の安全・安心の確保に寄与した。

⑥勤労者体育センター法面崩壊災害復旧事業 14,158千円

⑥-2 【繰越】 48,360千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	-	69,029千円	62,518千円

- ・工事監理支援委託業務【繰越】 1,518千円
- ・工事用道路借地賃貸 341千円
- ・法面改修工事（2工区） 11,045千円
- ・法面改修工事 2,772千円
- ・法面改修工事【繰越】 46,842千円

【成果】R3.7豪雨により被災した勤労者体育センターの法面復旧を行い、周辺住民の安全・安心な生活の確保に寄与した。



着工前



完成

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予算現額	決算額
		目	1 道路維持管理費	316,988千円	210,053千円

①道路維持管理事業 45,252千円

①-2 【繰越】 41,021千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	75,550千円	90,264千円	86,273千円

- ・除雪関連費用①-1 (町道) 20,519千円 (\*社交金充当外分)  
 冬期除雪 町内全域 3回 (19,342千円)  
 除雪機械リース、破損修繕等 (1,177千円)
- ・除雪関連費用② (消雪装置維持管理ほか) 3,522千円  
 電気料金、巡視点検整備、凍結防止剤購入等
- ・橋梁点検用具、騒音防止材、除草剤ほか 156千円
- ・町道除草伐木委託料 9,888千円  
 【繰越分】 1,340千円  
 通学路、幹線町道等
- ・道路台帳システム保守 132千円  
 補正業務 【繰越分】 18,338千円
- ・嘱託登記分外部 (司法書士) 委託料 33千円
- ・路面状況調査 (北条南線) 【繰越分】 616千円
- ・土木積算システム 444千円
- ・GPS除雪管理システム 626千円
- ・維持修繕関係費 (道路補修原材料購入含む) 9,153千円  
 【繰越分】 20,727千円  
 道路維持修繕 町道側溝修繕工事 17件  
 主な工事内容: 舗装陥没修繕、側溝蓋修繕、路肩修繕、安全施設修繕、原材料費 等
- ・除雪機械運転手育成支援事業補助金 779千円



【成果】町管理道路の維持修繕等を行い、利用者に安全で快適な走行環境を提供した。

②道路メンテナンス事業 31,004千円

②-2 【繰越】 21,100千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	-	16,468千円	52,104千円

- ・橋梁定期点検及び長寿命化計画策定 11,104千円  
 点検 51橋 計画 217橋 【繰越分】 21,100千円
- ・橋梁修繕工事 2橋 (番ノ木橋、塚畑橋) 19,900千円

【成果】橋梁の老朽化対策として、51橋の法定点検及び2橋の修繕工事を行い、施設の長寿命化を促進した。



点検状況



番ノ木橋 補修状況

## ③緊急自然災害防止対策事業 71,676千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	-	-	71,676千円

- ・舗装修繕関係費 71,676千円  
舗装長寿命化工事 3件（5路線）

着工前



完成



【成果】必要に応じて町道等の維持管理を行うことにより、安全な交通を確保した。

## ④道路長寿命化維持管理事業 0千円 【移行】→③へ

年度	R2年度	R3年度	R4年度
事業費	62,950千円	61,460千円	-

款	7 土木費	項	2 道路橋梁費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 道路新設改良費	330,439千円	193,989千円

## ①社会資本整備総合交付金事業 20,937千円

## ①-2 【繰越】 164,011千円

社会資本整備総合交付金は、これまでの国土交通省所管の地方公共団体向けの個別補助金を一つの交付金に原則一括し、地方公共団体にとって自由度が高く、創意工夫が活かせる総合的な交付金制度として創設されました。道路、港湾、治水、下水道、海岸、都市公園、市街地整備、住宅及び住環境整備等といった政策目的を実現するため、地方公共団体が作成した社会資本整備総合計画に基づき、目標実現のための基幹的な社会資本整備事業のほか、関連する社会資本整備やソフト事業を国が総合的・一体的に支援する制度です。

年度	R2年度	R3年度	R4年度
交付金事業費	166,183千円	251,488千円	184,948千円

- ・除雪委託 4,608千円
- ・測量設計業務委託 12,345千円  
町道4路線（高千穂西穂波線、東園村中道線、田井2号線外、米里19号線外）  
【繰越分】 80,849千円  
町道10路線（六尾大谷線（由良宿工区）、島4号線、大谷西屋敷1号線外、西園五反田続線外、米里12号線外、由良別所線外、松神2号線外、米里曲線、田井2号線外、松神国坂線（田井工区））
- ・道路改良工事 3,684千円  
町道1路線（育英東線）  
【繰越分】 78,434千円  
町道6路線（松神国坂線：田井6工区（側溝改良）、田井7工区（舗装工事）、松神3工区（舗装工事）、島嶮道線（道路改良）、大縄手線（防護柵設置）、西園道線（道路改良）、東園村中道線（側溝改良）、育英東線（側溝改良））
- ・用地取得、用地補償（物件移転） 300千円  
中電（物件移転）、町道1路線（米里北尾線外）  
【繰越分】 4,728千円  
町道4路線（用地買収：育英東線、米里北尾線、田井2号線外、用地補償：米里12号線（地盤変動影響補償）、田井2号線（物件移転補償））

着工前



完成



【成果】冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、利用者の安全で快適な走行環境を提供した。

②通学路安全対策事業 9,041千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
補助事業費	-	33,904千円	9,041千円

- ・側溝改良工事外積算業務（東園村中道線）委託 1,539千円
- ・路面標示シート設置工事（別所東峰線） 391千円
- ・側溝改良工事（東園村中道線1工区） 7,039千円
- ・用地取得（西園五反田続線） 72千円

【成果】通学路において路側帯を確保するための側溝改良や冠水対策のための道路嵩上げ等を行い、利用者の安全で快適な走行環境を提供した。

着工前



完成



款	7 土木費	項	3 河川総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 河川総務費	1,409千円	1,224千円

①河川総務事業 336千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
受託事業費	348千円	426千円	336千円

- ・天神川樋門操作（国から受託事業：江北排水樋門外1門） 257千円
- ・由良川樋門操作（県から受託事業：瀬戸排水樋門外1門） 79千円

【成果】大雨時に河川からの逆流防止を図り、堤内地の浸水被害を防止した。

②河川関係負担金事業 212千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
負担金事業費	-	-	212千円

- ・由良川水系河川改修事業促進期成同盟会負担金 80千円
- ・天神川改修促進期成同盟会負担金 32千円
- ・弓原浜対策活動費負担金 100千円

【成果】河川事業等の予算確保に向けた要望活動等を行い、事業推進に寄与した。

③浜川水路橋維持管理事業 676千円

年度	R2年度	R3年度	R4年度
維持管理費	584千円	641千円	676千円

- ・弓原地区浜川の北条川放水路横断水路橋維持管理事業 676千円  
操作業務委託、電気料金、修繕費、需用費等

【成果】水路橋の適切な維持管理を行い、浜川の機能を保全することができた。

款	7 土木費	項	5 都市計画費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 都市計画総務費	30千円	15千円
①都市計画事業 15千円					
		年度	R2年度	R3年度	R4年度
		報酬			15千円
【成果】都市計画審議会を開催し、北条都市計画下水道の変更について委員の了承を受け、北条地区都市計画を変更した。					
款	7 土木費	項	5 都市計画費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 下水道費	881,274千円	881,274千円
①下水道事業会計繰出金事業 881,274千円					
		年度	R2年度	R3年度	R4年度
		繰出金	896,215千円	796,638千円	881,274千円
【成果】下水道事業へ繰出しを行うことにより、下水道事業会計の経営安定化を図ることができた。					
款	11 災害復旧費	項	1 土木施設災害復旧費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 道路橋梁災害復旧費	54,105千円	50,964千円
①道路橋梁復旧事業（補助）【繰越】43,561千円					
		年度	R2年度	R3年度	R4年度
		事業費	-	11,197千円	43,561千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>町道災害復旧工事 43,561千円 妻波青木線外2路線、大谷大ナル線、島米里線外1路線、東高尾西高尾線外2路線</li> </ul>					
②道路橋梁復旧事業（単独）【繰越】6,423千円					
		年度	R2年度	R3年度	R4年度
		事業費	-	59,090千円	6,423千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>道路復旧工事 6,423千円 曲2号線ほか、舗装等修繕</li> </ul>					
【成果】令和3年7月豪雨により被災した町道施設等の災害復旧工事を発注し、早期復旧に向けて着手した。					
					
		被災状況		完成後	
③法定外公共物復旧事業（単独）【繰越】980千円					
		年度	R2年度	R3年度	R4年度
		事業費	-	646千円	980千円
<ul style="list-style-type: none"> <li>農道橋修繕（米里） 341千円</li> <li>埋設管修繕（弓原浜） 363千円</li> <li>流木撤去（妻波） 90千円</li> <li>舗装等修繕 186千円</li> </ul>					
【成果】令和3年7月豪雨等により被災した法定外公共物等の復旧工事を行い、受益者の安全・安心を確保した。					

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 生活困窮者自立支援費	1,683千円	1,246千円

## ①就労準備支援事業 962千円

・学習支援事業 220千円

生活困窮世帯の小学生（4～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
小学生登録者数	5人	6人	6人
小学生延利用者数	135人	187人	166人
中学生登録者数	12人	15人	12人
中学生延利用者数	577人	647人	536人

【成果】学習支援を行ったことにより、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。

款	3 民生費	項	1 社会福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 重層的支援体制整備事業費	32,724千円	29,915千円

## ①地域子育て支援拠点事業 2,974千円

子育て家庭の交流の場の提供や、保護者のリフレッシュにつながる取り組みを行った。

(数値は延数)

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
年間利用世帯数	2,908	2,192	3,090

【成果】子育て講話他、保護者または親子でできるリフレッシュなど幅広く講座を企画したため、利用者の増加へつながった。満足度の高い取り組みを行うことができ、交流や保護者の気分転換を図ることができた。

## ②利用者支援事業 2,823千円

妊産婦・乳幼児等の実情把握や、妊娠・出産・子育てに関する相談に応じ必要な情報提供・助言・保健指導・関係機関との連絡調整を行った。またアプリによる情報配信を行った。

【成果】妊産婦・乳幼児の保護者からの相談を受け止め、抱える課題の解決にむけての支援ができた。またアプリにより様々な事業の周知をすることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 児童福祉総務費	283,497千円	248,835千円

## ①子育て総務事業 173,858千円 ※風のまちづくり事業充当7,684千円

町内私立こども園、私立保育所及び町外保育施設に委託し、保育を実施するとともに、保護者の仕事と育児の両立を図った。

・北条みどりこども園

園児数（町外からの広域入所は含まず） (3月末現在)

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R2	人数	6	13	14	12	16	19	80
R3	人数	6	6	13	15	12	17	69
R4	人数	6	6	8	14	15	12	61

## ・ 栄保育所

園児数（町外からの広域入所は含まず）（3月末現在）

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R2	人数	6	1	3	0	0	0	10
R3	人数	6	4	2	0	0	0	12
R4	人数	6	1	2	0	0	0	9

## ・ 広域保育施設

園児数（3月末現在）

年度	年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
R2	人数	8	7	10	10	5	16	56
R3	人数	12	9	12	8	12	6	59
R4	人数	8	13	13	9	12	10	65

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

## ② 木育推進事業 349 千円

乳児家庭全戸訪問（生後3～4か月）時に、県産材の木で作られたスプーンまたは乳歯ケースをプレゼントした。

・ 配布数 88セット

【成果】 親子で木と触れ合うことを通して、豊かな心を育んでもらえるきっかけを提供できた。



乳歯ケース

## ③ 在宅育児支援事業 12,975 千円 ※風のまちづくり事業充当6,168千円

乳幼児をこども園などに預けずに家庭で保育する保護者に給付金を支給した。

・ 支給件数 延べ 159件

【成果】 家庭で保育する保護者へ経済的な支援を行うことができた。

## ④ ネウボラ事業 382 千円

専任のコーディネーター（保健師）が母子健康手帳の交付から継続的に関わり、妊娠・出産・子育ての切れ目ない支援を行った。

・ 母子健康手帳交付件数 77件

【成果】 個々のケースを把握し、ハイリスク妊婦（世帯）については、関係課や医療機関と情報共有しながら必要な支援を行い、虐待やDVの未然防止につなげた。

## ⑤ 産前産後サポート事業 98 千円

産前産後の体調不良のため、家事などを行うことが困難な場合にヘルパーを紹介した。

・ 登録件数 1件、利用件数 0件 ・ 養育支援訪問件数 延べ 42件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、安心して出産を迎え子育てができる環境を整えた。

## ⑥ 産後ケア事業 497 千円

出産後に、育児不安が強い方やご家族等から産後の援助が得られない場合に、医療機関等で心身のケアや育児のサポートを行った。

- ・ 宿泊型 延べ 18件
- ・ デイサービス型 母子利用 延べ 15件
- ・ アウトリーチ型 延べ 4件

【成果】 母親の身体的、精神的な負担を軽減し、母子が安心して過ごせる環境を整えるとともに産後うつや虐待の未然防止につなげた。

## ⑦パパママ教室 60千円

妊娠・出産・育児に関する不安軽減、子育て中の孤立防止、育児技術の習得に向けて、妊婦とその家族に対して知識の普及と地域での相談場所・仲間づくりを行った。

- ・参加者 延べ 63人（妊婦 38人、夫 16人、その他家族 9人）

【成果】 夫等家族の参加もあり、妊婦への理解や産後の孤立予防につながった。

## ⑧魅力ある園づくり事業 500千円

各園から提案のあった園独自の創意工夫による魅力ある幼児保育教育活動の計画に対し補助金を交付し、各園で取組を実施した。

- ・北条こども園：親子読書の推進～「家読」取組の充実Part2
- ・大誠こども園：親子でできる手ぬぐい体操の推進
- ・由良こども園：わくわくの森再整備計画



由良こども園  
わくわくの森再整備計画

【成果】 各園での個別課題の解決に向けた新たな試みの立案と実践の推進につながった。

## ⑨親育ち事業 324千円

虐待の未然予防につなげるため、子育ての不安軽減や養育能力の向上を図るための「笑育講座」や「生きるための心の教育」に取り組んだ。

【成果】 保護者や地域の方が子どもに対して「ほめる、共感する、待つ」など肯定的な関わりを学び、虐待の未然予防につなげることができた。

将来、安心と喜びを感じる妊娠・出産を迎えるため、生きるための心の教育の取り組みを町内小中学校と共同で実施し、意識向上を図ることができた。

## ⑩施設等利用給付事業 941千円

無償化の対象である3歳以上の子どもに対し、預かり保育、認可外保育施設の入所等について一定の範囲で施設へ給付した。

- ・利用件数 4件

【成果】 保護者の仕事と育児が両立できるよう支援した。

## ⑪コロナ感染症対策事業 1,760千円

アルコール消毒・ペーパータオル等コロナ対策用の物品を購入し、こども園・保育所等の感染症拡大防止対策を実施した。

【成果】 こども園・保育所の新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に繋げることができた。

## ⑫出産・子育て応援交付金事業 6,859千円

国事業に基づき、妊産婦を対象に妊娠時及び出産後の面談を行うとともに、それぞれ5万円を給付した。

- ・交付金支給人数84人

【成果】 面談や相談受付により、妊婦・子育て家庭の孤立感や不安感の解消を図ることができた。また、出産・子育てにかかる経済的負担軽減につながった。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 認定こども園管理運営費	602,986千円	557,407千円

## ①町立こども園管理運営事業 74,835千円

- ・北条こども園管理運営事業 24,024千円
- ・大誠こども園管理運営事業 27,878千円
- ・由良こども園管理運営事業 15,723千円
- ・大谷こども園管理運営事業 7,210千円

## 園児数 (3月末現在)

年度	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計	広域入所	合計
R2	30	53	69	89	91	98	430	2	432
R3	24	62	64	84	89	95	418	2	420
R4	30	61	72	77	84	88	412	9	421
北条こども園	15	28	24	33	35	35	170	5	175
大誠こども園	6	15	26	25	22	26	120	1	121
由良こども園	6	11	20	16	25	23	101	3	104
大谷こども園	3	7	2	3	2	4	21	0	21

## 保育料徴収の状況 (単位：千円・%)

年度	R2年度			R3年度			R4年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年分	16,616	16,616	100.0	21,005	21,005	100.0	18,528	18,528	100.0
滞納繰越分	52	52	100.0	0	0	0.0	0	0	0.0
計	16,668	16,668	100.0	21,005	21,005	100.0	18,528	18,528	100.0

※各こども園には、北栄町外からの広域入所分を含む。

【成果】 国基準を上回る北栄町の基準による適正な職員配置に努め、乳幼児が安心して過ごせる人的環境を整えた。また、園内研修の充実を図るとともに、各種研修会に積極的に参加し、職員の資質の向上に努めた。  
施設の定期的な点検を行い、必要に応じて補修や工事を実施し、安全を確保した。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 放課後児童健全育成費	24,233千円	24,098千円

## ①放課後児童健全育成事業 24,098千円

保護者が仕事などで昼間家庭にいない児童に対し、放課後の安全な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図った。(令和元年7月から民間事業者へ委託して実施。)

登録児童数等 北条なかよし学級 定員：100人 大栄こども学級 定員：80人

年 度	児童数 (3月)							月平均 登録数	最大登録		年日数 (日)	
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計		月	人数		
北条	R2	32	39	20	8	4	0	103	112.3	4月	133	289
	R3	39	27	24	13	2	1	106	122.0	7月	145	291
	R4	38	33	24	11	8	0	114	121.4	7月	135	291
大栄	R2	28	14	16	11	6	0	75	88.6	4,7月	107	289
	R3	29	21	9	7	0	0	66	74.9	4月	93	294
	R4	20	22	12	2	4	0	60	57.3	3月	60	295

【成果】 放課後や夏休みなどの長期休業中など、児童が適切に生活したり遊べる場を提供することで、保護者が安心して働ける環境を整備できた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 母子父子福祉費	15,211千円	13,654千円

## ①ひとり親家庭等学習支援事業 2,084千円

ひとり親世帯の小学生（4～6年生）及び中学生に対して、学習機会を提供する学習支援事業を実施した。（生活困窮者自立支援事業における学習支援事業と対象者により費用を按分）

【成果】学習支援を行ったことにより、学習習慣の定着と学力向上を図ることができた。

款	3 民生費	項	2 児童福祉費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 地域子育て支援費	1,698千円	1,284千円

## ①ファミリー・サポート・センター事業 40千円

地域や援助の時間帯、援助内容などを考慮し、育児の援助を受けたい人（依頼会員）と援助ができる人（提供会員）の調整を行った。

会員数（3月末）

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
活動件数	9	3	19
提供会員	3	5	12
依頼会員	28	19	19
会員合計	31	24	31

【成果】子育て世代のサポートができた。

## ②乳幼児健康支援一時預かり事業 1,222千円

子どもが病気にかかりこども園等に登園することができず、保護者が仕事などを休むことができない場合に、病院等の専用スペースで一時預かり保育を倉吉市に委託を行った。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
病児保育事業	69	53	43
病後児保育事業	7	12	9

※年間利用児童数（延人数）

【成果】病気の子どもを安心して預ける場所を提供することで、保護者の就労等のサポートができた。

## ③休日保育事業 22千円

日曜・祝日等に保護者の勤務などで保育ができない場合の対応として、休日保育を倉吉市に委託を行った。

・利用件数 0件

【成果】利用できる環境を整えた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 教育委員会費	1,796千円	1,787千円

①教育委員会事業 1,787千円 (教育関係負担金含む)

毎月1回の教育委員会の定例会を開催したほか、必要により臨時会を開催した。総合教育会議、各種研修会等への出席やこども園、小学校、中学校への計画訪問、諸行事に参加した。

- ・教育委員会 定例会12回、臨時会2回
- ・教育委員会視察 コロナウイルスの感染拡大状況により実施見送り
- ・総合教育会議 12月5日  
意見交換のテーマ 令和4年度全国学力・学習状況調査結果を踏まえた現在の状況について など
- ・計画訪問（こども園、小・中学校） 前期：5月～6月、後期：10月～11月
- ・負担金 郡教委連絡協議会負担金、県市町村教委研究協議会負担金

【成果】 教育委員会においては、法令等に定める議決事項等の審議決定に加え、教育行政における懸案事項等について協議を行い、教育行政の振興を図った。計画訪問を行い、教育活動の現状や学校経営上の成果と課題を把握した。また、学校経営について意見交換を行い、今後の教育推進方策について協議した。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 事務局費	224,240千円	218,989千円

①事務局事業 11,641千円

就学前教育に係る指導助言、就学相談や指導助言等を行うため、指導主事を4人配置。

音田教育振興基金から、経済的な問題がある等の困難な中学生に高等学校入学準備費給付金を支給した。

授業用及び校務用パソコンの整備（リース）

音田教育振興基金給付状況

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
給付金支給者	5人	4人	7人
給付金合計額	50万円	40万円	70万円

【成果】 指導主事4人により、こども園幼児から中学校生徒までの子どもたちの豊かな育ちや学びなどについてこども園、小中学校等へ指導等を行った。学校教育以外においても家庭教育や人権教育にも指導的立場で意見を述べ、教育の振興を図った。音田教育振興基金を活用し、向学心旺盛ながら経済的に支障があるなどの中学生に高等学校入学準備費を支給し、学習を支援した。

②事務局関係負担金事業 19,815千円 ※風のまちづくり事業充当16,677千円

教育に関する次の負担を行った。

学校災害共済掛け金負担金	1,096千円
少人数学級実施協力金	16,000千円
中部こども支援センター負担金	1,417千円
I C T共同化推進協議会負担金	1,133千円 など

【成果】 少人数学級の導入により、児童生徒一人一人に応じたきめ細やかな指導を充実させたほか、不登校児童生徒の学校復帰を目指す中部子ども支援センターの活動を支援した。

## ③教育力向上事業 7,374 千円

大学教授等を講師に迎え授業研究を行い、児童・生徒の学力向上に向けた取り組みを行った。

- ・サマースクール（コロナのため中止）
- ・イングリッシュスクール（8月6日間、1月末～2月中旬8日間、各中学校）
- ・学力等調査の実施（ハイパーQU、知能検査、学力検査、診断テスト、RST）
- ・地域で子どもを育てる体験活動支援（土下自治会外3団体）
- ・英語検定受験料助成 4級24人、3級24人、準2級6人、準1級1人
- ・特色ある学校づくり（北条小、大栄小、北条中、大栄中）
  - 北条小：「北条ルネッサンス」 大栄小：「地域への愛着を高めるための連携」
  - 北条中：「中庭を挑戦・表現する場とし、地域に開かれた学校を目指す」
  - 大栄中：「AI・ロボット活用により生徒のテクノロジーへの興味関心を育む」

【成果】 サマースクール～まなびの広場～は中止したが、地域で子どもを育てる体験活動支援事業などにより、夏休み等の学習習慣定着につなげたほか、授業研究会に大学教授や准教授を招聘して、指導方法や教材研究について学び、実践に活かした。学力調査等の実施・分析により、指導内容の工夫を図った。英語検定3級以上の受験者を増やすために4級受検から助成を実施。R4年度から対象を小学生に拡大。併せて中学生の英語力向上のためイングリッシュスクールを実施。ALT等とのリスニング、スピーキングに特化した取り組みで参加生徒は意欲をもって取り組んだ。特色ある学校づくり推進事業では、各学校で創意工夫のある教育活動の機会づくりにつながった。

## ④通学路安全対策事業 344 千円

通学路安全対策として北条中学校付近の通学路注意看板設置及び路面整備を行った。

【成果】 自動車運転者に対して安全運転への意識向上を図り、通学路の安全な環境づくりができた。

## ⑤発達支援体制整備事業 738 千円

障がいのある又は発達に支援を必要とする乳幼児、児童、生徒に対し、自立と社会参加に向けた適切な支援を行う体制を構築。福祉課・健康推進課・教育総務課で連携した事業を行った。

特別支援教育アドバイザーを配置し、こども園、小中学校において発達支援に関する指導助言を行った。園（町外含）28回、小中学校 16回

【成果】 3課で情報共有しながら対応したことで、それぞれの時期に必要な支援をスムーズに行うことができた。こども園・小中学校で支援の必要な児童生徒への関わり方について指導助言を行ったことで、児童生徒の課題を改善・軽減することにつながれた。

## ⑥児童自転車用ヘルメット着用推進事業 27 千円

小学生自転車用ヘルメットの購入費補助を行った。申請者：18人。

【成果】 対象を未就学児に拡大し制度を周知したことで、未就学児への着用の推進につながることができた。

## ⑦コミュニティスクール推進体制構築事業 1,071 千円

各中学校区学校運営協議会を大栄中学校区は5回、北条中学校区では4回開催し地域と学校の連携・協働に取り組んだ。CS地域コーディネーター連絡会を9回開催した。

【成果】 両中学校区学校運営協議会を設置し、地域の人に学校での学習支援や地域での通学見守りなどに関わっていただいた。子どもの学びに深まりが生まれるだけでなく、子どもたちの育ちについて地域と共有し、今後の取り組みについても熟議を進めている。

## ⑧GIGAスクール構想整備事業 7,905 千円

GIGAスクール構想の推進にあたり、タブレットの利活用を進めるため、専門知識のあるICT支援員の委託配置や通信環境の確保等を行った。

【成果】 タブレットの利活用を円滑に進めることができた。

## ⑨幼児通級指導教室設置事業 927 千円

発達支援が必要な園児（年中・年長児）を対象に、通所による個別指導や小集団指導を実施した。また、園での支援の充実を図るため、加配保育教諭対象研修を実施した。

【成果】 園児の発達や個々のニーズに応じた目標を設定し指導を行うことで、子ども達が楽しんでできることを増やしたり、ソーシャルスキルの基礎を身に付けたりすることができた。また、保護者カンファレンスを実施し、子どもへの関わり方の改善がみられたり、よりよい就学に向けて検討したりすることができた。研修では園での個別の療育や特性に応じた支援への指導を実施し、改善につながった。

## ⑩高校生等通学費助成事業 3,141 千円

高校生等を抱える世帯の経済的負担の軽減を図り、子どもたちの教育の機会の均等を図ることを目的として、通学費用を支援した。

【成果】 県内18高校等から、85人の申請があり、通学費を支援することができた。

## ⑪フリースクール利用料軽減事業 480 千円

町内の児童生徒がフリースクールに通う経費に対する支援を行った。

【成果】 町内フリースクールに通う2人（中学生1人・小学生1人）から申請があり、通学経費を支援することができた。

## ⑫大栄中学校体育館屋根等改修事業 1,015,585 千円

建築から28年が経過し老朽化が進んでいる大栄中学校の体育館について、施設長寿命化を図るための改修工事を行った。

【成果】 屋根防水改修、グラウンドラバートラック改修等を実施し、施設の長寿命化を図ることができた。

## ⑬感染症対策等支援事業 5,179 千円

小中学校に感染症対策等に必要な備品等の整備を行った。

【成果】 児童生徒の安全な学習環境を確保し、学校教育活動を継続することができた。

## ⑭小中学校県内修学旅行支援事業 1,644 千円

コロナ対策として実施する県内修学旅行のバス借上経費の補助を行った。

【成果】 コロナ禍における保護者負担の軽減を図ることができた。

款	9 教育費	項	1 教育総務費	予 算 額	決 算 額
		目	3 外国青年招致費		
				9,168千円	9,042千円

## ①外国青年招致事業 9,042 千円

外国語指導助手を招致し、中学校における英語授業の補助や小学校・こども園における外国語活動等を実施した。

- ・4月～7月 ジャマイカ国籍女性、8月～3月 アメリカ国籍女性 北条中勤務
- ・4月～3月 アメリカ国籍男性 大栄中勤務

【成果】 小中学校での外国語学習及び外国語活動の実施に資することができた。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条小学校管理費	67,203千円	60,512千円

## ①北条小学校管理事業 59,671千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・西校舎非常階段設置工事 11,700千円
- ・防雪ネット設置工事 620千円
- ・体育館ステージ幕取替工事 1,441千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等支援員等の設置 22,791千円

児童数 (令和4年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2組	27人	33人	60人
2年	3組	38人	30人	68人
3年	2組	25人	33人	58人
4年	3組	37人	34人	71人
5年	3組	29人	32人	61人
6年	3組	35人	37人	72人
特別支援学級	7組	23人	8人	31人
合計	23組	214人	207人	421人

【成果】 北条小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

## ②スクールバス管理事業 841千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
利用児童数	76人	80人	80人
対全校児童数	18.3%	18.8%	19.0%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 大栄小学校管理費	72,755千円	68,643千円

## ①大栄小学校管理事業 65,602千円

学校施設の整備を行い教育環境の向上を図った。

- ・家庭科室調理台取替業務 11,990千円
- ・校門移設工事 2,488千円
- ・グラウンド出入口拡幅工事 459千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 29,842千円

児童数 (令和4年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2組	32人	19人	51人
2年	2組	27人	31人	58人
3年	3組	35人	26人	61人
4年	2組	30人	30人	60人
5年	3組	30人	38人	68人
6年	2組	30人	19人	49人
特別支援学級	7組	23人	10人	33人
合計	21組	207人	173人	380人

【成果】 大栄小学校児童が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を行った。

## ②スクールバス管理事業 3,041千円

スクールバスを運行し、遠距離の通学となる児童を輸送した。

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
利用児童数	224人	227人	220人
対全校児童数	57.9%	58.1%	57.9%

【成果】 遠距離通学児童の登下校の安全性を確保した。

款	9	教育費	項	2	小学校費	予 算 現 額	決 算 額
			目	3	小学校教育振興費（共通）		

## ①小学校外国語教育活動事業 46千円

小学校に外国語教育指導員を配置。3, 4年生の外国語活動、5, 6年生の外国語科の学習を実施。

【成果】 ALT、英語専科教員と連携し、外国語科学習の円滑な実施を図ることができた。

## ②小学校教育振興関係負担金事業 39千円

次のとおり負担した。

- ・ 中部小学校教育研究費負担金 26千円 ・ 中部学校保健会負担金 8千円
- ・ 中部特別支援協議会負担金 5千円 ほか

【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

## ③児童通学事業 487千円

北条小学校の遠距離通学となる児童に対し、路線バス代を補助した。

対象地区：松神、下神

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
補助児童数	29人	27人	29人
対全校児童数	7.0%	6.4%	6.9%

【成果】 遠距離通学児童の安全確保を図るとともに、保護者の経済的負担を軽減した。

款	9	教育費	項	2	小学校費	予 算 現 額	決 算 額
			目	4	北条小学校教育振興費		

## ①北条小学校教育振興事業 6,225千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

- ・ 児童用図書・教材備品購入費 2,095千円

就学援助事業（要保護・準要保護） 2,471千円

経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R2年度	R3年度	R4年度
対象	保護者数	41人	42人	43人
	児童数	49人	49人	58人
児童の割合		11.8%	11.5%	13.7%

特別支援教育就学奨励事業 385千円

特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R2年度	R3年度	R4年度
対象	保護者数	19人	16人	20人
	児童数	21人	18人	21人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																																	
		目	5 大栄小学校教育振興費	7,162千円	6,278千円																																	
<p>①大栄小学校教育振興事業 6,278千円</p> <p>学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童用図書・教材備品購入費 2,272千円</li> </ul> <p>就学援助事業（要保護・準要保護） 1,663千円</p> <p>経済的な理由によって就学が困難な児童の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年 度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">対象</td> <td>保護者数</td> <td>24人</td> <td>21人</td> <td>28人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>33人</td> <td>27人</td> <td>33人</td> </tr> <tr> <td colspan="2">児童の割合</td> <td>8.5%</td> <td>6.9%</td> <td>8.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>特別支援教育就学奨励事業 354千円</p> <p>特別支援学級に在籍児童の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">年 度</th> <th>R2年度</th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">対象</td> <td>保護者数</td> <td>16人</td> <td>15人</td> <td>19人</td> </tr> <tr> <td>児童数</td> <td>16人</td> <td>16人</td> <td>21人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。</p>						年 度		R2年度	R3年度	R4年度	対象	保護者数	24人	21人	28人	児童数	33人	27人	33人	児童の割合		8.5%	6.9%	8.6%	年 度		R2年度	R3年度	R4年度	対象	保護者数	16人	15人	19人	児童数	16人	16人	21人
年 度		R2年度	R3年度	R4年度																																		
対象	保護者数	24人	21人	28人																																		
	児童数	33人	27人	33人																																		
児童の割合		8.5%	6.9%	8.6%																																		
年 度		R2年度	R3年度	R4年度																																		
対象	保護者数	16人	15人	19人																																		
	児童数	16人	16人	21人																																		
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																																	
		目	6 言語通級指導教室費	124千円	86千円																																	
<p>①言語通級指導教室事業 86千円</p> <p>大栄小学校に言語障がい通級指導教室「ことばの教室」を設置。この教室はことばが増えない、発音がはっきりせずわかりにくいなどの児童に対し指導を行った。</p> <p>【成果】 必要なことばのトレーニングやコミュニケーションの力を高める小集団指導を行うことにより、友達に思いを伝えることを楽しみ、自信をつけさせることができた。</p>																																						
款	9 教育費	項	2 小学校費	予 算 現 額	決 算 額																																	
		目	7 発達通級指導教室費	208千円	199千円																																	
<p>①発達通級指導教室事業 199千円</p> <p>大栄小学校に発達障がい通級指導教室「まなびの教室」を設置。発達障がいのある児童等に指導を行った。</p> <p>【成果】 一人一人に合わせた指導を行うことによって、子どもたちが「できた」「わかった」喜びを味わったり学び方を身に付けたりし、自信をつけさせることができた。</p>																																						

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 北条中学校管理費	43,361千円	40,044千円

## ①北条中学校管理事業 40,044千円

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

- ・多目的ホール照明LED化工事 4,840千円
- ・親時計更新工事 704千円
- ・屋外照明灯取替工事 616千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 17,751千円

生徒数 (令和4年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2組	23人	32人	55人
2年	2組	32人	26人	58人
3年	2組	26人	22人	48人
特別支援学級	4組	13人	8人	21人
合計	10組	94人	88人	182人

【成果】 北条中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 大栄中学校管理費	46,440千円	37,117千円

## ①大栄中学校管理事業 37,117千円

学校施設の適正な維持管理を行い教育環境の向上を図った。

- ・天井扇風機設置工事 792千円
- ・区分開閉器取替工事 701千円
- ・駐輪場改修工事 580千円

学校主事補佐員・図書館司書補佐員等の設置 19,110千円

生徒数 (令和4年5月1日現在)

学年	学級数	男	女	合計
1年	2組	33人	31人	64人
2年	2組	23人	32人	55人
3年	2組	33人	23人	56人
特別支援学級	5組	9人	5人	14人
合計	11組	98人	91人	189人

【成果】 大栄中学校生徒が学校の教育目標に向け、充実した学習等の活動が送れるよう人的配置や教材、施設の整備を行うなど教育環境の整備、向上を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 中学校教育振興費(共通)	3,433千円	2,983千円

## ①中学校教育振興関係負担金事業 292千円

次のとおり負担した。

- ・県中学校体育連盟負担金 148千円
- ・中部教育協議会負担金 135千円
- ・特別支援教育研究会負担金 5千円
- ・県中部学校保健会負担金 4千円

【成果】 各種負担を行い、県中部地区等における連携等を行った。

## ②学習事業 221千円

中学校のキャリア教育の一環として、卒業生や各職種の社会人の方を講師に招き、体験談等を聞いたほか、運動会、文化祭等では生徒会を中心に自治的な活動となるよう実施。

【成果】 社会人等の講話を通じて将来のあるべき自分の姿を考えさせたほか、運動会等の行事を通して学級集団で目標達成を目指す取り組みや自治的活動の育成を図った。

## ③修学旅行引率費補助金事業 96千円

職員引率費の一部を助成した。

北条小学校 6学年 10月5日～1泊2日 鳥取（東部～西部）  
 大栄小学校 6学年 6月23日～1泊2日 鳥取（東部～西部）  
 北条中学校 3学年 10月12日～1泊2日 鳥取（東部～西部）  
 大栄中学校 3学年 9月22日～2泊3日 鳥取（東部～西部）

【成果】 費用助成により、修学旅行に必要な引率教員数を同行させることができた。

## ④生徒派遣事業 1,629千円

各種大会参加のためのバス等の借り上げ、また、交通費・宿泊費等の補助を行った。

・バス等借上 886千円 ・主な派遣先 中部地区総体、中部地区新人大会

【成果】 大会参加時に必要な移動手段を確実に確保することができた。

## ⑤部活動振興事業 681千円

部活動指導員等を設置するとともに、部活動使用物品を購入し、活動環境を整えた。

・部活動指導員の設置 北条中：バスケットボール、サッカー、バドミントン、剣道  
 大栄中：柔道、卓球（男女）、バレーボール、吹奏楽  
 ・外部指導者の設置 北条中：卓球

【成果】 8人の指導員、1人の外部指導者による大会引率や技術的指導により、教員の長時間勤務の解消、心理的負担の軽減の一助となった。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 北条中学校教育振興費	7,184千円	6,485千円

## ①北条中学校教育振興事業 6,485千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費 2,298千円

就学援助事業（要・準要保護） 2,592千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R2年度	R3年度	R4年度
対象	保護者数	31人	25人	19人
	生徒数	33人	31人	21人
生徒の割合		17.8%	16.8%	11.5%

特別支援教育就学奨励扶助事業 322千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R2年度	R3年度	R4年度
対象	保護者数	14人	12人	9人
	生徒数	14人	13人	9人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	3 中学校費	予 算 現 額	決 算 額
		目	5 大栄中学校教育振興費	6,982千円	6,364千円

## ①大栄中学校教育振興事業 6,364千円

学校教育における各種教材備品等を充実させることにより、授業の効率化を図った。

・図書・教材備品購入費 2,363千円

就学援助事業（要保護、準要保護） 2,417千円

経済的な理由によって就学が困難な生徒の保護者に対し、学用品や学校給食など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R2年度	R3年度	R4年度
対象	保護者数	21人	18人	22人
	生徒数	22人	19人	24人
生徒の割合		12.7%	10.5%	12.5%

特別支援教育就学奨励事業 216千円

特別支援学級に在籍生徒の保護者の経済的な負担を軽減するため、学用品や通学用品など就学に必要な経費を援助し、学習の支援を行った。

年 度		R2年度	R3年度	R4年度
対象	保護者数	8人	11人	10人
	生徒数	8人	11人	10人

【成果】 各種教材備品等の整備や支援を行い、教育の振興を図った。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 学校給食費	121,570千円	117,121千円

## ①学校給食センター管理事業 63,496千円

小・中学校、北条こども園の学校給食の実施において、給食センターの管理運営、食数管理のほか、給食費の徴収業務等を行った。調理部門については、民間委託により民間企業等の専門的な知識・技術を活用し、業務効率の向上、安全管理の推進を図った。また、子どもたちの食育推進のため、各種給食イベントを実施した。

・給食実施回数

学校等名	R2年度	R3年度	R4年度
北条こども園	233回	233回	226回
北条小学校	192回	187回	186回
大栄小学校	188回	186回	187回
北条中学校	188回	187回	190回
大栄中学校	188回	180回	185回

※令和4年度臨時休業に伴う給食中止  
コロナ 21回、台風 1回、大雪 1回

・学校給食調理等業務委託 (単位：千円)

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
委託料	40,700	40,700	42,130

※業務委託はR4から5年契約

・主な実施事業

食育週間特別献立 (6月)

サプライズ給食 (年2回)

全国学校給食週間 (1月) (特別献立、学校給食アンケート、小中学生給食作品展)

チャレンジ栄養士献立 (1月)

卒業生お祝い給食 (3月)

・給食費の徴収状況

(単位：千円・%)

区分	R2年度			R3年度			R4年度			
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
小学校	現年	35,458	35,458	100.0	46,721	46,684	99.9	23,104	23,104	100.0
	滞納	405	75	18.5	228	97	42.5	220	103	46.8
	計	35,863	35,533	99.1	46,949	46,781	99.6	23,324	23,207	99.5
中学校	現年	18,834	18,834	100.0	24,521	24,521	100.0	12,977	12,977	100.0
	滞納	766	272	35.5	596	249	41.8	295	63	21.4
	計	19,600	19,106	97.5	25,117	24,770	98.6	13,272	13,040	98.3
合計	55,463	54,639	98.5	72,066	71,551	99.3	36,596	36,247	99.0	

【成果】 年間を通し、安心安全な学校給食の提供が実施できた。今年度についても地方創生臨時交付金を活用することで、地元産材の消費拡大を行うとともに普段給食で出せない高価な食材を味わってもらう機会を提供することができた。また、学校給食費の徴収及び過年度未納額の債権整理を計画的に行い、着実な徴収に結びつけることができた。



地元産材応援給食(北栄町産黒毛和牛ハンバーグ、北条ぶどうのソース)



サプライズ給食(夢みる★イチゴミルクコーン)

②給食費事業(賄材料費) 43,076千円

県内産・町内産食材をはじめ、必要となる学校給食食材の購入を行った。県内産、町内産食材を多く取り入れ、児童生徒の食育推進に繋げた。町費負担による地元産材を使ったサプライズ給食事業を実施した。

・地産地消率(県指定44品目)

年度	R2年度	R3年度	R4年度
国内産	100%	100%	100%
うち県内産	98%	95%	91%
県平均	70%	67%	66%

【成果】

年間を通して、品質の良い学校給食用食材を安定的に、なるべく安価に供給できた。また、地元産材を用いたサプライズ給食を実施し、子どもたちの食育推進と地産地消、さらには北栄町産食材のPRに繋げることができた。

令和4年度の学校給食における県産品利用率(県統計)は県内5位。



サプライズ給食(北栄町産シャインマスカットのフルーツサンド)



地元生産者が作られたシャインマスカットを給食食材として利用



校区合同学校給食展

款	7 土木費	項	1 土木管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 土木総務費	145,614千円	127,170千円

## ①住宅新築資金等償還事業 92千円

【成果】住宅新築資金等貸付事業に関する償還事務に関する研修会への参加や、必要物品等を購入し、適切な償還事務を実施した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 社会教育総務費	44,686千円	44,353千円

## ①社会教育総務事業 127千円

- ・社会教育委員会兼公民館運営審議会委員会の開催 3回
- ・委員の各種研修等への参加 1回(鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会等)

【成果】社会教育の振興のため、社会教育事業について、意見を述べたり、事業に参画したりした。また、現地とオンラインのハイブリッド開催となった鳥取県社会教育振興大会兼鳥取県社会教育委員研修会に参加し、社会教育委員に求められることについて学ぶことにより委員の資質向上につながった。

## ②社会教育総務関係負担金事業 551千円

社会教育に関する協議会等の負担金

- ・東伯郡社会教育協議会
- ・鳥取県社会教育協議会
- ・鳥取県社会教育委員連絡協議会
- ・倉吉地区少年補導センター

【成果】関係機関との連携により社会教育振興につながった。

## ③青少年育成北栄町民会議交付金事業 315千円

・各種団体、機関及び家庭や地域の連携により青少年の健全育成活動を行う青少年育成北栄町民会議に交付金を交付した。

【成果】青少年健全育成啓発のための新しいのぼり旗の作成のほか、あいさつ運動、見守りパトロール等により、地域が一体となり活動することで青少年の健全育成につながった。

- ・あいさつ運動推進事業所 101事業所(うち5事業所増)



新しく作成したのぼり旗(緑)

## ④社会教育推進事業 109千円

・住民の主体的な学習支援のために、「生涯学習出前講座」を実施し、地域の団体等に講師を派遣することにより、学習意欲の向上を図るとともに、地域で住民同士が学び合う環境づくりを促進。

回 数 年間87回

(含：おとなほくえい塾27回、認知症予防セットメニュー7回、貸出DVD4回)

会 場 各自治会公民館等

参 加 者 延べ1,300人

(含：おとなほくえい塾309人、認知症予防セットメニュー78人、貸出DVD35人)

年度	R2	R3	R4
回数	56回	67回	87回
参加者	898人	1,003人	1,300人

【成果】新しい生活様式の促進とともに新型コロナウイルス感染症対応の制限緩和に伴い、自治会やいきいきサロンをはじめとする各種団体からの申し込みが増加した。内容に対する満足度も高く、住民のニーズにあった講座を提供することができた。

⑤社会教育関係団体活動費補助金事業 163千円

社会教育関係団体の活動に対し、補助した。

- ・町婦人会 ・大栄小学校PTA ・大誠こども園PTA ・北条こども園PTA

【成果】各団体が自主的に企画立案する活動や町行事、地域行事等に協力し参加する活動、研修会などに補助し、会員等の資質向上につながった。

⑥学校・家庭・地域連携協力推進事業 845千円

- ・放課後子供教室推進事業「子どもほくえい塾」（国・県・町それぞれ1/3負担）  
放課後や休日を活用した子どもたちの体験活動を、地域住民の協力で実施した。  
※平成21年度より、NPO法人まちづくりネットへ事業実施を委託。

年度	R2	R3	R4
回数	112回	114回	106回
参加者	1,058人	1,140人	1,913人
ボランティア・保護者	659人	540人	724人

- ・放課後子ども総合プラン運営委員会の開催 2回  
放課後子ども総合プランに基づき、放課後子供教室、放課後児童クラブ、両事業の効率的な運営・実施を図るため運営委員会を開催した。

【成果】放課後子供教室では、多くの地域の方々に協力を得て、子どもたちが地域で過ごす土日や放課後に様々な活動が実施できた。また、放課後子ども総合プラン運営委員会での意見などを参考に改善に努めた。

⑦通学合宿事業 0千円

新型コロナウイルス感染症の感染防止のため事業中止

⑧地域副読本作成事業 0千円

- ・「まちの姿編」・「歴史編」、北栄町ゆかりの偉人「豊田太蔵」の生涯を描いた偉人マンガを、小中学生及び鳥取中央育英高校に配布し、授業での活用し、郷土に愛着を持つとともに再発見の一助とする。

【成果】副読本が教科書の北栄版として活用されることで、子どもたちが教科書の内容を身近に感じることができる。また、自分たちの住んでいる町の歴史や町の誇れる人物を知ることで、北栄町について理解を深め、ふるさとへの親しみや愛着心を育てるとともに、偉人マンガについては、将来の生き方や生活を考えるきっかけ（キャリア教育）に寄与した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 成人式費		

①成人式事業 498千円

社会の形成者として、良き成人となる新成人の門出を祝し、自ら生き抜こうとする意欲を促した。

令和5年成人式～二十歳の集い～

- 期 日 令和5年1月3日（火）
- 会 場 北条農村環境改善センター
- 内 容 式典、恩師激励及び新成人決意表明、記念品授与、記念写真撮影



令和5年成人式～二十歳の集い～

対象者	135人 ※北条校区67人・大栄校区68人
出席者	92人 ※北条校区52人・大栄校区40人
出席率	68% ※北条校区77.6%・大栄校区58.8%

【成果】新型コロナウイルス感染症対策として来場者全員に成人式前日、当日に抗原検査を実施し、陰性を確認してからの出席としたため、安心した式典の参加につながった。3人の実行委員会で主体性のある成人式が開催でき、新しい取り組みとしてスマートフォンを活用したARフォトフレームを準備し、新成人や保護者が利用できるようにした。  
新成人の新しい門出を祝福することができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	5 文化費	360千円	360千円

①青少年劇場巡回公演委託事業 300千円

小学生及び中学生を対象に劇団等を招き、児童・生徒が持つ創造力や豊かな感性、情操等を養うため、生の優れた芸術を鑑賞する機会を提供した。

学校名	事業名	演目
大栄中	芸術鑑賞教室	鳥の劇場～アナンシと5～



芸術鑑賞教室(大栄中体育館)

【成果】本物の芸術に触れる機会を提供したことにより芸術への関心を高めることができた。

②北栄文化回廊事業 60千円

・北条農村環境改善センターで開催される「北栄町美術展」の開催期間を軸に、北栄みらい伝承館、中央公民館に文化イベントを集結、様々な形で楽しみ回遊できる文化エリアを出現させ、「文化の薫るまち北栄町」のイメージの浸透を図った。

・また、青山剛昌ふるさと館とも連動し、期間中、町全体で集中的に「北栄文化」の発信を行った。

メイン期間 令和4年11月3日(木・祝)～11月15日(火)

イベント名称等	場 所	人 数
北栄町美術展 (11/3～15)	北条農村環境改善センター	740人
共同企画展 「生誕100年 吉田たすくとゆかりの作家たち」 「吉田たすくとゆかりの北栄町の作家たち」 (11/3～12/4)	北栄みらい伝承館	392人
共同企画展関連講座 「吉田たすくの仕事と交遊」	中央公民館	39人
絵付け体験 (11/6)	北条民芸実習館	11人
七宝焼き体験 (11/6)	北栄町図書館(北条分室)	7人
お茶席 (11/6)	北条支所	94人
齋尾家限定公開 (11/26)	齋尾家	14人
<b>生涯学習課関係 計</b>		<b>1,297人</b>

※期間中来館者数

※11/6  
北条ふるさとまつり

イベント名称等	場 所	人 数
青山剛昌名探偵コナン 特別原画展など	青山剛昌ふるさと館	6,733人
<b>全体計</b>		<b>8,030人</b>

※期間中来館者数



北栄みらい伝承館「生誕100年 吉田たすくとゆかりの作家たち」展



国登録有形文化財 齋尾家住宅限定公開



お茶席



絵付け体験



七宝焼き体験

【成果】・複数の展示・イベントを集中的に行うことで多くの方に「文化の薫るまち北栄町」を実感していただく機会を提供するため、今年度は3年ぶりに北条ふるさとまつりにあわせてお茶席やものづくり体験を実施した。お茶席では、公民館北条茶道教室のみなさんがお点前を披露し、茶道という日本文化を経験してもらう機会となった。  
・絵付け体験では、陶芸教室のみなさんの協力のもと、小学生から大人まで陶芸などの魅力を感じていただく機会になった。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	6 文化財保護対策費	2,027千円	1,898千円

①文化財保護対策事業 1,898千円

北栄町文化財保存活用地域計画に基づき、文化財の活用につながる講座の開催やパンフレットの作成を行うとともに町内に存在する指定文化財等の適正な維持、管理が行えるよう支援した。また、国登録有形文化財の齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を身近に感じられる機会を提供した。

特別天然記念物コウノトリの保護にも努めた。

- ・文化財保護委員会の開催 3回
- ・齋尾家住宅限定公開 11月・3月
- ・齋尾家住宅電子パンフレット作成
- ・東高尾観音寺（仏像）パンフレット作成
- ・指定文化財等の保護、管理報償 国指定3件 県指定12件 町指定22件
- ・歴史探訪ウオークの開催
- ・国特別天然記念物「コウノトリ・オオサンショウウオ」の保護
- ・各種開発事業との調整

【成果】・町内には多くの文化財が存在し、それぞれについて情報収集を行い、また関係各所への情報提供などを行った。  
・国登録有形文化財である齋尾家住宅の限定公開を実施し、貴重な文化財を見学することにより、町の文化財に対する関心が深まった。  
・昨年度の齋尾家住宅パンフレットに引き続き、より詳細な齋尾家住宅デジタルパンフレットを作成し、町ホームページで提供している。  
・国重要文化財の「木造千手観音立像」などを所蔵している東高尾観音寺のパンフレットを作成し、来館者への情報提供として配布する。  
・歴史探訪ウオークでは、国坂・茶白山周辺コースで戦争遺跡などの解説を行い、健康づくりにあわせ、町内の文化財を身近に感じてもらうことができた。

・必要に応じ、文化財やそれに付随する施設等の補修・維持管理を行い、文化財保護に対する意識の啓発に努めた。  
 ・特別天然記念物コウノトリが北栄町内で営巣したため、今後の生息調査のため、3羽のヒナに足環を装着した。  
 ・「江戸時代の村」と題して歴史講座を開催し、古文書整理などで分かった北栄町の歴史を紹介してもらうことで、郷土に愛着を持ってもらう機会となった。

②由良台場・六尾反射炉発信、連携事業 0千円

六尾反射炉跡の発掘調査の成果について現地説明会を行う予定だったが、新型コロナウイルス感染症の流行や、当初の予定より発掘調査の期間が延長したため実施を延期した。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	7 歴史民俗資料館費	8,248千円	7,763千円

①歴史民俗資料館管理事業 5,003千円

歴史民俗資料館を円滑に運営するため適切な管理を行うとともに、地域に埋もれた貴重な資料の収集保存に努め、保管資料の整理と展示活動等を通じて文化財の活用を図った。

【成果】専門家の助言を得て資料の再整理・再保存を実施し、資料を活用した展示を行うことができた。

②歴史民俗資料館展示事業 2,760千円

・歴史民俗資料館運営委員会の開催 2回

期間	開館日数	事業内容	入館者数
4/16～5/22	31	山下聖二 洋画展	352人
6/4～7/10	32	北条砂丘 砂丘開拓のあゆみ	204人
7/23～8/28	31	北栄町の鳥たち・魚たち	514人
9/10～10/16	31	特別企画展「大発明家 田熊常吉」	369人
11/3～12/4	26	共同企画「生誕100年 吉田たすく」	844人
12/24～2/12	39	昔の生活道具	222人
企画展小計			2,863人
4/1～3/31		生田和孝・加藤廉兵衛・福本和夫常設展のみ	180人

※4/9まで(31日間)の入館者数：529人

総入館者数 3,043人

	R2	R3	R4
入館者数(人)	2,596	3,022	3,043

【成果】各種展示を通じて県内・町内の歴史や文化等について触れたり、考えたり、楽しむ機会を提供できた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	9 町内遺跡発掘調査費	1,050千円	1,022千円

①町内遺跡発掘調査事業 1,022千円

開発行為に伴い、試掘調査を実施(国庫補助事業)

- ・場所 北栄町六尾
- ・状況 六尾反射炉跡において、令和2年度で確認された水車を設置していたと考えられる大規模な水路跡の大きさを、反射炉築造時の水路の造成土で確認した。

【成果】直径約3丈の水車が廻っていたとされる水路の跡を確認するため、令和4年度は平面を確認し、引き続き深さについても確認していく予定。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	1 保健体育総務費	20,442千円	14,282千円

①保健体育総務事業 13,892千円

- ・北栄町スポーツ推進委員（25人）  
地域の団体等に対するニュースポーツの指導、町社会体育事業への運営協力等を通して、生涯スポーツを推進した。
- 《主な活動内容》  
協議会開催 4回  
訪問型ニュースポーツ体験事業 4回  
（地域の団体等に対するニュースポーツの指導）  
体力測定・ミニ体力測定の実施 8月27日ほか計4回  
北栄町駅伝競走大会の運営協力 11月21日  
元旦マラソン&ウォーキング大会 1月1日  
東伯郡スポーツ推進委員連絡協議会研修会 ほか  
ニュースポーツ体験教室 9月27日・2月5日（3グループ）
- ・北栄町スポーツ表彰  
本町のスポーツ・レクリエーションの発展のため、功績があった者並びに優秀な成績を収めた選手及び団体を表彰する。  
新型コロナウイルス感染拡大防止のため事前に出席者の確認調整を行い、大栄農村環境改善センターで、239名の表彰式を開催した。
- ・体育功労賞3人、優秀指導者賞2人、スポーツ最優秀賞3人、スポーツ優秀賞13人、スポーツ敢闘賞125人、スポーツ奨励賞93人
- ・社会体育施設等維持・改修  
大栄野球場ネット修繕工事  
B&G海洋センター駐車場拡張工事測量設計  
B&G海洋センター駐輪場新設工事  
B&G海洋センター看板張替工事



←更新後のB&G  
海洋センター看板

【成果】生涯スポーツの普及と社会体育振興の取組みにより、町民の体力向上と健康増進につながった。また、大栄野球場のネット張替のほか、B&G海洋センターの各種工事を行うことより利便性の向上につながった。

②保健体育総務関係負担金事業 390千円

- 社会体育に関する協議会等への負担金
- ・郡体育協会負担金
  - ・県スポーツ推進委員協議会負担金
  - ・郡スポーツ推進委員連絡協議会負担金 ほか

【成果】関係機関との連携を図り、関係機関が実施する各種事業により、社会体育の振興につながった。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 保健体育振興費	42,466千円	37,705千円

①保健体育振興事業 418千円

- 北栄町スポーツ県外派遣費補助金  
県、または県中部の代表として県外のスポーツ大会に出場する町内の小中学生に対し、参加に要する経費の一部を補助した。  
利用実績：12件

【成果】中国、全国規模の大会に出場する者に補助することにより、町民のスポーツ競技力の向上につながった。

## ②北栄スポーツクラブ事業 37,128千円

一般財団法人北栄スポーツクラブに指定管理者として町内社会体育施設の管理を委託するとともに、主な社会体育事業の実施を補助事業として行っていただき、総合型地域スポーツクラブの振興を図っている。

## 補助事業

各種スポーツ大会、スポーツ少年団、スポーツグランプリ表彰ほか

## 指定管理施設

北条体育館・大栄体育館・大誠体育館・勤労者体育センター・北条ふれあい会館・大栄ふれあい会館・北条野球場・大栄野球場・北条運動場・大栄運動場

年度	R2	R3	R4
全施設延べ利用人数	76,639人	81,463	161,283
スポーツクラブ会員数	1,204人	1,250人	1,215人

- 【成果】 総合型地域スポーツクラブである北栄スポーツクラブの会員は1,200人を超えているが、近年は概ね横ばいとなっている。北栄スポーツクラブが実施する「健康運動教室」は利用者も多く、高い評価を得ている。
- 北栄スポーツクラブを核として、町民が生涯を通じて豊かで活力ある生活を営むため「だれでも・いつでも・どこでも」気軽に楽しめる生涯スポーツ及び競技スポーツの推進につながった。

## ③ウォーキングのまち北栄町推進事業 151千円

年齢、体力にかかわらず気軽に取り組むことのできるウォーキングを実施した。  
北栄てくてくウォーキング 3回 参加者延べ197人 (R3:113人)

- 【成果】 コロナ禍の中でも日常生活の中でウォーキング機会の提供とともに運動習慣の定着につながった。

## ④訪問型ニュースポーツ体験事業 8千円

参加者の希望する身近な場所にスポーツ推進委員が出向き、参加者の希望する種目を指導することによりレクリエーション的な感覚で楽しみながら、ニュースポーツを体験し、運動に親しむきっかけとした。

年度	R2	R3	R4
回数	1回	5回	4回
訪問した委員	4人	延べ15人	延べ11人

- 【成果】 地域の皆さんにスポーツ推進委員指導によるニュースポーツを体験していただき、生涯スポーツ人口増の取り組みを低年齢層から広げることができた。

款	9 教育費	項	5 保健体育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 すいか・ながいも健康マラソン大会費		

## ①すいか・ながいも健康マラソン大会事業 9,415千円

特別大会2022 (オンライン開催)

参加申込者数 3,093人

新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、バーチャル形式で開催

参加記念品：名探偵コナンのイラスト入りオリジナルTシャツ

年度	R2	R3	R4
参加申込者	2,887人	3,675人	3,093人

【成果】前年度比較では減少してはいるが、大会期間中であれば日本全国どこでも、どのコースでも、好きなタイミングで参加できるバーチャルマラソン大会を開催した。全47都道府県から参加いただき、本町の文化・産業・農業を幅広くPRし、魅力ある町づくりを推進することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予算現額	決算額
		目	1 人権推進費	3,210千円	2,120千円

### ①人権を尊重するまちづくり審議会事業 438千円

町の人権教育・啓発など人権行政の推進方針や施策を示した「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」の計画期間終了に伴い、令和5年度から5年間を計画期間とする第3次推進計画の改訂案を答申した。

【成果】社会情勢の変化や人権意識調査の結果など審議会で議論を重ね、人権意識調査やパブリックコメントを実施し、町民の意見も反映させた改訂案を答申することができた。

### ②人権対策関係負担金事業 283千円

- ・県人権文化センター負担金
- ・部落解放・人権政策確立要求鳥取県実行委員会負担金
- ・東伯郡同和对策協議会負担金
- ・とっとり被害者支援センター負担金

【成果】関係団体の活動を通じて、人権対策事業の進展に資した。

### ③人権啓発活動事業 1,135千円

小学校に花の苗・プランター等を贈呈し、児童が花を育てる中で、命を大切に思いやりや協力する心を育むことを目的として「人権の花運動」を行った。

また、北栄町人権教育・啓発推進協議会に人権啓発事業の一部を委託し、じんけんフェスティバルや各種大会等へ参加した。

#### 〔人権の花運動〕

期 日 10月7日、10月25日  
場 所 北条小学校、大栄小学校  
内 容 花の苗・プランター等を贈呈  
参加人数 児童27人（北条小14人、大栄小13人）  
人権擁護委員6人



人権の花運動(北条小)

#### 〔北栄町じんけんフェスティバル2022〕

期 日 12月10日（土）  
内 容 演題：「笑う門にはいい介護（虐待が抱擁に変わるとき）」  
講師：中村 学氏（笑う門にはいい介護の会代表）  
参加人数 158人

【成果】人権を学ぶ会との連携でテーマを統一し、年間を通して啓発ができた。アンケート結果からも「講演会を聞いて人を大切にすることについて考えることにつながった」、「初めて知ることやなるほどと思ったり、反省することができた」等の感想が寄せられ、92.1%が人権についての関心や理解が深まったと回答した。

#### 〔令和4年度の主な大会派遣〕

大会名	開催場所	参加者数
第47回部落解放・人権西日本夏期講座	オンライン	9人
第37回人権啓発研究集会	埼玉県	2人
第47回人権尊重社会実現鳥取県研究集会	鳥取市	38人
部落解放研究第55回全国集会	米子市	14人
第43回全国人権保育研究集会	広島県	2人
第73回全国人権・同和教育研究大会	奈良県	1人

※機関紙「北栄町人権教育・啓発推進協議会だより」を3回発行。（8月、12月、2月発行）

【成果】町内団体等で構成される北栄町人権教育・啓発推進協議会に事業委託し、各種大会やコロナ差別に対する自治会・事業所宣言を促進するなど、人権啓発事業を広範に推進した。

④人権擁護委員事業 264千円

地域において人権思想を広めるとともに、人権擁護のための相談を行った。また、倉吉人権擁護委員協議会に対し負担金を交付し、活動を支援した。

人権擁護委員 6人

(主な活動内容)

- ・特設人権相談(町内月1回)
- ・特設人権相談(じんけんフェスティバル)
- ・事業所訪問(24事業所)

倉吉人権擁護委員協議会負担金



事業所訪問(人権週間)

【成果】地域住民に対し人権思想の普及と人権相談による人権擁護に資することができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	2 隣保館運営費	13,757千円	12,624千円

①隣保館管理運営事業 12,512千円

町全体を対象に人権啓発のための情報発信、住民交流の場として、人権課題解決のための各種事業や相談事業などを行い、さらに福祉の向上につながる取組みを実施した。

事業名		R2年度	R3年度	R4年度
事業	隣保館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
	人権保育・教育担当者会	3回	3回	3回
	分かりやすいじんけんの話	6回	6回	6回
	同和問題現地研修	3回	3回	6回
	習字教室	23回	24回	24回
	絵本の読み聞かせ	12回	9回	7回
	おしゃべりサロン	12回	11回	9回
	ほくほくパソコンネット講座	8回	8回	-
相談件数		78件	59件	56件
施設利用者数		3,829人	3,601人	2,852人

【成果】人権啓発講演会「分かりやすいじんけんの話」により人権に関する認識を深めたり、教養・文化教室やおしゃべりサロンの開催等により地域住民相互の交流・理解を図ることができた。



分かりやすいじんけんの話(北条中)

②隣保館関係負担金事業 70千円

・鳥取県隣保館連絡協議会負担金

【成果】関係団体の活動及び連携を通じて事業運営の充実と人権啓発の進展を図ることができた。

③隣保館運営審議会(児童館運営委員会も兼ねる)事業 42千円

・隣保館運営審議会兼児童館運営委員会 2回

【成果】「ほくほくプラザ(北栄人権文化センター)」の事業実施状況や事業計画などを説明し、意見を伺うことにより事業実施の参考とすることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	3 児童館運営費	317千円	103千円

## ①児童館管理運営事業 83千円

児童に健全で安全な遊びの場と体験事業を提供し、健康の増進と情操を豊かにするとともに、地域組織活動の支援を行った。

主な事業等	R2年度	R3年度	R4年度
児童厚生員	3人	3人	3人
児童館報発行	毎月1回	毎月1回	毎月1回
体験教室（自然体験含）	12回	8回	7回
料理教室	-	-	-
創作教室	2回	5回	3回
科学実験	-	1回	1回
工作・木工教室	1回	1回	3回
お魚教室	1回	1回	1回
ほくほく食堂	3回	2回	1回
職場訪問	2回	2回	3回
長期連携行事(もち米作り)	1回	1回	-
異文化を学ぶ（ハロウィン）	1回	1回	-
解放子ども会の集い	1回	中止	中止
施設利用者数	9,812人	8,697人	8,225人

【成果】地域との連携を深めながら遊びと体験を通じて、児童の健全育成・資質向上に貢献した。



ほくほく食堂

## ②児童館関係負担金事業 20千円

- ・全国児童館連合会負担金
- ・鳥取県児童館連絡協議会負担金
- ・鳥取県子ども会育成連絡協議会

【成果】関係団体の活動と連携を通じて、児童館活動の質的向上を図ることができた。

款	9 教育費	項	6 人権推進費	予 算 現 額	決 算 額
		目	4 人権教育費	25,013千円	24,284千円

## ①人権を学ぶ会事業 426千円

自治会単位で人権研修を開催。様々な人権問題や地域の課題について地域住民が一緒に考え認識を深めた。また、円滑な会運営を行うために推進協力員並びに地区推進員を対象に事前協議・総括・研修等を行った。

## ・人権を学ぶ会

項 目		R2年度	R3年度	R4年度
人権を学ぶ会(自治会対象)	実施回数	44回	30回	37回
	延参加者	597人	431人	591人
人権を学ぶ会(高齢者対象)	実施回数	3回	1回	2回
	延参加者	74人	28人	29人

## ・各種会議並びに研修会

項 目		R2年度	R3年度	R4年度
人権教育推進協力員会議	実施回数	4回	4回	3回
	延参加者	71人	69人	46人
人権教育地区推進員会議	実施回数	3回	2回	2回
	延参加者	222人	151人	149人

【成果】身近に暮らす地域住民が人権問題等を共通認識することにより、一人では踏み出しにくい「人権尊重の行動」につなげることができた。

## ②人権学習会事業 396千円

小・中学生を対象に人権学習を開催し、仲間づくりや人権に関する知識や認識を広げた。

項 目		R2年度	R3年度	R4年度
人権学習会 (小学生)	実施回数	43回	20回	21回
	参加者	23人	22人	15人
人権学習会 (中学生)	実施回数	44回	44回	38回
	参加者	7人	6人	5人



人権学習会(牧場訪問)

【成果】お互いを大切にする気持ちや、真実を自分で調べることにより、自分の考えを持ち、差別や偏見をなくしていこうとする意識や態度を育むことができた。

## ③人権教育推進員設置事業 2,618千円

人権教育推進員(1人)を配置し、町民や町内事業所等に対して人権研修の計画作成支援や講師を務めた。

項 目		R2年度	R3年度	R4年度
人権教育事業所研修 (人権教育推進員)	実施回数	4回	5回	6回
	延参加者	53人	141人	156人
人権教育事業所研修 (事業所自主研修)	実施回数	6回	6回	5回
	延参加者	202人	218人	112人
人権教育職員研修 (北栄町役場)	実施回数	6回	6回	5回
	延参加者	336人	284人	276人

【成果】各所における人権研修の実施をしやすくし、多くの人の研修参加を通して人権尊重のまちづくりを推進することができた。

## ④鳥取県人権教育推進協議会負担金事業 14千円

・鳥取県人権教育推進協議会負担金

【成果】鳥取県人権教育推進協議会等が主催する「人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会」の運営が円滑に行われ、この集会に参加することにより町民はもとより、県民全体の人権意識高揚につなげることができた。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予算現額	決算額
		目	9 企画費	47,383千円	41,069千円

## ①ほくえい未来ラボ事業 661千円

北栄町の住民参画の新しい仕組みとして、PBLの手法を取り入れた学びと研究の場「ほくえい未来ラボ」を立ち上げた。今年度は「新中央公民館大栄分館の未来構想について」をテーマとし、建て替えを予定している大栄分館の理想像について提案していただいた。

参加者：16人（町内在住15人、町内在勤1人）

コーディネーター：鳥取大学工学部 長曾我部まどか准教授

全体会：第1回（5/15）、第2回（6/19）、中間発表（9/23）、最終発表（12/17）

講演：桃山学院大学 吉弘憲介教授

「財政と地域のニーズから考える公共施設のこれから」（8/10）

東京大学大学院 牧野 篤教授

「これからの公民館と地域づくり」（11/3）

【成果】自らの調査に加え、専門家による講義、外部有識者によるアドバイスなどの学びの場を提供することができ、最終発表では客観的なデータ等に基づいた納得性のある提案をいただくことができた。また、行政課題の解決に向けた工程を通じて、人づくりに資する取組ともなった。



最終発表の様子

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	3 公民館費	46,001千円	44,531千円

## ①中央公民館管理事業 2,670千円

町民が身近に感じ、いつでも「つどい」、「ふれあい」、「学ぶ」ことのできる中央公民館としての機能が発揮できるよう施設の適正な管理を行った。

年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数	340日※	359日	359日
利用者数※	16,000人	15,572人	17,501人

※R2は4/18～5/6休館

【成果】引き続きコロナ禍での施設管理となったが、感染対策の徹底により休館することなく生涯学習の拠点施設としての役割を果たすことができた。その他施設の点検を行い必要な対策をしながら、町民が安心・安全で気軽に利用できる学習施設として、子どもから高齢者まですべての年代を対象に学びの場を提供し、仲間づくり、学びの推進ができた。

## ②公民館運営事業 20,953千円

〔中央公民館運営〕

すべての町民が心豊かで健康的、文化的な生活を送るための生涯学習、文化活動の身近な拠点として効果的に施設利用ができるよう学習環境を整備し、適正な運営を行った。

〔中央公民館大栄分館管理委託〕 12,043千円

大栄分館の管理運営をNPO法人まちづくりネットに委託し、地域住民の参画と協働に基づき、地域に根ざした「行って元気が出る中央公民館」としての運営を行った。

## 中央公民館大栄分館利用実績

年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数	341日※	359日	359日
利用者数※	20,483人 (24,549人)	17,577人 (22,203人)	18,177人 (21,311人)

※R2は4/19～5/6休館

※（ ）内は大栄こども学級利用者等を別掲

【成果】民間活力の活用により、すべての町民を対象に健康的、文化的な生活を送るために必要な町民の学びと地域づくり・人づくりの推進を図ることができた。

## ③公民館講座事業 1,008千円

ニーズが多様化する中、町民の生涯学習への意欲の向上を促すとともに、住民相互がつながりを深めながら仲間づくりの輪を広め、心の豊かさや健康的・文化的な生活の向上、教養の向上をめざし、公民館講座を行った。

〔シニアクラブ（高齢者教室）〕

おおむね60歳以上の高齢者を対象に、「まなび・よろこび・仲間とともに」を合言葉に、学習講座を5月～3月に開催し、生涯学習を推進した。

## 学習別会員数

年度	R2年度	R3年度	R4年度
総合学習	61人	56人	37人
パソコン	15人	11人	6人
ニュースポーツ	47人	43人	46人
歌唱	28人	30人	22人
習字	8人	10人	11人
フラダンス	7人	6人	4人
絵てがみ	14人	12人	8人
食を考える	16人	13人	13人
絵画	6人	7人	4人

シニアクラブコース別学習  
書道コース

## 学習別参加者

内 容		R2年度		R3年度		R4年度	
総合学習		7回	延べ154人	7回	延べ108人	8回	延べ139人
コース別学習		10回	延べ818人	9回	延べ574人	10回	延べ514人
全 体 学 習	開講式・講演	中止	-	中止	-	1回	58人
	ニュースポーツ交流会	1回	43人	1回	35人	1回	25人
	野外学習	中止	-	2回	33人	2回	25人
	閉講式・講演	1回	58人	1回	46人	1回	43人

〔青少年・成人対象講座〕

青少年や成人を対象に、地域課題の解決や多様な学習を通じた仲間づくりの機会として各種講座を実施し、参加者の輪を広げた。

内 容		R2年度		R3年度		R4年度	
青少年対象講座		11回	273人	15回	368人	16回	299人
成人対象講座		4回	48人	7回	97人	18回	279人

【成果】感染症対策の徹底により予定通りの講座を開催することができ、青少年から高齢者までの幅広い年代に対し、仲間とともにつどい、まなぶ環境づくりが推進できた。また、今年度新たに脳トレ教室、健康マージャン教室を開催し、認知症予防に資する取組ができた。



健康マージャン教室

## ④北栄文芸編集・発行経費事業 757千円

町民などの幅広い年齢層において文芸に親しみ、文芸の芽を育む場として文芸誌を発行するとともに、公民館ロビーや自治会公民館、町内金融機関などに文芸誌を配置し、町民が広く文芸に触れ合う場を設けた。

〔発刊実績〕 (R4)

発刊回数	編集委員会	1回あたり発行部数
4回	4回	300部

【成果】随筆や川柳、短歌など小中高生も含めた町民に幅広く作品を募集し、文芸誌を発行。町内金融機関など町内の各所に配置することにより、北栄町内の各所で文芸に親しむ環境を整えることができた。

## ⑤展示・鑑賞・発表経費事業 1,872千円

〔第18回北栄町美術展〕

北栄町の文化・芸術活動の発展のため、美術展実行委員会を組織し、日本画、洋画、書道など13部門における文化・芸術活動者の創作活動の発表と鑑賞の機会を設け、町民の文化意識の高揚を図った。【開催日：令和4年11月3日(木・祝)～15日(火)】

出展状況 ※特別展示を除く

項目	R2年度	R3年度	R4年度
	出展点数	出展点数	出展点数
日本画	8点	8点	8点
洋画	19点	19点	15点
デザイン	3点	3点	1点
書道	33点	34点	32点
彫刻	2点	1点	0点
版画	8点	8点	8点
写真	18点	18点	18点
工芸	19点	19点	15点
ちぎり絵	9点	10点	9点
切り絵	3点	2点	4点
俳画	3点	0点	0点
絵手紙	11点	12点	11点
和紙あかり	17点	16点	12点
計	153点	150点	133点



美術展表彰式



公民館まつり作品展

〔第17回公民館まつり〕

北栄町民を対象に文化・芸術・芸能活動の発展と生涯学習の推進を図るため、公民館まつり実行委員会を組織し、日ごろの創作活動や文化・芸能活動を幅広く町民に発表し、更なる取り組みの発展を図った。大雪と断水の影響のため、作品展ではオープニングセレモニーを中止。また、会期最終日の芸能発表は、半日ではあるが2年ぶりに開催した。

〔公民館まつり展示・発表状況〕

年度	R2年度	R3年度	R4年度
作品展	25部門304点	28部門320点	27部門318点
芸能発表会	15組73人	中止	23組82人



ロビー展

〔ロビー展〕

町文化団体協議会加盟団体による主体的運営の定着を図るとともに、非加盟団体の展示活動や、町や中央公民館事業の発表展示を行い、町民に幅広く文化・芸術活動などの観賞機会及び情報の提供を行った。

【成果】・新型コロナウイルス感染症予防を徹底し、美術展では、文化団体との連携や文化教室参加者への啓発などにより、地域の文化・芸術活動者が出展し、日ごろの取り組みを発表する場となった。また、来場者には、芸術・文化に触れ合う貴重な場となった。  
 ・公民館まつりの作品展示では、ほぼ昨年と同数の出展をいただいた。コロナ禍においても作品を発表する場を設けることができ、文化の振興に寄与し、発表者、来場者とも生涯学習への意欲を高めることが出来た。  
 ・ロビー展は、文化団体との連携により出店の充実を図り、多くの中央公民館来館者に成果を発表し、創作意欲の向上を図るとともに多くの来館者へ文化・芸術に触れる機会を提供することが出来た。

⑥成果還元活動費補助金事業 60千円

文化教室等が、作品展示などを町内各所で発表し、地域周辺住民に対しその成果を還元する活動を支援した。コロナ禍において、今年度も芸能・音楽などの教室は福祉施設への慰問が実施できず、発表の場が確保しづらい状況にあった。

年度	R2年度	R3年度	R4年度
団体数	18団体	12団体	15団体
延回数	28回	16回	20回

【成果】身につけた技術などについて、地域への還元を促進することができ、地域文化の豊かさの醸成に資することが出来た。また、仲間と集い・学び・ふれあいながら親睦を深め、人生の生きがいとなる学びの活動に寄与した。

⑦町文化団体協議会補助金事業 292千円

町民の文化的な生活や生涯学習の推進を図るため、多種多様な文化教室活動の自主的で主体的な活動を支援した。3年ぶりに文化団体合同作品展、湖南省市との文化交流を行うなど、活発な活動を支援した。

【成果】地域の主体的な文化振興の支援と町民の生涯学習の活性化を図ることができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予 算 現 額	決 算 額
		目	8 民芸実習館費	1,812千円	1,504千円

①民芸実習館費事業 1,504千円

町民が行う陶芸や油絵などの文化的創作活動が、安心・安全、かつ充実したものとなるよう施設の管理運営に努めた。

年度	R2年度	R3年度	R4年度
開館日数	161日	180日	199日
利用者数	1,354人	1,741人	1,851人



木竹教室

【成果】陶芸教室や木竹教室、水墨画教室、木版画教室を実施し、文化教室への新規加入促進と施設の有効活用を図ることができた。今年度は木工教室から竹素材を取り入れた木竹教室とし、新たな参加者の開拓と文化活動のすそ野を広げることができた。また、施設の適切な管理を行い、絵画教室等自主的なサークル活動の拠点として安全に活動していただくことができた。

款	9 教育費	項	4 社会教育費	予算現額	決算額
		目	4 図書館費	52,341千円	50,893千円

## ①図書館管理事業 3,072千円

図書館利用者が「いつでも、誰でも」安全に快適に利用でき、居場所となる施設として、適正に維持管理した。

【成果】新型コロナウイルス感染対策を行いながら、来館者が安心して利用できる環境を提供し、利用につなげることができた。

## ②図書館運営事業 14,318千円

図書館資料の収集、整理、保存を行い、資料相談の充実に努めた。また、講座事業や催しを実施し、住民に親しまれ暮らしに役立つ図書館として、適正に運営した。

・図書購入費（書籍・視聴覚資料等） 5,225 千円

（北条分室・雑誌・AV資料全て含む）

※実利用者数(団体含む)

年度	R2年度	R3年度	R4年度
利用登録者数	13,520人	13,693人	13,872人
実利用者数	1,814人	1,809人	1,764人
来館者数	43,518人	47,642人	48,557人
貸出冊数	78,342冊	82,683冊	81,096冊
蔵書冊数	139,519冊	140,821冊	139,520冊
資料購入数	4,200冊	4,173冊	4,702冊

主な事業・行事  
（図書館本館）

項目	R2年度		R3年度		R4年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
おはなし会	39回	291人	30回	244人	20回	151人
あたまイキイキ音読教室	11回	103人	6回	45人	4回	29人
出前音読教室	7回	95人	7回	76人	8回	70人
図書館まつり	2日間	473人	1日	394人	-	-

『特集・展示コーナー』

<特集コーナー>

【郷土】郷土の作家、鳥取の画家、鳥取県の本、谷口ジローの世界 など

【一般】ウクライナ特集、動物愛護、鉄道の日、サッカーワールドカップ、おすすめ文庫

「ヨル図書」関連本、「読書の木」関連本、若い人に贈る読書のすすめ など

【児童】絵本や図書館が出てくる本、「長谷川義史・あおきひろえ」絵本特集

雨の絵本、クリスマス等季節に関する絵本 など

<ギャラリーゆら里>※展示の場合

ウクライナを知ろう展、世界アルツハイマー月間展示、ほくえいフォトコンテスト受賞展

認知症ケア向上連絡会作品展示、町内小中学校「マンガ・イラスト」作品展 ほか

※その他の用途：コワーキングスペース・フリースペース



～ウクライナを知ろう展～  
ギャラリーゆら里

(北条分室)

項目	R2年度		R3年度		R4年度	
	回数	参加者	回数	参加者	回数	参加者
図書館まつり	2日間	102人	1日	76人	-	-

「絵本・紙芝居などの読みきかせ」

読み聞かせボランティア「つくしんぼ」により、北条地区のこども園・小学校において毎月1回ずつ実施した。

「特集コーナー」は、分室も本館同様に実施した。

- 【成果】・資料を幅広く計画的に収集し、テーマを決めた特集やパネル展示など工夫しながら活用することで、町民の多様なニーズに応えることができた。  
・各種講座、催し物で来館を促し、関連する図書資料の活用につなげることができた。

### ③図書館魅力化事業

1,438千円

地域文化や人材を掘り起こし、「地域とつながる図書館」「居心地のよい図書館」につながるような事業を展開した。

<地域とつながる図書館>

夢の図書館プロジェクト（有志11人）、ヨル図書（4回）、推し本PR大賞（17作品応募）  
読みメン英語でおはなし会、ギャラリーゆらりの利活用（整備）など

<居心地のよい図書館>

町民によるアンケートの実施、先進事例視察（県内外）、キッズコーナー設置 など



「夢の図書館プロジェクト」



キッズコーナーを設置

- 【成果】・アンケート等により町民のニーズを把握し、各種研修・視察で学んだ情報とあわせて、館内の改修・配置転換・用途変更につなげることができた。  
・町民主体の企画を取り入れることにより、地域の方との連携が密となり、図書館を応援する体制の基盤づくりができた。  
・従来の図書館まつりの形式ではなく、年間を通しての、地域の方を巻き込んだイベント等により、新たな図書館の魅力を発信することができた。

## ④絵本でつながるまちづくり事業 699千円

家庭や地域で絵本が活用されるよう「絵本の持つ力」を発信し、「絵本で人と人がつながる町 絵本で子どもが豊かに育つ町 北栄町」としての取り組みを行った。

## ○絵本のすすめ講座

- ・家族編

期日：11月20日（日）

場所：本館フロア

演題：「絵本で 子どもたちに つたえたいこと」

講師：絵本作家 長谷川義史・あおきひろえ

参加者：57人



絵本作家読み聞かせワークショップ

## ○ブックスタート（生後7か月児対象）

赤ちゃんと保護者が絵本を介してゆっくりと心ふれあう時間を持つきっかけとなるよう、赤ちゃん一人ひとりに絵本を手渡す。

7か月健診の際、赤ちゃんと保護者に読み聞かせを行い、数種類の中から保護者が選んだ絵本1冊を贈った。

年度	R2年度	R3年度	R4年度
対象者	94組	95組	99組
配布数	94組	94組	94組

## ○マタニティ・ファーストブック（母子手帳交付者）

妊娠中の母親がおなかの赤ちゃんに絵本を読んで語りかけることで、母子ともに豊かな時間を過ごし、赤ちゃんの健やかな成長を育むことを目指す。

パパママ教室開催通知に絵本引換券を同封し、出産までに、図書館かパパママ教室で引き換えてもらった。大人向けの絵本1冊と、赤ちゃんのために保護者が選んだ絵本1冊の計2冊を贈った。

年度	R2年度	R3年度	R4年度
対象者	101組	93組	80組
配布数	44組	50組	56組



【ブックスタート】  
絵本をバッグに入れてプレゼント



【マタニティ・ファーストブック】  
「絵本引換券」で2冊の絵本を贈呈

## ④図書館関係負担金事業 5千円

鳥取県図書館協会負担金

【成果】他の市町村図書館との連携、情報交換のできる場が提供された。また、中国・四国地区図書館地区別研修や鳥取県図書館大会への参加など、様々な支援・情報が得られ、業務遂行の上で参考になった。

款	2 総務費	項	1 総務管理費	予 算 現 額	決 算 額
		目	40 新型コロナウイルス臨時交付金事業費	304,612千円	261,034千円

国の「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」を活用し、以下の事業を行った。

個人を対象とした事業（7事業）

事業名	決算額	事業概要	成果
①修学旅行負担軽減事業	1,227千円	修学旅行時のコロナ対策費用として補助金を交付した。 ・小学校（1校）217千円 ・中学校（2校）1,010千円	バス・ホテル等での密の回避を図ることができ、感染防止対策に繋がった。また、費用の増額部分を補助し、保護者負担の軽減を図ることができた。
②学校等給食費等負担軽減事業	43,539千円	交付金を活用して給食を作るための食材を購入し、小中学校及びこども園の給食費6ヵ月分の減免を行う。	子育て世帯の負担軽減を図ることができた。
③高齢者補聴器購入費補助金事業	240千円	マスクの着用や身体的距離の確保等の感染症対策によってコミュニケーションを取ることが困難になった方の補聴器購入費の補助を行った。 ・8人×30千円=240千円	閉じこもりや認知機能の低下等を防ぐとともに、積極的な社会参加及び地域交流を支援することができた。
④学校給食用等食材高騰対策事業	781千円	完全給食の実施に必要な牛乳の価格上昇（R4.3迄50円から段階的にR4.4～52.82円、R4.12～54.82円）に対応し持続可能で安心安全な給食を実施する。	安心安全な完全給食を実施することができた。
⑤生活困窮世帯支援事業（物価高騰対策）	4,683千円	生活困窮世帯に対して光熱費の助成を行った。 ・1回目 217世帯×7千円=1,519千円 ・2回目 226世帯×14千円=3,164千円	支給世帯（生活保護、児童扶養手当、特別児童扶養手当、特別障害者手当、障害児扶養手当、障害児福祉手当受給世帯）の生活安定につながった。
⑥住民税非課税世帯等物価高騰支援事業	8,113千円	住民税非課税世帯及び家計急変世帯に対して光熱費の助成を行った。 1,159世帯×7千円=8,113千円	支給世帯の生活安定につながった。
⑦各種イベント等PCR検査事業	265千円	事務局を含め令和5年成人式の参加者全員に対して事前に抗原検査キットを送付し、前日と当日の朝に検査した。	参加者をはじめ、家族・地域住民など成人式に関わる全ての方が安心する形で式典を開催することができた。

事業者を対象とした事業（7事業）			
事業名	決算額	事業概要	成果
⑧新型コロナ対策 利子補助事業	15,314千円	新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。 （60事業者が対象。）	新型コロナウイルス感染症の拡大により影響を受けた中小事業者の事業継続を支援できた。
⑨町内消費拡大支援事業	42,436千円	商工会に対し、キャッシュレス決済・地域活性化ポイントカード事業（ほくほくカード）の普及推進に係る事業として、地元応援キャンペーン（チャージ額の20%分ポイント付与：2回時実施）、お年玉キャンペーンの付与ポイント分（3,000ポイント）を補助した。 （令和5年3月末現在） 【ほくほくカード】 利用者数：5,719人 利用金額：285,032,483円(R4)	町内における消費拡大を促進し、町内事業所の事業継続・支援につながった。
⑩新型コロナ対策 利子補助事業基金 積立金事業（後年度負担分）	600千円	新型コロナウイルス感染症の拡大により深刻な影響を受けている中小事業者への利子補助事業の財源に充てるため、基金を積み立てた。	今後の利子補助について確実な執行を担保することができた。
⑪青山剛昌ふるさと館入館チケット取扱支援事業	881千円	青山剛昌ふるさと館入館チケットを大手コンビニ発券システムを通じて購入できるようにし、入館者制限を効率よく行い、感染対策を強化する。また、本システムの活用を促進するための広告・周知を行う。	繁忙期の入館者の満足度向上につながり、入館待ち時間の短縮など副次的な効果も高いことがわかった。
⑫地域経済変動対策資金利子補助事業	501千円	令和3年度燃油価格の高騰及び令和4年度燃油及び原材料価格の高騰・円安により深刻な影響を受けている中小事業者の借入れに対する利子補給を行い、事業者の事業継続を支援した。申請：7件	事業継続を支援した。
⑬中小企業物価高騰対策緊急応援事業	27,485千円	新型コロナウイルスによる売り上げ減少、原油価格、物価高騰により、雇用維持や事業継続の危機に瀕し、長期に渡り売上、利益の減少に苦しむ町内事業者に対し、年間売り上げ規模に応じて補助金を給付。（交付：65事業者）	事業継続を支援した。
⑭訪問介護サービス事業所等燃油高騰緊急対策事業	1,020千円	燃油価格高騰の影響を受けている訪問介護サービス事業所等の事業継続を図るため、訪問介護サービス等の提供に使用する車両の燃料費（1万円/台）を支援した。	事業継続を支援した。

農業を対象とした事業（8事業）			
事業名	決算額	事業概要	成果
⑮地元産材活用支援事業	2,045千円	地元産材の消費拡大、地産地消による食育のため、町内産食材を給食で使用した。	消費拡大や生徒への食育を図ることができた。
⑯北栄の花町内需要拡大支援事業	4,600千円	町民並びに観光客に、花栽培の産地PR消費拡大を図るため、イベントを実施するとともに、町内小・中・高校等の卒業生に花束を贈呈した。 ①花装ハロウィン ②フラワーバレンタイン ③町内学校卒業式での花束贈呈	輸送費の少ない町内で花の消費拡大、観光客への産地PRをすることができた。
⑰米価下落対策支援事業	21,952千円	令和3年産の米価格下落額の一部を支援した。（10aあたり4,000円）	生産者に対し、米価下落の影響を緩和することができた。
⑱畜産経営緊急救済事業	10,405千円	飼料価格等の高騰により経営が圧迫された畜産農家を支援した。 ①酪農経営 ②養鶏経営 ③肉牛経営	生産者に対し、飼料価格高騰の影響を緩和することができた。
⑲肥料価格高騰対策事業	1,533千円	化学肥料の低減に向けて取り組む販売農家に対して令和4年秋肥（6月～10月購入）の高騰分の一部を支援した。	肥料価格の高騰分を支援することにより、農業経営への影響を緩和することができた。
⑳土地改良区地元負担軽減補助金事業	9,232千円	土地改良区が管理する農業水利施設の稼働や維持に関する電気料金（4月分～2月分の燃料費調整額）の高騰に対して支援した。 北条砂丘土地改良区 7,772千円 北条水系土地改良区 551千円 大倉土地改良区 909千円	電気代の高騰分を支援することにより、土地改良区及び組合員の負担を軽減することができた。
㉑国営造成施設等電気料金高騰対策支援事業補助金	410千円	国営造成畑かん施設管理体制における改良区負担の農業効果分電気代（4月分～2月分の燃料費調整額）高騰に対し支援した。  農業効果割合：62.5% 琴浦62.2%、北栄37.8%	電気代の高騰分を支援することにより、東伯地区土地改良区連合及び組合員の負担を軽減することができた。
㉒グルメストーリーキャンペーン負担金事業	577千円	コロナからの需要回復に向けて、地元需要喚起を促すことを目的として、山陰道を結ぶ3町を「食」でつなぎ、各町の食の特産品のPRも兼ねて、住民参加型のスタンプラリー形式で企画された。参加：8店	それぞれの店舗の特色を生かした「食」を提供し、各種需要喚起に貢献した。

環境整備に関する事業（9事業）			
事業名	決算額	事業概要	成果
㉓新型コロナウイルス感染症対策事業	805千円	感染対策用の物品・備品を購入した。 ・消毒用アルコール ・防護服 ・抗原検査キット ・空気清浄機 ・掃除機	各施設、業務等での感染予防を強化することができた。また、業務を行う上での感染に対する不安軽減につながった。
㉔リモート会議・テレワーク推進事業	4,270千円	リモート会議等の環境を整備した。 ・備品購入費4,205千円 ・周辺機器消耗品65千円 65型ディスプレイ 2台 ワークポッド 2台	リモート・テレワーク関連の備品導入により、画面による資料共有推進とWeb会議用の会議室不足に対応した。
㉕文書決裁電子化事業	4,290千円	文書決裁システムを導入した。 ・システム導入委託料 4,290千円	文書決裁を電子システムで行う環境を整備。決裁用の紙文書作成や文書の各課移動が不要となり事務軽減につながった。
㉖【令和3年度繰越】由良こども園エアコン整備事業	11,770千円	由良こども園遊戯室にエアコンを新設し感染症対策と室温の適正化を行った。 ・工事請負費 11,770千円	由良こども園遊戯室にエアコンを新設し、室温を適正に保ちながら感染防止対策として換気と分散保育を行った。
㉗こども園内消毒作業委託事業	4,977千円	公立こども園の消毒清掃を委託し、分散保育用玩具を購入した。 ・清掃作業委託料 4,026千円 ・消耗品費 玩具等 951千円	公立こども園内の定期的な消毒清掃委託の実施と、分散保育用玩具を利用することで感染拡大を防止し保育環境を維持した。
㉘コロナ対応時間外業務事業	2,921千円	感染拡大防止のため、早朝、夜間、休日等に学校・こども園のコロナ感染情報収集業務及びPCR検査補助業務等のコロナ対応業務に従事した。 ・時間外手当 2,921千円	休日や早朝、夜間も学校・こども園のコロナ感染情報収集業務及びPCR検査補助業務に対応することで、感染拡大防止につなげることができた。
㉙【令和3年度繰越】GIGAスクール構想整備事業	32,835千円	1人1台端末の整備のためタブレット端末の不足分を購入した。 ・端末代 385台 32,835千円	GIGAスクール構想推進のため、全児童生徒及び授業を受け持つ教職員が端末を利用できる環境を整備することができた。
㉚イベント感染予防対策事業	277千円	北栄砂丘まつりやまちづくり研修会などのイベントを安心・安全に実施するため感染対策としてまつりテントの増設とアクリル板購入を実施した。 ・まつりテントレンタル代（コロナ対策増設分）250千円 ・アクリル板購入代 27千円	感染対策としてまつりのテントを拡充しゆとりある空間の中で実施した。さらに各会議やイベント受付でアクリル板を活用したことで参加者が安心安全に参加できた。
㉛図書館貸出用図書パワーアップ事業	1,050千円	コロナ禍における在宅時間が豊かなものとなるよう図書館資料を充実させた。 ・書籍購入費 1,050千円	幅広いジャンルや文庫本を取り揃えることができ、コロナ禍において利用者に豊かな時間を提供することができた。

会 計 名	予算現額	決算額
国民健康保険事業特別会計	2,058,808千円	1,815,632千円

令和4年度は、歳入総額1,873,520千円、支出総額1,815,632千円で収支は57,888千円の黒字となった。

### 1 国民健康保険税の収納状況

(単位：千円・%)

区 分	R2年度		R3年度			R4年度			
	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	
現年分	一般被保険者分	412,311	99.0	425,787	422,919	99.3	397,091	396,341	99.8
	退職被保険者等分	90	100.0	397	397	100.0	0	0	0.0
	計	412,401	99.0	426,184	423,316	99.3	397,091	396,341	99.8
滞納繰越分	一般被保険者分	5,431	59.2	7,729	4,267	55.2	6,045	3,345	55.3
	退職被保険者等分	0	0.0	0	0	0.0	0	0	0.0
	計	5,431	59.2	7,729	4,267	55.2	6,045	3,345	55.3
合 計	417,832	98.1	433,913	427,583	98.5	403,136	399,686	99.1	

### 2 療養諸費に係る保険者負担分の給付状況

(単位：件・千円)

区 分	R2年度		R3年度		R4年度		
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	
療養給付	一般	58,339	1,089,945	58,416	1,033,840	58,317	1,051,614
	退職者	0	0	0	0	0	0
療養費	一般	118	2,199	296	5,494	301	2,561
	退職者	0	0	0	0	0	0
審査支払手数料	—	3,703	—	3,708	—	3,699	
高額療養費	一般	2,323	173,512	2,492	157,124	2,493	155,599
	退職者	0	0	0	0	0	0
高額介護合算療養費	0	0	0	0	10	206,920	

【成果】被保険者が医療機関を受診した際の療養諸費に対して、必要な医療給付（保険者負担分7割～9割及び高額療養費等）を行うことにより、被保険者の社会保障及び保健の向上に寄与した。

### 3 出産育児一時金、葬祭費等事業の状況

(単位：件・千円)

区 分	R2年度		R3年度		R4年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
移送費	0	0	0	0	0	0
出産育児一時金	5	3,764	10	4,200	6	2,508
葬祭費	30	450	24	360	27	405

【成果】出産育児・葬祭等に要する経費について給付を行い、経済的な負担を軽減した。

### 4 特定健康診査受診状況

	R2	R3	R4
特定健診受診率	39.5%	41.0%	44.4%

(※R4は速報値)

## 5 国民健康保険の加入状況（年間平均） 年報数値（各年月報4月～3月報告）

区 分		R2年度	R3年度	R4年度
世 帯 数		2,221世帯	2,230世帯	2,166世帯
被保険者数	一般被保険者	3,857人	3,853人	3,697人
	退職被保険者数	0人	0人	0人
	計	3,857人	3,853人	3,697人
介護保険第2号被保険者数		1,104人	1,093人	1,052人

R2年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		減少	52人	372人	5人	14人	0人	12人
		転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		59人	282人	3人	30人	126人	21人	521人

R3年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		減少	76人	359人	6人	15人	0人	25人
		転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		61人	274人	3人	24人	170人	26人	558人

R4年度中 増減内訳 (単位： 人)	増加	転入	社保離脱	生保廃止	出生	後期高齢離脱	その他	計
		減少	74人	379人	0人	10人	0人	6人
		転出	社保加入	生保開始	死亡	後期高齢加入	その他	計
		63人	327人	5人	29人	246人	15人	685人

## 6 療養の給付等の内訳 年報数値（各年月報6月～5月報告：現物給付3月診療～2月診療）

区 分		R2年度		R3年度		R4年度	
		費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)	費用額(千円)	1人当り(円)
入 院	一般	643,017	166,714	516,567	134,069	548,369	148,328
	退職者	0	0	0	0	0	0
入院外	一般	467,896	121,311	513,974	133,396	484,225	130,978
	退職者	0	0	0	0	0	0
歯 科	一般	80,718	20,928	80,102	20,790	86,609	23,427
	退職者	0	0	0	0	0	0
調 剤	一般	262,443	68,043	261,806	67,949	274,501	74,250
	退職者	0	0	0	0	0	0
食事療養	一般	23,791	6,168	20,250	5,256	24,918	6,740
	退職者	0	0	0	0	0	0
訪問看護	一般	4,267	1,106	6,501	1,687	6,616	1,790
	退職者	0	0	0	0	0	0
合 計		1,482,132	384,270	1,399,200	363,147	1,425,238	385,513

会 計 名	予算現額	決算額
介護保険事業特別会計	1,780,348千円	1,586,073千円

介護保険は、加齢に伴って生じる心身の変化に起因する疾病等により、要介護状態となった方に対して居宅サービスや施設サービスを提供し、それに係る費用は、被保険者（40歳以上）が納める保険料と国・県・町からの負担金・補助金・繰入金等により運営している。

介護予防の更なる推進のため、「介護予防教室」、「こけないからだ講座」等の拡充及び「地域ケア会議」を実践、ケアプランのチェックを徹底し、自立支援のための適正なサービス提供となるよう努めた。



地域ケア会議

月2回、地域包括支援センター職員を中心に、介護保険室、薬剤師、リハビリテーション専門職、歯科衛生士、栄養士などの専門職を交え、担当ケアマネ、サービス事業所職員と要支援者等のサービス提供について協議を行った。

	R2年度	R3年度	R4年度
対象件数	39件	50件	36件

## 【成果】

利用者一人ひとりの生活機能向上に着目して、生活の質の向上に向けた支援体制の構築につながっている。

決算は、歳入総額17億4,070万7千円、歳出総額15億8,607万3千円、実質収支額は1億5,463万4千円であった。

## 1 認定者・要介護認定申請件数及び審査結果の状況

## (1) 認定者の状況

	支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	合計
R4年3月末	65人	110人	130人	164人	103人	116人	76人	764人
R5年3月末	62人	106人	127人	172人	97人	111人	81人	756人
※死亡者	5人	6人	14人	23人	14人	47人	41人	150人

※令和4年度中に死亡した認定者数

## (2) 要介護認定申請件数及び審査結果の状況

(単位：人)

申請区分	申請件数	審査結果									申請取下	合計
		支援1	支援2	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5	非該当			
①新規申請	184	27	32	42	31	6	22	8	6	10	184	
更 新	支援1	30	15	11	3	0	0	0	0	1	30	
	支援2	51	7	29	4	7	2	1	0	1	51	
	介護1	61	1	0	27	23	7	2	0	1	61	
	介護2	56	0	2	3	25	20	1	4	1	56	
	介護3	57	0	1	2	10	16	16	10	2	57	
	介護4	52	0	0	1	6	4	21	19	1	52	
	介護5	26	0	0	0	1	1	7	16	1	26	
	②小計	333	23	43	40	72	50	48	49	0	8	333
変 更	支援1・2の者	34	0	2	8	10	6	3	0	0	32	
	介護1～5の者	53	0	0	1	3	11	23	11	3	52	
	③小計	87	0	2	9	13	17	26	14	3	84	
合計 (①+②+③)	604	50	77	91	116	73	96	71	6	21	601	

## 2 地域支援事業 51,903 千円

## (1) 介護予防・生活支援サービス事業 39,708 千円

## ●訪問型サービス

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防訪問介護相当サービス	266人		

## ●通所型サービス

事業名	延人数	開催回数	備考
介護予防通所介護相当サービス	846人		
筋力アップ教室北条	324人	48回	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	381人	48回	通所型サービスA
リフレッシュ教室	242人	48回	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	389人	48回	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	278人	47回	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	209人	29回	通所型サービスC

## ●介護予防ケアマネジメント

事業名	延人数	備考
筋力アップ教室北条	10人	通所型サービスA
筋力アップ教室大栄	13人	通所型サービスA
リフレッシュ教室	7人	通所型サービスA
はつらつ！お達者教室	10人	通所型サービスA
食べて！うたって！笑わー会！	11人	通所型サービスA
パワーリハビリ教室	8人	通所型サービスC

## ●介護予防サービス計画書作成

		R2年度	R3年度	R4年度
事業所委託	件数	1,191 件	1,242 件	1,157 件
	委託料	5,313 千円	5,423 千円	4,966 千円
包括直営	件数	609 件	594 件	666 件

## (2) 一般介護予防事業 9,247 千円

## ●介護予防普及啓発事業

事業名	延人数	開催回数	備考
シニアファイト教室	202人	48回	
転倒予防教室	404人	24回	
生きがいデイサービス	923人	103回	
脳活クラブ	344人	48回	
認知症サポーター養成講座	609人	13回	
介護予防講座	185人	14回	

## ●地域リハビリテーション活動支援事業

事業名	延人数	開催回数	備考
お口の機能向上事業	29人	3回	
リハビリテーション専門職派遣事業	16人	22回	

## (3) 包括的支援事業・任意事業 2,761 千円

## ①在宅医療・介護連携推進事業 25 千円

2次医療圏である中部圏域1市4町、医師会、倉吉保健所協働にて、研修会の開催や情報共有支援、社会資源マップを作成し医療・介護関係機関の連携を図った。

	延参加者	開催回数	備考
地域づくりしよいやの会	251人	3回	オンライン開催

	R2年度	R3年度	R4年度	備 考
退院調整率	未実施	未実施	89.5%	
連携シート提出率	未実施	未実施	83.9%	

## ②認知症総合支援事業 1,969 千円

認知症の人とその家族、地域の人、専門職など、どんな人でも気軽に集える場としてNPO法人まちづくりネットと共催し「オレンジカフェ」を開催し、相談等に対応した。

開催回数	実人数	延件数	備 考
24回	53人	365人	R4～送迎あり

## ③任意事業 767 千円

主な事業名	延人数	開催回数	備 考
在宅介護者慰労事業	33人	2回	
家族介護用品支給事業	122人		交付枚数/実人数11人
認知症の人と家族のつどい	11人	12回	

	R2年度	R3年度	R4年度
協力機関登録数	38箇所	38箇所	38箇所
事前登録者	15人	14人	14人
GPS貸与者	2人		
GPS利用助成者	0人	0人	0人

認知症高齢者等が行方不明になった時、地域ぐるみで早期発見につなげられるよう、安心安全なまちづくりの推進を行った。

## 3 介護保険給付費

区 分	種 別	延件数 (件)	給 付 額 (円)
居宅（介護予防）サービス	訪問介護	533	50,006,461
	訪問入浴介護	16	932,382
	訪問看護	564	18,554,241
	訪問リハビリテーション	239	7,824,637
	居宅療養管理指導	213	1,107,307
	通所介護	2,211	258,483,709
	通所リハビリテーション	1,688	128,738,478
	短期入所生活介護	163	24,564,718
	短期入所療養介護（介護老人保健施設）	265	17,977,983
	福祉用具貸与	3,502	43,414,775
	福祉用具購入費	53	1,527,321
	住宅改修費	60	3,082,006
	特定施設入居者生活介護	25	4,941,891
	居宅介護支援計画	5,047	65,275,920
	計		626,431,829
地域密着型（介護予防）サービス	地域密着型通所介護	5	181,656
	認知症対応型通所介護	14	954,009
	小規模多機能型居宅介護	369	57,348,666
	認知症対応型共同生活介護	875	224,075,842
	計		282,560,173
施設介護サービス	介護老人福祉施設	597	156,985,266
	介護老人保健施設	1,224	358,382,277
	計		515,367,543
小	計		1,424,359,545

特定入所者（介護予防）サービス等	特定入所者介護サービス費	食費	1,033	20,834,427
		居住費	1,044	9,303,496
	計		30,137,923	
高額介護サービス等	高額介護サービス費		2,341	27,892,485
	高額医療合算サービス費		39	4,141,038
	計			32,033,523
諸	費	審査支払手数料	17,521	1,664,495
介護給付費合計額				1,488,195,486

【成果】介護予防教室や地域ケア会議等の取り組みにより、事業計画内での給付費の決算となった。

#### 4 介護保険料の収納状況

(単位：千円)

区 分	R2年度		R3年度		R4年度		
	収入額	徴収率	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分特別徴収	333,222	100.0	336,493	100.0	336,502	336,502	100.0
現年度分普通徴収	23,134	96.1	25,640	98.5	26,614	26,432	99.3
滞納繰越分	1,086	82.2	926	78.7	608	607	99.9
計	357,442	99.7	363,059	99.8	363,724	363,541	99.9

#### 65歳人口・高齢化率等における年度末の状況

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
65歳以上人口	5,176 人	5,194 人	5,198 人
高齢化率	35.4 %	35.7 %	36.2 %
介護認定者数	760 人	764 人	756 人
65歳以上	747 人	756 人	751 人
40～64歳	13 人	8 人	5 人
認定率	14.4 %	14.6 %	14.4 %
介護給付費	1,524,705千円	1,541,630千円	1,448,195千円

※住所地特例被保険者含む

#### 要介護認定者数における年度末の状況

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
要支援1	51人	65人	62人
要支援2	101人	110人	106人
要介護1	134人	130人	127人
要介護2	169人	164人	172人
要介護3	110人	103人	97人
要介護4	124人	116人	111人
要介護5	71人	76人	81人
合 計	760人	764人	756人

#### 介護保険の資格取得者・喪失者の状況

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
取得者（65歳到達・転入）	273人	240人	216人
喪失者（死亡・転出）	195人	228人	208人
増 減	78人	12人	8人

## 居宅サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
要支援1	26人	28人	27人
要支援2	80人	80人	82人
要介護1	88人	100人	103人
要介護2	110人	105人	111人
要介護3	54人	57人	51人
要介護4	42人	37人	48人
要介護5	14人	20人	20人
合 計	414人	427人	442人

## 地域密着型サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
要支援1	4人	5人	5人
要支援2	4人	3人	4人
要介護1	27人	14人	8人
要介護2	35人	40人	38人
要介護3	27人	24人	22人
要介護4	14人	11人	17人
要介護5	3人	9人	11人
合 計	114人	106人	105人

## 施設サービス利用者の状況（各年度の3月サービス利用者数）

年 度	R2年度	R3年度	R4年度
介護老人福祉施設	51人	54人	45人
介護老人保健施設	111人	110人	91人
介護療養型医療施設	0人	0人	0人
合 計	162人	164人	136人

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
農業集落排水事業特別会計	14,591千円	13,874千円

北条島地区農業集落排水事業（平成9年5月供用開始）に係る維持管理費

目 的 北条島における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した農業集落排水設備の適正管理。

処理施設 クリーンセンター島

整備期間 平成6年度 ～ 平成8年度

令和4年度の歳出では予算現額 14,591千円に対し決算額 13,874千円となった。歳入では約60%を占める一般会計繰入を収支0円とするよう歳出に合わせて行うため同じく決算額13,874千円となった。

1 令和4年度末 接続戸数 76戸

2 維持管理経費

- ・処理水用塩素剤 35千円
- ・光熱水費 1,061千円
- ・修繕等 64千円
- 島地区下水道管渠清掃（閉塞改善）、マンホールポンプ電力線絶縁修理
- ・通信費（監視装置回線料等） 58千円
- ・汚泥採取処分手数料 69.69t 908千円
- インバート（枙）汚水移送作業（処理場内最終MH）、汚泥引抜作業ほか
- ・処理施設維持管理委託料 1,033千円
- 施設維持管理業務、自治会委託（植栽管理、施設清掃、利用者水質管理ほか）
- ・その他（建物災害共済） 4千円

3 起債償還状況

- ・令和4年度償還額 元金 9,754千円
- 利子 957千円
- 合計 10,711千円

起債償還終了年度 令和8年度  
 （起債償還残高 23,259千円 R5.3.31現在）

【成果】令和4年度においては故障や経年破損等による修繕件数も少なく、適正な維持管理に努めることができた。



農業集落排水事業の処理施設クリーンセンター島から処理した汚泥を年間3回程度、一般廃棄物として中部クリーンセンター（し尿処理場 倉吉市小田）へ運搬

農集	R5.3月末	世帯数 ①	人口 ②	整備済			水洗化			未水洗化	
				世帯	人口③	率③/②	世帯	人口④	率④/③	世帯	人口
	北条島	76戸	220人	76戸	220人	100%	75戸	219人	99.5%	1戸	1人

●収納状況（現年+滞納繰越）

	R2年度	R3年度	R4年度
調定	4,413,316円	4,415,742円	4,437,112円
収納	4,413,316円	4,415,742円	4,437,112円
収納率	100.00%	100.00%	100.00%
未収	0円	0円	0円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
栄財産区特別会計	585千円	189千円

栄財産区に、栄財産区管理会を設置し、保有財産等の適切な維持管理を行った。管理会の開催、保有財産等は以下のとおり。

1 栄財産区管理会の開催状況

招集日	出席委員	内 容
7月26日	4人	令和3年度決算審議
12月7日	7人	令和5年度当初予算協議

2 事業等の状況

- ・ 栗林の管理 草刈1回 (9/8)
- ・ 栗拾いイベント 開催日：10月1日、参加者数：約90人

3 財政調整基金の状況 (単位：千円)

	R2年度	R3年度	R4年度
基金残高	65,083	65,433	65,433

4 財産等の状況

(1) 栄財産区所有地

地 目	面積 (㎡)
山 林	375,529
畑 地	55,938
雑種地	1,377
原 野	623
計	433,467

(前年度末に変動なし)



東高尾地内にある栗木

(2) 保安林指定

森林の所在地	面積 (㎡)
西高尾字谷奥1798	33,854
同 1788-1	72,560
同 1788-2	20,304
同 1801-1	29,694
東高尾字奥谷773-5	57,203
同 852-1	52,555
同 852-2	15,467
同 852-3	64,794
同 852-313	10,804
同 852-317	6,014
計	363,249

(前年度末に変動なし)

【成果】 区有地を適正に維持管理できた。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
合併処理浄化槽事業特別会計	8,039千円	7,698千円

浄化槽市町村整備推進事業により、対象地域に設置した合併処理浄化槽の維持管理

目 的 公共下水道処理区域外の地域における生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ることを目的として設置した合併処理浄化槽の適正管理。

全体計画 合併処理浄化槽 (5人槽～21人槽)

整備期間 平成18年度 ～ 平成20年度

対象地域 浄化槽による汚水処理が、経済的・効率的である地域  
青木、岩坪、高千穂及び、由良宿3区・下種・松神・田井・北尾・江北浜  
東新田場・米里の各一部

令和4年度の歳出では予算現額 8,039千円に対し決算額7,698千円となった。歳入では約57%を占める一般会計繰入を収支0円とするよう歳出に合わせて行うため同じく決算額7,698千円となった。

1 整備状況 (全52基うち、住宅用45基/事業所用7基)			
平成18年度	23 基	(うち寄付採納分1基)	
平成19年度	27 基	(うち寄付採納分1基)	
平成20年度	2 基		
合 計	52 基	(接続済51接続率98%)	

2 維持管理経費		
法定検査手数料 (11条)	280千円	
保守点検清掃委託料	3,613千円	
修繕費(13件)	1,075千円	

3 起債償還状況		
令和4年度償還額	元金	1,973千円
	利子	757千円
	合計	2,730千円

・起債償還終了年度 令和20年度  
(起債償還残高 33,822千円 R5.3.31現在)



浄化槽修繕作業(内部修繕のため内部構造材を一時撤去している様子)

【成果】令和4年度においては故障や経年破損等による修繕件数が増加したが、早期の対応により、生活排水処理を適切に処理することができた。

合併処理浄化槽	R5.3月末	世帯数 ①	人口 ②	整備済			水洗化			未水洗化	
				世帯	人口	③	率③/②	世帯	人口	④	率④/③
	旧北条地区	9戸	18人	9戸	18人	100%	9戸	18人	100%	0戸	0人
	旧大栄地区	42戸	123人	42戸	123人	100%	41戸	118人	96%	1戸	5人
	合計	51戸	141人	51戸	141人	100%	50戸	136人	96%	1戸	5人

※上記「整備状況」うち住宅用45基51戸(一部 1基2世帯利用によるものあり)の水洗化等の状況

●収納状況 (現年+滞納繰越)

	R2年度	R3年度	R4年度
調定	2,836,013円	2,863,907円	2,703,116円
収納	2,836,013円	2,863,907円	2,703,116円
収納率	100.00%	100.00%	100.00%
未収	0円	0円	0円

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
大栄歴史文化学習館特別会計	81,369千円	75,024千円

「名探偵コナン」の原作者 青山剛昌氏の生まれ育った地である鳥取県北栄町において、漫画家・青山剛昌氏にスポットをあて、青山作品の世界を解き明かし、青山剛昌ファンをはじめ、ここに訪れる人々に彼の作品を通し、青山剛昌氏の魅力や人となりを紹介している。

総入館者数 134,169人 (うち有料入館者数 124,198人)

入場料収入 66,219,441円

有料入館者(数)の内訳

種別	大人	中高生	小学生	海外団体	合計
R2	44,692人	4,135人	9,430人	19人	58,276人
R3	56,344人	8,384人	12,358人	25人	77,111人
R4	95,438人	10,534人	17,645人	581人	124,198人
前年比	169.4%	125.6%	142.8%	2324.0%	161.1%

誘客活動 令和4年度は感染症対策の緩和により、人の動きが活発になった。これに合わせて感染症対策を行いながら、入館制限の見直しやワークショップなどお客様との距離が近いイベントの再開を行った。また、ゴールデンウィークには、多くのお客様にお越しいただき、お客様が遠方から来たのに入館できないような状況となったため、満足度向上と入館を希望される方を事前に把握することを目的に、8月のお盆期間、前売券の販売を実施した。

また、県内外の旅館等の施設に割引券を設置し、観光客の誘客を進めた。併せて、Webや旅行雑誌等に割引券の掲載を行ったほか、下記イベント実施や加西や宝塚北サービスエリアへの広告掲出、旅行雑誌等への広告掲載を行うことで、県内外への誘客活動も進めた。

このほか、Twitterのフォロワー拡大に取り組み、フォロワー数が10万人を超えた。また、お客様アンケートを再開し、入館状況などの把握に取り組んだ。

#### 1 イベントの実施

名探偵コナンバースデーメッセージ募集	R4.3/14~4/11
青山剛昌先生・怪盗キッドバースデーメッセージ募集	4/4~5/9
GWイベント	4/29~5/8
北栄町民無料デー	5/16~6/30
青山先生誕生日・バースデーメッセージタペストリー設置	5/21~6/21
Twitter連動企画6万人達成缶バッジプレゼント	5/23~31
青山先生誕生日・館内クイズ	6/17~21
暑中見舞いハガキ申込受付	6/22~30
七夕タペストリー設置	6/22~7/10
名探偵コナンイラストコンテスト	7/1~9/2
Twitter連動企画7万人達成缶バッジプレゼント	7/4~13
夏季期間謎解きラリー(警察学校編)	7/16~9/19
総入館者150万人達成記念セレモニー	7/31
倉吉警察署&JAFコラボイベント	9/3、4
北栄町民入館無料デー	10/1~11/15
Twitter連動企画8万人達成缶バッジプレゼント	10/3~11
名探偵コナン少年探偵団と高木刑事のプレゼント大搜索	10/15~11/13
キャラクターイラスト年賀状募集	11/1~R5.1/3
ハロウィンイベント	11/3~6
Twitter連動企画9万人達成缶バッジプレゼント	11/7~15
クリスマスイベント(館内クイズ・タペストリー設置)	12/1~25
年賀状ポスト設置	12/1~31
お正月イベント(カレンダープレゼント)	1/1~3
青山剛昌先生と話そうDAY2023	1/3
バレンタインデー・ホワイトデーイベント	2/11~14、3/12~14
開館16周年記念イベント	3/1~8/31

2 館内展示の入れ替え、新設	
青山剛昌名探偵コナン特別原画展第1期～第6期	4/1～3/31 年間を通じて展示 (1/25は大雪のため臨時休館)
警察学校編グッズ展示	9/1～R5.2/28
警察学校編原画展示	9/3～4/13
ベルツリー急行殺人事件原画展示	1/18～4/13
ハロウィンの花嫁グッズ展示	3/18～8/30
毛利探偵事務所フォトスポットリニューアル	3/28～以後常設

- 3 館内設備の整備
- 探偵団広場路面シート修繕
  - 非常口シャッター修繕
  - スケートボード型インターフェース修繕
  - 鍵穴フォトスポット看板貼替
  - 入口看板貼替
  - オブジェマップ追加貼り付け
  - 町長案内板パネル貼り替え

【成果】感染症規制の緩和および誘客活動により、当初目標としていた有料入館者数110,000人を上回る、124,198人の入館があった。

- ・感染症対策の緩和に合わせて、入館者の定員を1,000人→2,500人に上げた。
- ・各種イベントの開催により、通年で継続的な誘客を行った。
- ・繁忙期の前売券販売により、満足度向上や入館者を希望される方の事前把握を行った。実施した結果、入館待ち時間の短縮など、副次的な効果も高いことがわかった。
- ・割引券の設置や雑誌広告により、県内外から多くの誘客を行った（割引券利用者数34,629人）。
- ・Twitterのフォロワー数強化を行い、ファン層の関心の高い投稿を行った。結果、令和5年3月にフォロワー数10万人を達成した。
- ・入館状況把握のため館内アンケートを行い、1,949件のアンケートが集まった。分析を行い、館運営の参考としていく。

今後は、誘客促進と感染症流行により落ち込んだ入館者回復のための企画・広報活動の充実および、混雑時であってもお客様の利便性や満足度が保てる環境づくりの両方をバランスよく実現する手法開発が課題である。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
後期高齢者医療事業特別会計	210,077千円	206,407千円

令和4年度は、歳入総額207,096千円、歳出総額206,407千円となり、収支は689千円の黒字となった。

医療給付などの運営主体は後期高齢者医療広域連合が行い、町は保険料の徴収や資格の取得・喪失など、主に窓口業務を担当した。

### 1 後期高齢者医療保険料の収納状況

(単位：千円・%)

区 分	R2年度			R3年度			R4年度		
	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率	調定額	収入額	徴収率
現年度分	128,183	127,764	99.6	129,534	129,053	99.6	153,855	153,837	99.9
過年度賦課分	-	-	-	-	-	-	-	-	-
滞納繰越分	585	525	89.7	480	413	86.0	533	531	99.6
計	128,768	128,289	99.6	130,014	129,466	99.5	154,388	154,368	99.9

### 2 被保険者数

※ 65歳以上75歳未満で一定の障がいがあり、広域連合の認定を受けた人

区 分		令和3年 3月末現在 (人)	令和4年 3月末現在 (人)	令和5年 3月末現在 (人)
被保険者数	65歳～69歳※	10人	13人	16人
	70歳～74歳※	19人	27人	18人
	75歳～79歳	778人	785人	934人
	80歳～84歳	668人	651人	634人
	85歳～89歳	602人	603人	583人
	90歳～94歳	319人	327人	347人
	95歳～99歳	112人	109人	115人
	100歳～	21人	28人	23人
	計	2,529人	2,543人	2,670人

### 3 療養の給付等の内訳

区 分	R2年度		R3年度		R4年度	
	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)	費用額 (千円)	1人当り (円)
入 院	1,175,055	464,632	1,322,512	520,060	1,405,728	526,490
入院外	599,057	236,875	613,180	241,125	607,844	227,657
歯 科	49,397	19,532	48,266	18,980	54,756	20,508
調 剤	355,963	140,752	331,177	130,231	381,828	143,007
食事療養	58,066	22,960	63,046	24,792	62,445	23,388
食事療養歯科	0	0	0	0	0	0
訪問看護	14,851	5,872	18,182	7,150	16,009	5,996
合 計	2,252,389	890,623	2,396,363	942,338	2,528,610	947,046

【成果】療養の給付等は漸増したが、生活習慣病予防等の取り組みにより療養の給付の抑制を図った。

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（収益的支出）	259,602千円	226,696千円

## 水道事業の概要

年間配水量は、1,881,901m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 5.8%の増加、年間給水量は、1,452,162m<sup>3</sup>で、前年度に比べ 3.0%の減少となった。

この結果、年間有収水量率は、77.2%で、前年度に比べ 6.9ポイント減少となった。

事項	R2年度	R3年度	R4年度
年度末給水人口（人）	14,617	14,513	14,353
年度末給水戸数（戸）	5,377	5,418	5,456
年度末給水栓数（栓）	5,949	5,979	6,000
年間配水量（m <sup>3</sup> ）	1,831,335	1,779,310	1,881,901
年間1カ月平均配水量（m <sup>3</sup> ）	152,611	148,276	156,825
年間給水量（m <sup>3</sup> ）	1,498,595	1,497,033	1,452,162
年間1カ月平均給水量（m <sup>3</sup> ）	124,883	124,753	121,014
年間有収水量率（%）	81.8	84.1	77.2

## 1. 収益的収入

(単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	233,389,021	81.5%	261,195,253	89.2%	248,876,974	90.7%
営業外収益	53,140,918	18.5%	31,463,594	10.8%	25,554,679	9.3%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	286,529,939	100.0%	292,658,847	100.0%	274,431,653	100.0%

## 2. 収益的支出

(単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	184,826,358	86.0%	192,007,140	90.4%	202,478,842	89.3%
営業外費用	30,161,031	14.0%	20,360,966	9.6%	24,216,680	10.7%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	214,987,389	100.0%	212,368,106	100.0%	226,695,522	100.0%

【成果】安全な水を安定して供給できるよう、水道施設の適切な維持管理等を行った。  
老朽管の改良工事を進め、修繕費が減額になるよう努めた。

## ●水道料金 収納状況

(単位：千円)

現年	R2年度	R3年度	R4年度
調定	227,301	250,594	243,284
収納	225,205	248,383	240,517
収納率	99.08%	99.12%	98.86%
未収	2,096	2,210	2,767

(単位：千円)

滞納繰越	R2年度	R3年度	R4年度
調定	2,698	2,628	2,992
収納	2,166	1,846	2,148
収納率	80.28%	70.23%	71.79%
未収	532	782	844

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
水道事業会計（資本的支出）	226,650千円	124,326千円

## 1. 資本的収入 (単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
工事負担金	4,994,000	6.7%	3,734,500	4.4%	3,842,560	9.2%
企業債	69,300,000	93.3%	80,800,000	95.6%	38,000,000	90.8%
計	74,294,000	100.0%	84,534,500	100.0%	41,842,560	100.0%

## 2. 資本的支出 (単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	42,065,074	39.5%	149,173,731	70.0%	63,196,861	50.8%
企業債償還金	64,530,333	60.5%	63,786,261	30.0%	61,129,202	49.2%
計	106,595,407	100.0%	212,959,992	100.0%	124,326,063	100.0%

(建設改良費内訳)

- 配水施設等改良費 61,708千円
  - 送水ポンプ場改修工事、配水管改良工事等
    - ・工事請負費 61,708千円
      - 送水ポンプ取替工事（すくも塚送水ポンプ場）
      - 配水管改良工事（さつきヶ丘工区）
      - 連絡管新設工事（北条島米里1、2工区）
      - 配水管移設工事（国道9号工区）ほか
- 営業設備費 1,489千円
  - ・取替量水器購入 1,489千円



配水管改良工事

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（収益的支出）	848,893千円	799,796千円

## 下水道事業の概要

処理区域内人口は、13,985人で、前年度に比べ149人の減少、水洗化率は、92.3%で、前年度に比べ0.6ポイントの上昇となった。

この結果、年間有収水量は1,250,621m<sup>3</sup>で、前年度に比べ約2.3%の減少となった。

事項	R2年度	R3年度	R4年度
行政区域内人口（人）	14,720	14,613	14,451
処理区域内人口（人）	14,231	14,134	13,985
水洗化人口（人）	12,992	12,965	12,904
普及率（%）	100	100	100
水洗化率（%）	91.3	91.7	92.3
年間有収水量（m <sup>3</sup> ）	1,275,088	1,280,092	1,250,621
使用料単価（円/m <sup>3</sup> ）税抜	202.6	202.5	202.4

## 1. 収益的収入

(単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	957,247,556	82.8%	834,168,847	80.8%	767,075,938	79.7%
営業外収益	198,791,784	17.2%	197,940,052	19.2%	195,611,532	20.3%
特別利益	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	1,156,039,340	100.0%	1,032,108,899	100.0%	962,687,470	100.0%

## 2. 収益的支出

(単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	677,344,338	81.0%	673,979,756	82.3%	679,056,301	84.9%
営業外費用	158,897,925	19.0%	144,597,520	17.7%	120,739,238	15.1%
特別損失	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
計	836,242,263	100.0%	818,577,276	100.0%	799,795,539	100.0%

【成果】下水道施設の事故もなく、適切な維持管理等に努めることができた。公共用水域の水質保全の確保及び住民の生活環境の改善に寄与した。

## ●下水道使用料 収納状況 (単位：千円)

現年	R2年度	R3年度	R4年度
調定	284,083	285,135	278,417
収納	281,923	282,949	275,566
収納率	99.24%	99.23%	98.98%
未収	2,160	2,186	2,851

(単位：千円)

滞納繰越	R2年度	R3年度	R4年度
調定	3,430	2,940	3,213
収納	2,644	1,913	2,230
不納欠損	-	-	13
収納率	77.06%	65.05%	69.41%
未収	787	1,028	970



マンホール清掃

会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
下水道事業会計（資本的支出）	1,207,409千円	1,094,518千円

1. 資本的収入 (単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
企業債	19,900,000	6.4%	91,100,000	22.4%	144,500,000	20.4%
他会計出資金	222,758,000	71.0%	247,162,000	60.7%	392,382,000	55.3%
国庫補助金	68,335,000	21.8%	65,609,000	16.1%	170,771,000	24.1%
負担金等	2,589,270	0.8%	3,255,580	0.8%	1,820,120	0.2%
計	313,582,270	100.0%	407,126,580	100.0%	709,473,120	100.0%

2. 資本的支出 (単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	166,706,615	18.3%	140,766,638	15.6%	333,800,078	30.5%
固定資産購入費	1,135,354	0.1%	357,500	0.0%	0	0.0%
企業債償還金	743,841,517	81.6%	760,514,851	84.4%	760,718,028	69.5%
計	911,683,486	100.0%	901,638,989	100.0%	1,094,518,106	100.0%

(建設改良費内訳)

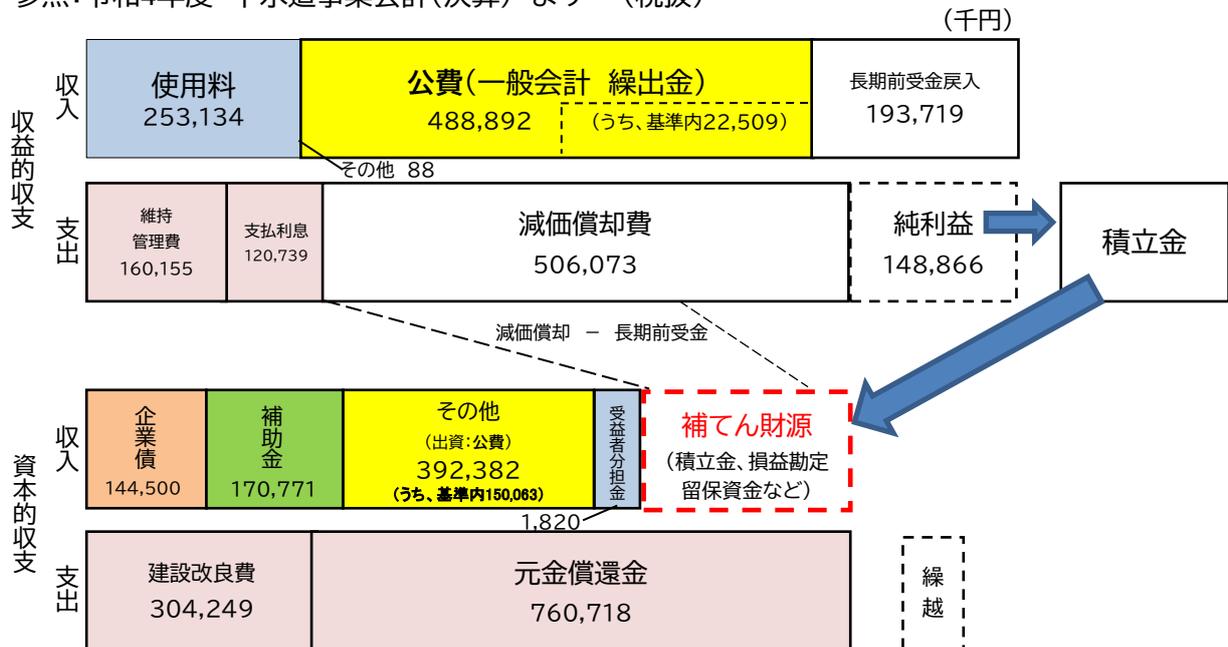
- 管路建設改良費 70,260千円  
(うち北条島公共下水道接続設計業務 12,618千円)
- 処理場建設改良費 261,120千円
- 流域下水道建設費負担金 2,420千円



マンホール蓋修繕工事

\*\*\*\*\*

参照:令和4年度 下水道事業会計(決算)より (税抜)



会 計 名	予 算 現 額	決 算 額
風力発電事業会計（収益的支出）	449,821千円	376,601千円

風力発電事業は、平成17年11月から本格運転を開始し、令和4年度で18年目を迎えている。

1,500kW／9基 総定格出力 13,500kW

1. 収益的収入 (単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業収益	459,496,305	89.8%	408,540,468	91.8%	406,146,243	91.7%
財務収益	2,663,542	0.5%	2,490,517	0.6%	2,520,230	0.6%
事業外収益	49,413,033	9.7%	33,951,531	7.6%	34,271,890	7.7%
計	511,572,880	100.0%	444,982,516	100.0%	442,938,363	100.0%

2. 収益的支出 (単位：円)

事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
営業費用	295,857,847	92.0%	389,653,563	96.2%	358,980,479	95.3%
事業外費用	25,835,100	8.0%	15,194,600	3.8%	17,620,600	4.7%
計	321,692,947	100.0%	404,848,163	100.0%	376,601,079	100.0%

3. 視察・見学者 124人 (11団体)

4. 年間発電量

売電実績 17,994,960kWh

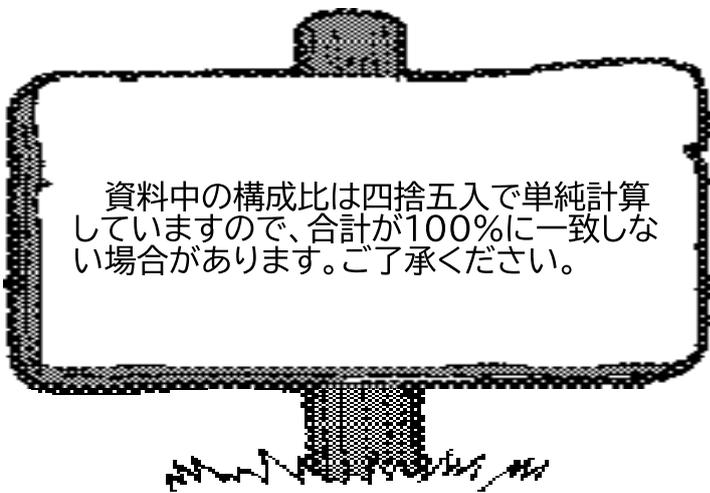
(単位：kWh)

月	過去平均 売電電力量 ①	年間推定 売電電力量 ②	年間売電 電力量 (実績) ③	過去平均と の比較 ③/①	売電電力量 達成率 ③/②
R4.3	2,471,379	2,850,552	1,672,080	67.7%	58.7%
4	1,938,157	1,562,004	1,392,720	71.9%	89.2%
5	1,440,336	1,250,883	983,760	68.3%	78.6%
6	838,979	1,581,444	1,162,800	138.6%	73.5%
7	974,979	1,082,403	714,480	73.3%	66.0%
8	905,996	1,122,174	834,960	92.2%	74.4%
9	1,225,156	1,698,894	1,543,920	126.0%	90.9%
10	1,569,601	1,717,281	1,449,360	92.3%	84.4%
11	1,944,281	2,156,787	1,509,600	77.6%	70.0%
12	2,590,773	2,678,832	2,720,880	105.0%	101.6%
R5.1	2,427,080	3,805,380	1,962,240	80.8%	51.6%
2	2,321,372	2,425,950	2,048,160	88.2%	84.4%
年計	20,648,089	23,932,584	17,994,960	87.2%	75.2%

【成果】風力発電施設の適正な管理を行ったことで、年間7,540tのCO<sub>2</sub>を削減した。  
また、純利益は63,847,284円となった。

会 計 名	予 算 現 額		決 算 額			
風力発電事業会計（資本的支出）	100,000千円		100,000千円			
1. 資本的収入 なし						
2. 資本的支出 (単位：円)						
事項	R2年度		R3年度		R4年度	
	決算額	構成比	決算額	構成比	決算額	構成比
建設改良費	29,731,331	22.2%	0	0.0%	0	0.0%
基金積立金	104,471,343	77.8%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%
計	134,202,674	100.0%	100,000,000	100.0%	100,000,000	100.0%
(内訳)						
○基金積立 100,000千円						
3. 基金 (単位：円)						
R3年度末残高	新規積立	取り崩し	R4年度末現在高			
882,654,735	100,000,000	0	982,654,735			

# 資 料 編



資料中の構成比は四捨五入で単純計算  
していますので、合計が100%に一致しな  
い場合があります。ご了承ください。

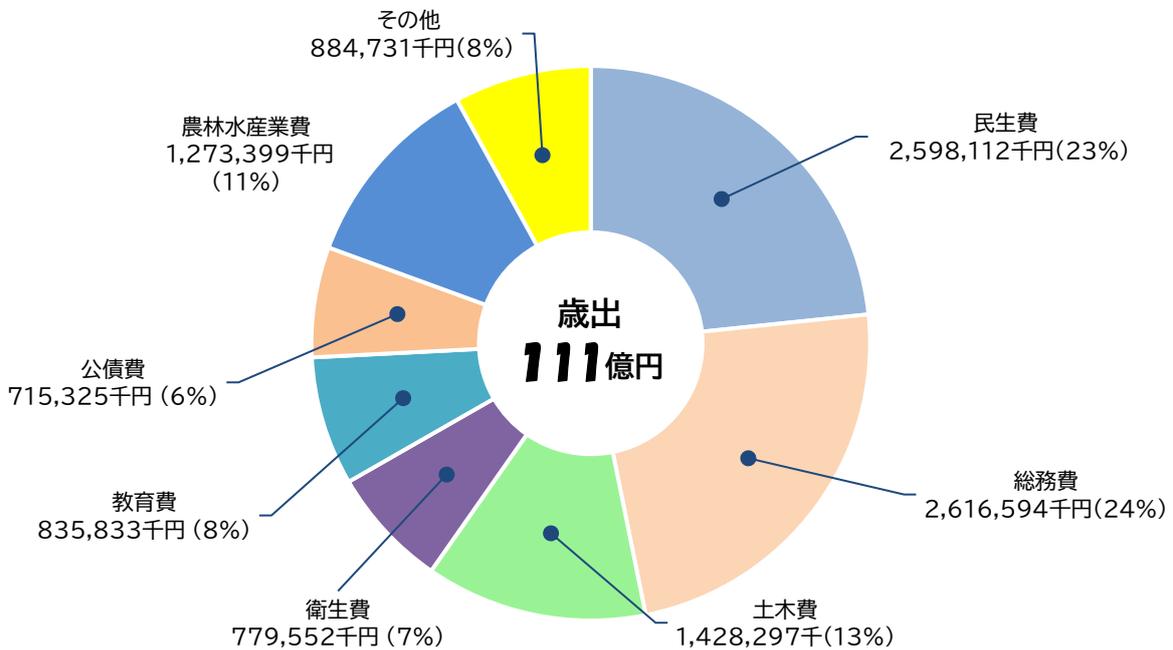
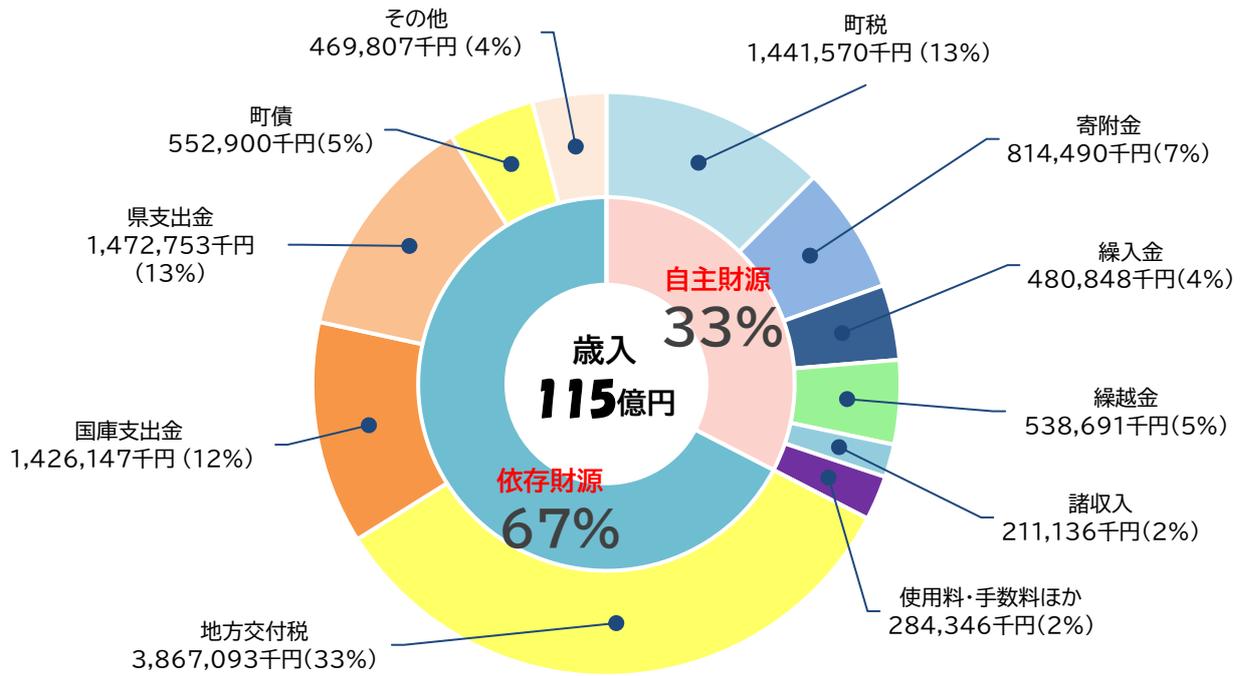
# 令和4年度各会計別決算状況

(単位:千円)

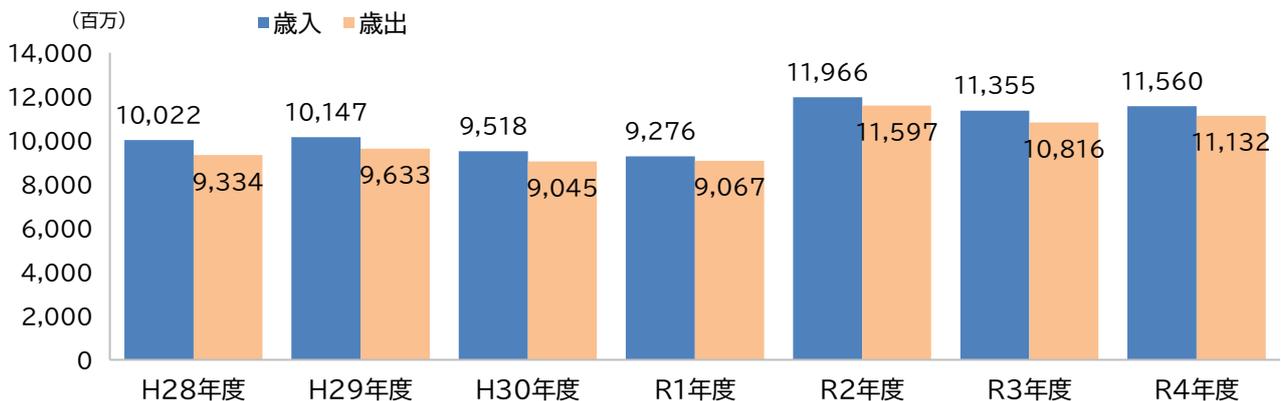
会 計 名	予算現額 (A)	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額 (D-E) (F)	予算に対する決算額の比率	
					通次繰越	明許繰越	事故繰越		歳入(B/A)	歳出(C/A)
一般会計	12,179,016	11,559,781	11,131,843	427,938	0	140,537	0	287,401	94.9	91.4
国民健康保険事業特別会計	2,058,808	1,873,520	1,815,632	57,888	0	0	0	57,888	91.0	88.2
介護保険事業特別会計	1,780,348	1,740,707	1,586,073	154,634	0	0	0	154,634	97.8	89.1
農業集落排水事業特別会計	14,591	13,874	13,874	0	0	0	0	0	95.1	95.1
栄財産区特別会計	585	654	189	465	0	0	0	465	111.8	32.3
合併処理浄化槽事業特別会計	8,039	7,698	7,698	0	0	0	0	0	95.8	95.8
大栄歴史文化学習館特別会計	81,369	88,462	75,024	13,438	0	0	0	13,438	108.7	92.2
後期高齢者医療事業特別会計	210,077	207,096	206,407	689	0	0	0	689	98.6	98.3
台 計	16,332,833	15,491,792	14,836,740	655,052	0	140,537	0	514,515	94.9	90.8

会 計 名	歳入総額 (B)	歳出総額 (C)	歳入歳出差引額 (B-C)(D)	翌年度へ繰り越すべき財源			実質収支額 (D-E) (F)
				通次繰越	建設改良繰越	事故繰越	
水道事業会計	274,432	226,696	47,736	0	0	0	47,736
資本的収支	41,843	124,326	△ 82,483	0	0	0	△ 82,483
下水道事業会計	962,687	799,796	162,891	0	0	0	162,891
資本的収支	709,473	1,094,518	△ 385,045	0	0	0	△ 385,045
風力事業会計	442,938	376,601	66,337	0	0	0	66,337
資本的収支	0	100,000	△ 100,000	0	0	0	△ 100,000

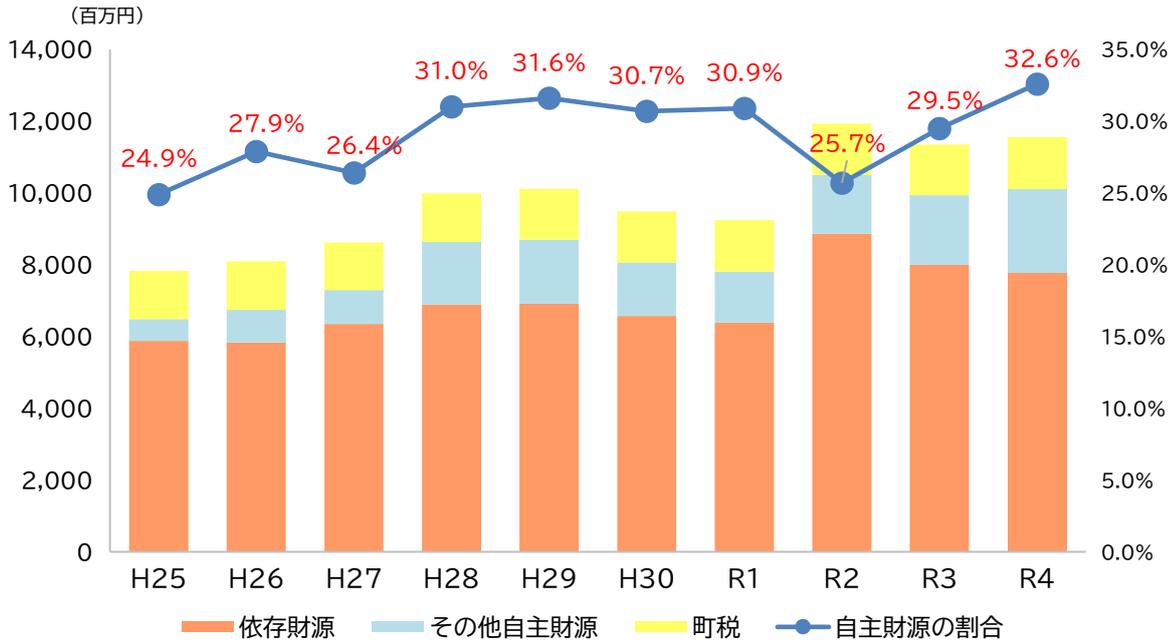
# 令和4年度決算(一般会計)



# 決算規模の推移(一般会計)



# 歳入決算額の推移（一般会計）



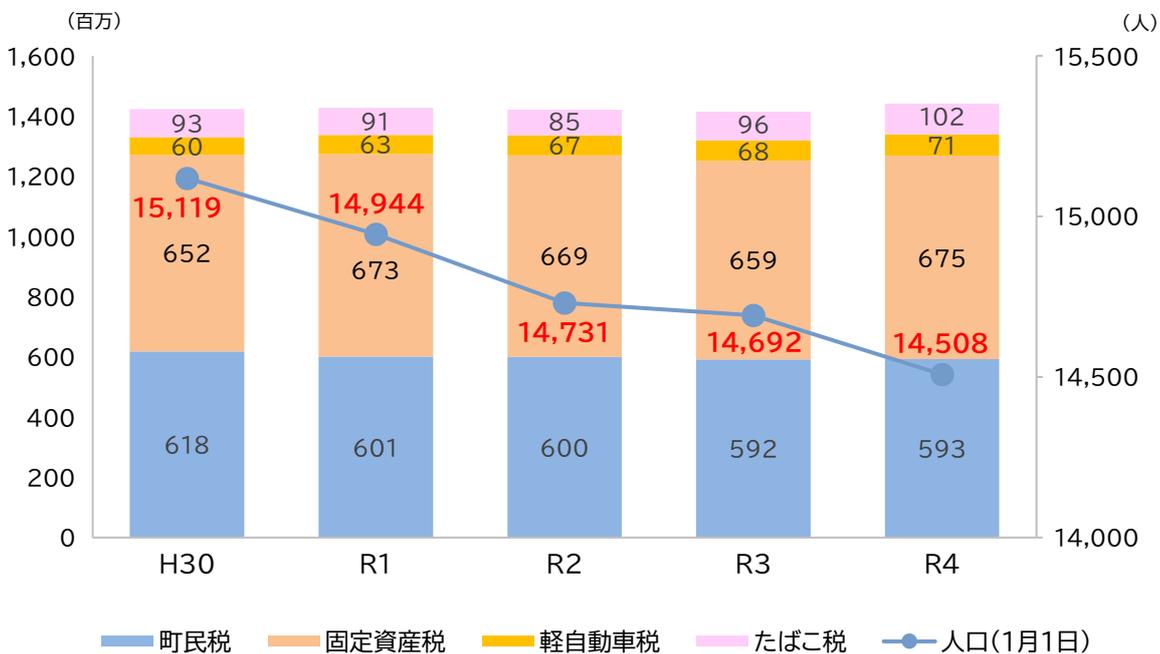
自主財源

町税や使用料、手数料など、地方自治体が自主的に集めることができる収入です。

依存財源

地方交付税や国庫支出金、借入金（町債）など、国や県から交付されたり割り当てられる収入です。

# 町税と人口の推移



# 普通会計決算状況(地方財政状況調査より)

## 歳入決算額

(単位:千円、%)

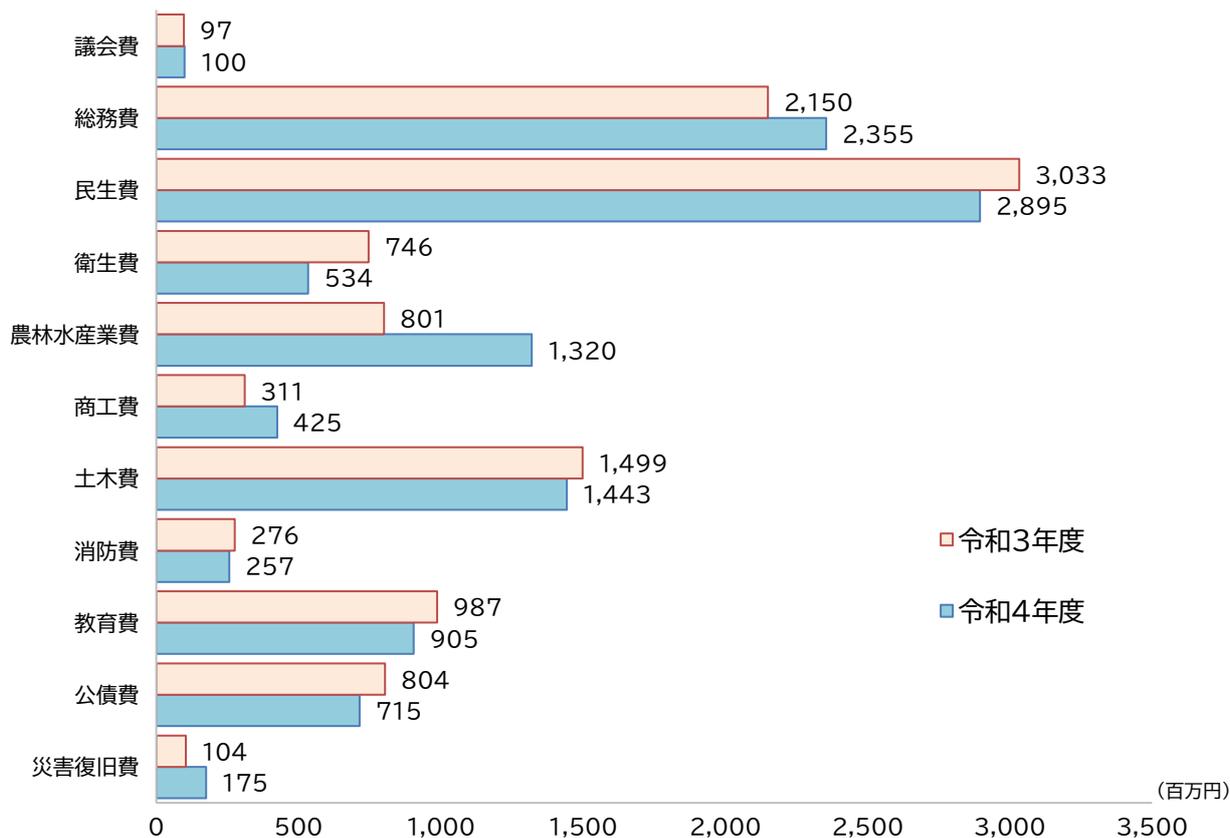
区分	令和4年度決算額		令和3年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
<b>1 自主財源</b>	<b>3,763,411</b>	<b>32.6</b>	<b>3,345,536</b>	<b>29.5</b>	<b>417,875</b>	<b>12.5</b>
町税	1,441,570	12.5	1,415,310	12.5	26,260	1.9
寄附金	814,490	7.1	753,382	6.6	61,108	8.1
繰入金	477,019	4.1	453,586	4.0	23,433	5.2
繰越金	538,691	4.7	369,295	3.3	169,396	45.9
諸収入	200,346	1.7	252,640	2.2	△ 52,294	△ 20.7
使用料及び手数料	68,635	0.6	71,363	0.6	△ 2,728	△ 3.8
財産収入	208,594	1.8	19,313	0.2	189,281	980.1
分担金及び負担金	14,066	0.1	10,647	0.1	3,419	32.1
<b>2 依存財源</b>	<b>7,788,700</b>	<b>67.4</b>	<b>8,001,499</b>	<b>70.5</b>	<b>△ 212,799</b>	<b>△ 2.7</b>
地方交付税	3,867,093	33.5	3,977,293	35.1	△ 110,200	△ 2.8
国庫支出金	1,426,147	12.3	1,720,166	15.2	△ 294,019	△ 17.1
県支出金	1,472,753	12.7	949,073	8.4	523,680	55.2
町債	552,900	4.8	872,730	7.7	△ 319,830	△ 36.6
地方消費税交付金	327,410	2.8	318,156	2.8	9,254	2.9
地方譲与税	91,653	0.8	91,735	0.8	△ 82	△ 0.1
地方特例交付金	12,646	0.1	31,805	0.3	△ 19,159	△ 60.2
法人事業税交付金	15,002	0.1	12,136	0.1	2,866	23.6
株式等譲渡所得割交付金	5,523	0.0	9,024	0.1	△ 3,501	△ 38.8
配当割交付金	6,963	0.2	8,650	0.1	△ 1,687	△ 19.5
自動車取得税交付金	4	0.0	0	0.0	4	-
自動車税環境性能割交付金	7,956	0.1	7,325	0.1	631	8.6
交通安全対策特別交付金	1,757	0.0	1,975	0.0	△ 218	△ 11.0
利子割交付金	893	0.0	1,431	0.0	△ 538	△ 37.6
<b>歳入合計</b>	<b>11,552,111</b>	<b>100.0</b>	<b>11,347,035</b>	<b>100.0</b>	<b>205,076</b>	<b>1.8</b>

※引き上げ分の地方消費税収(192,273千円)は、社会保障施策に要する経費の財源となります。

# 歳出決算額(目的別)

(単位:千円、%)

目的別	令和4年度決算額		令和3年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 議会費	99,875	0.9	97,357	0.9	2,518	2.6
2 総務費	2,355,215	21.2	2,150,238	19.9	204,977	9.5
3 民生費	2,894,891	26.0	3,033,425	28.1	△ 138,534	△ 4.6
4 衛生費	533,829	4.8	746,485	6.9	△ 212,656	△ 28.5
5 労働費	0	0.0	0	0.0	0	-
6 農林水産業費	1,319,831	11.9	800,554	7.4	519,277	64.9
7 商工費	424,536	3.8	310,850	2.9	113,686	36.6
8 土木費	1,443,369	13.0	1,499,137	13.9	△ 55,768	△ 3.7
9 消防費	256,974	2.5	276,012	2.6	△ 19,038	△ 6.9
10 教育費	905,472	9.1	986,726	9.1	△ 81,254	△ 8.2
11 公債費	715,325	6.4	803,888	7.4	△ 88,563	△ 11.0
12 災害復旧費	174,856	1.6	103,672	1.0	71,184	68.7
歳出合計	11,124,173	100.0	10,808,344	100.0	315,829	2.9

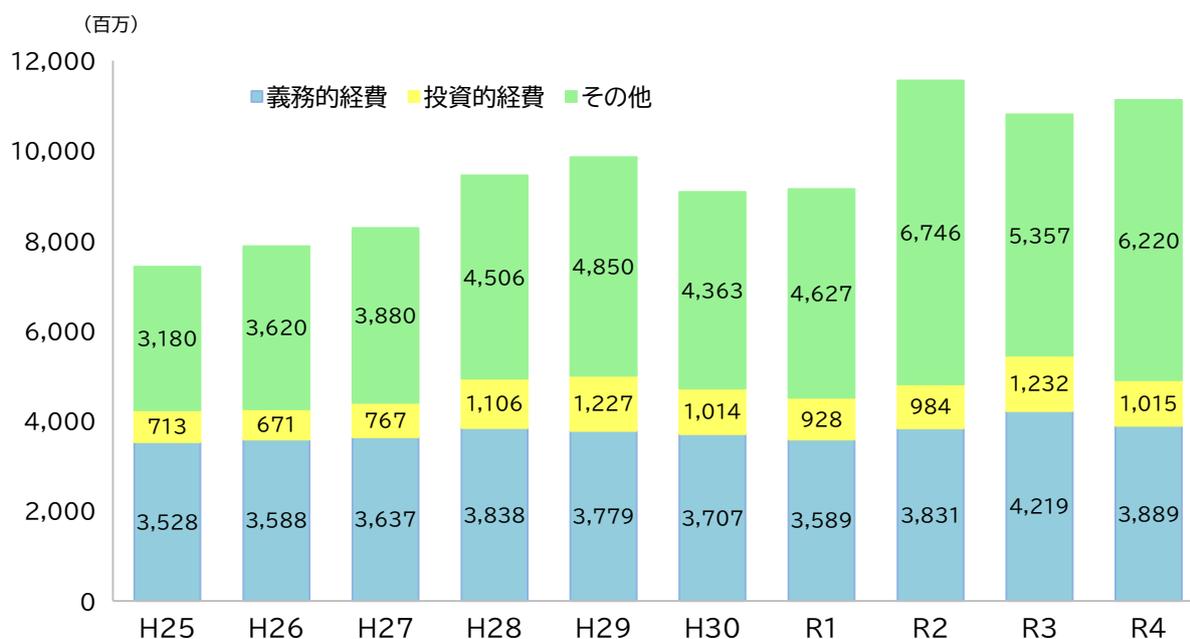


# 歳出決算額(性質別)

(単位:千円、%)

性質別	令和4年度決算額		令和3年度決算額		比較 (A-B)	増減率 (A/B)
	金額(A)	構成比	金額(B)	構成比		
1 人件費	1,890,490	17.0	1,864,801	17.3	25,689	1.4
2 物件費	1,435,436	12.9	1,415,322	13.1	20,114	1.4
3 維持補修費	46,243	0.4	72,096	0.7	△ 25,853	△ 35.9
4 扶助費	1,283,237	11.5	1,550,387	14.3	△ 267,150	△ 17.2
5 補助費等	2,772,101	24.9	2,164,412	20.0	607,689	28.1
6 普通建設事業費	839,878	7.6	1,128,224	10.4	△ 288,346	△ 25.6
7 災害復旧費	174,856	1.6	103,672	1.0	71,184	68.7
8 公債費	715,325	6.4	803,888	7.4	△ 88,563	△ 11.0
9 積立金	930,829	8.4	825,008	7.6	105,821	12.8
10 投資及び出資金	393,382	3.5	247,162	2.3	146,220	59.2
11 貸付金	16,850	0.2	16,900	0.2	△ 50	△ 0.3
12 繰出金	625,546	5.6	616,472	5.7	9,074	1.5
歳出合計	11,124,173	100.0	10,808,344	100.0	315,829	2.9

※下水道事業繰出金(881,274千円)を決算統計において補助費等(488,892千円)、投資及び出資金(392,382千円)として計上しています。

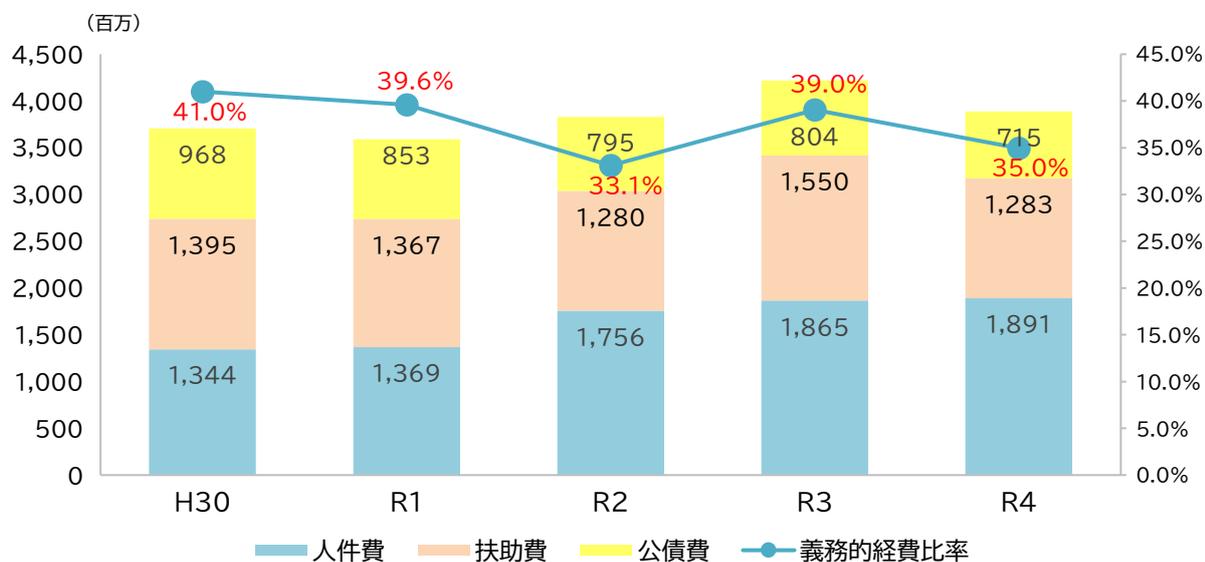


## 義務的経費の推移

### 義務的経費

人件費、扶助費、公債費は毎年支出が義務付けられ、節減することが難しい経費です。

義務的経費の割合が高くなると、自由に使えるお金が少なくなります。そうすると、新たな事業やサービスなどが難しくなります。

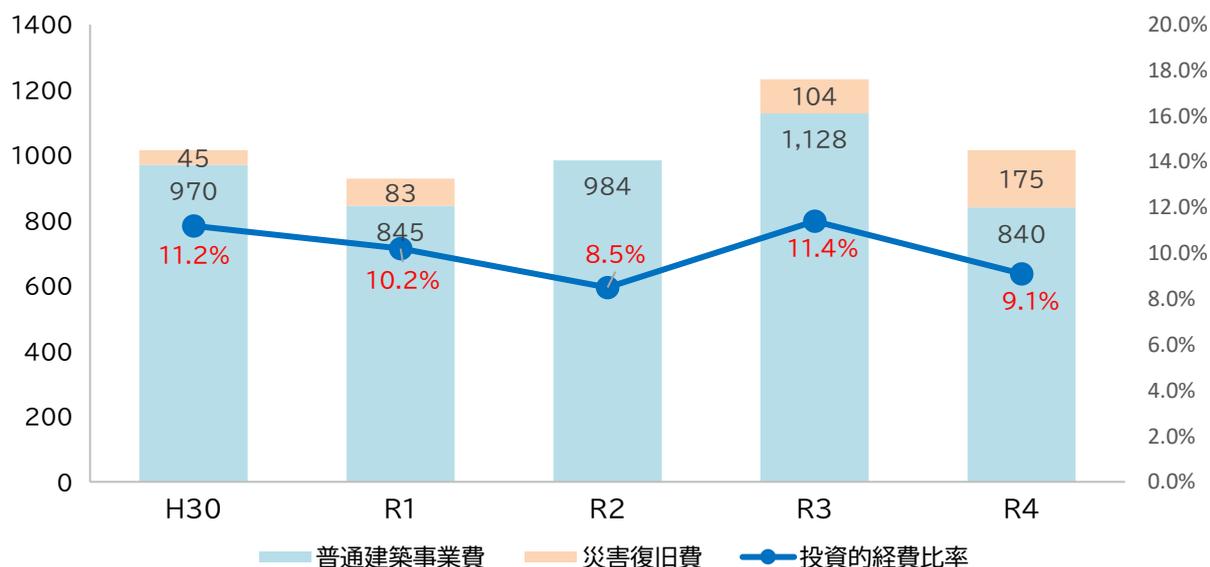


## 投資的経費の推移

### 投資的経費

道路や施設など将来に残るものに支出される経費です。

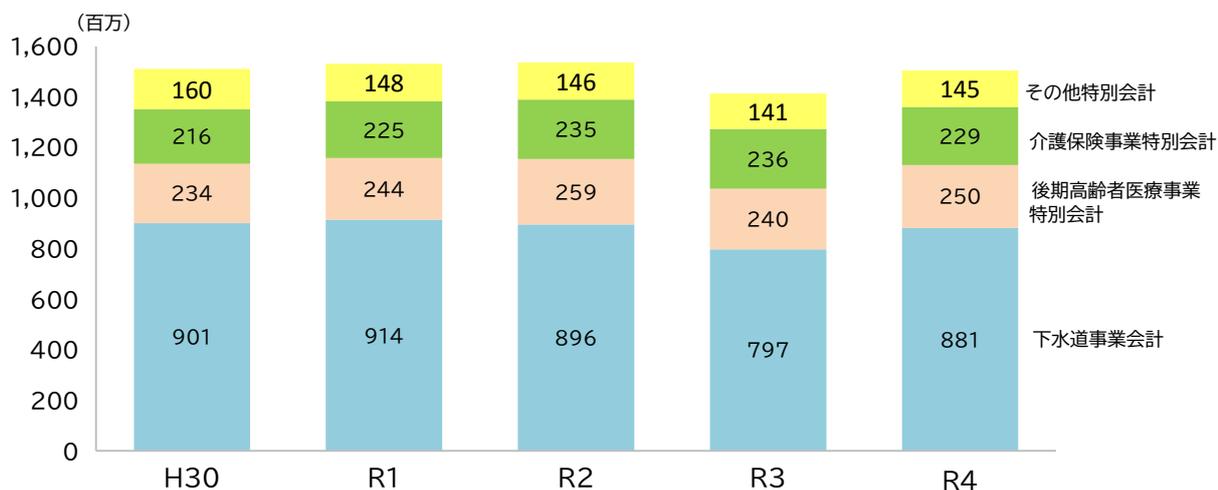
通常は、道路や公園、学校、公民館その他の公共用施設の増設や大規模修繕、大型備品の購入などに要する経費（普通建築事業費）です。



## 繰出金の推移

(単位:千円)

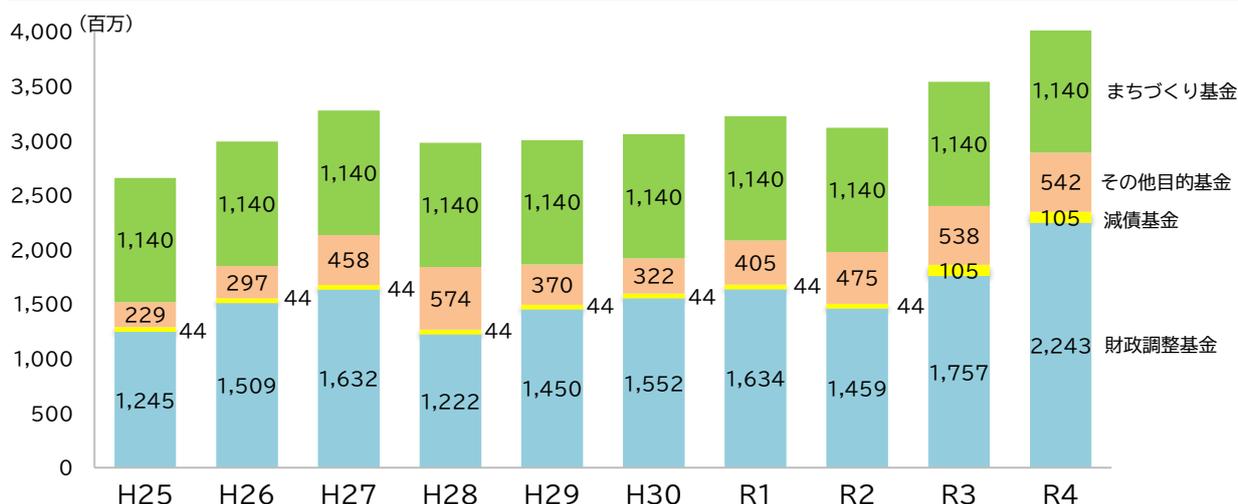
区 分	H30	R1	R2	R3	R4
下水道事業会計	901,187	914,338	896,215	796,638	881,274
後期高齢者医療事業特別会計	234,429	244,212	258,908	239,602	250,326
介護保険事業特別会計	216,479	224,557	235,353	235,630	229,038
国民健康保険事業特別会計	134,117	133,980	132,539	128,061	130,869
農業集落排水事業特別会計	9,135	9,209	9,135	11,916	9,437
合併処理浄化槽事業特別会計	3,995	4,609	4,441	1,263	4,995
大栄歴史文化学習館特別会計	12,932	0	0	0	0
合 計	1,512,274	1,530,905	1,536,591	1,413,110	1,505,939



## 基金残高の推移

(単位:千円)

区 分	H30	R1	R2	R3	R4
財政調整基金	1,551,691	1,633,660	1,459,187	1,756,617	2,243,386
減 債 基 金	44,049	44,058	44,062	104,680	104,684
そ の 他 目 的 基 金	321,750	404,732	474,502	537,876	542,341
ま ち づ く り 基 金	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000	1,140,000
合 計	3,057,490	3,222,450	3,117,751	3,539,173	4,030,411

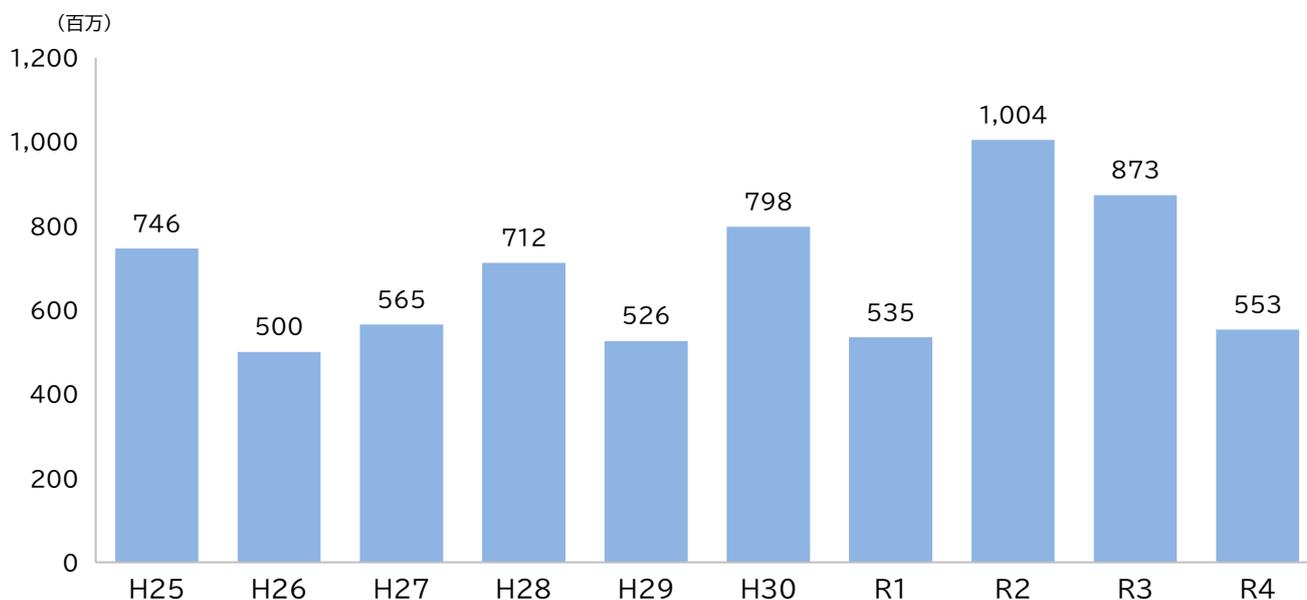


## 地方債残高の内訳

(単位:千円)

区 分	令和3年度末 現在高	令和4年度 発行額	令和4年度 元金償還額	令和4年度末 現在高
一般会計債	7,463,965	552,900	689,452	7,327,413
1 普通債	4,548,993	537,800	365,598	4,721,195
2 災害復旧	137,731	15,100	23,626	129,205
3 その他	2,777,241	0	300,228	2,477,013
(1) 減収補てん債	15,549	0	0	15,549
(2) 臨時財政対策債	2,750,236	0	295,697	2,454,539
(3) 減税補てん債	11,456	0	4,531	6,925

## 地方債年度別借入額の推移



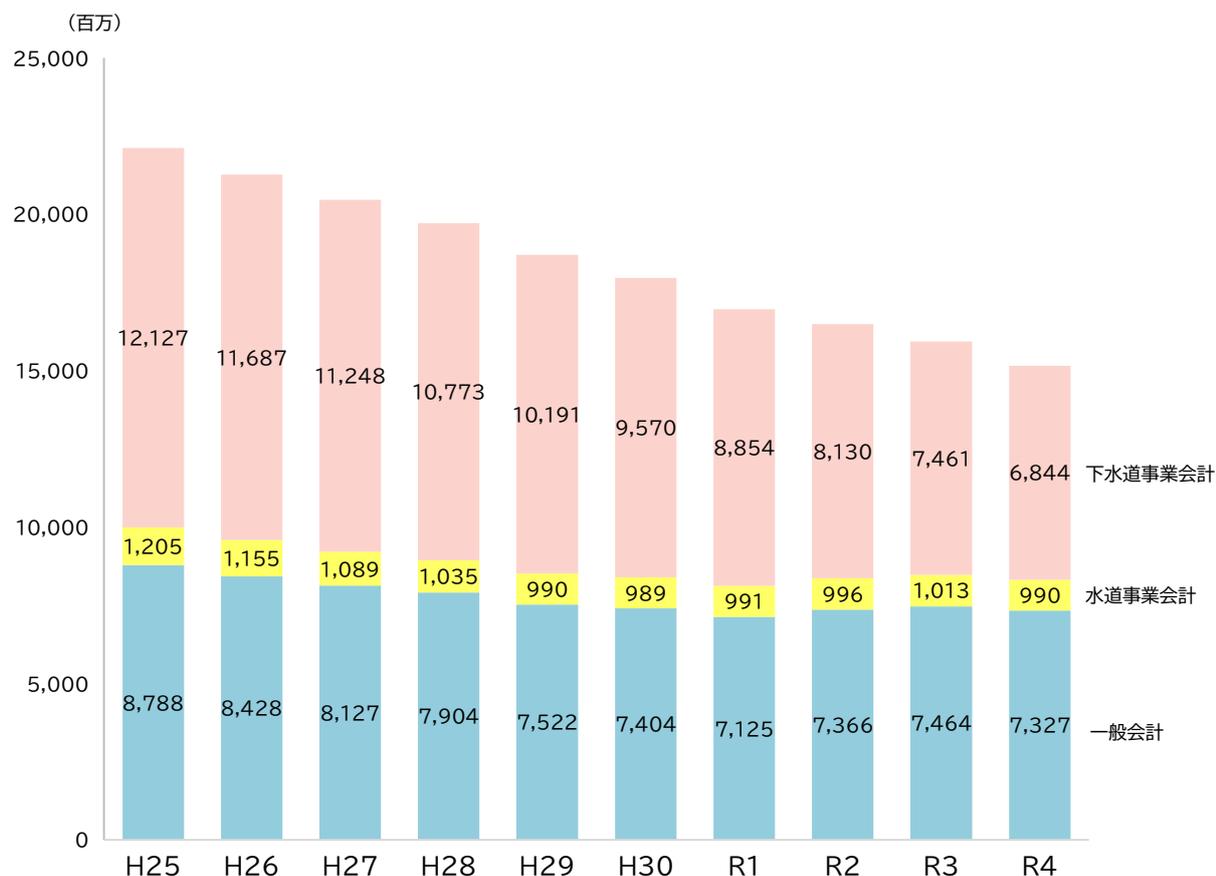
公共施設の整備には一時的に多額のお金が必要になります。これをその年度の収入だけで賄うと、ほかのサービスが提供できなくなる可能性があります。また、整備した施設は現在の町民だけでなく、将来の町民も利用するものであるため、負担の公平性を図る観点から、町債（借金）を活用し、世代間で平等に費用を負担します。

## 地方債残高の推移(各会計)

会 計 名	H30	R1	R2	R3	R4
一 般 会 計	7,404	7,125	7,366	7,464	7,327
特 別 会 計	104	92	80	69	57
住宅新築資金等貸付事業特別会計	2	1	0	0	0
農業集落排水事業特別会計	60	51	42	33	23
介護保険事業特別会計	0	0	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	42	40	38	36	34
大栄歴史文化学習館特別会計	0	0	0	0	0
公 営 企 業 会 計	10,559	9,845	9,126	8,474	7,834
水 道 事 業 会 計	989	991	996	1,013	990
下 水 道 事 業 会 計	9,570	8,854	8,130	7,461	6,844
風 力 発 電 事 業 会 計	0	0	0	0	0
合 計	18,067	17,062	16,572	16,007	15,218

※ 一般会計及び特別会計は出納閉鎖の5月末時点。

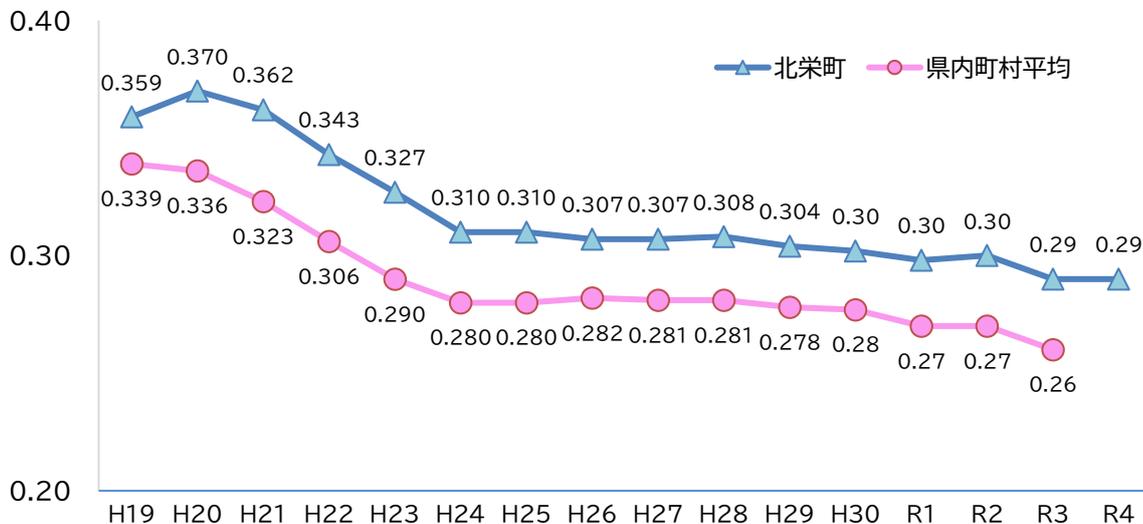
※ 公営企業会計は3月末時点。(下水道事業会計、風力発電事業会計はR1から公営企業会計に移行。)



## 財政力指数の推移

### 財政力指数

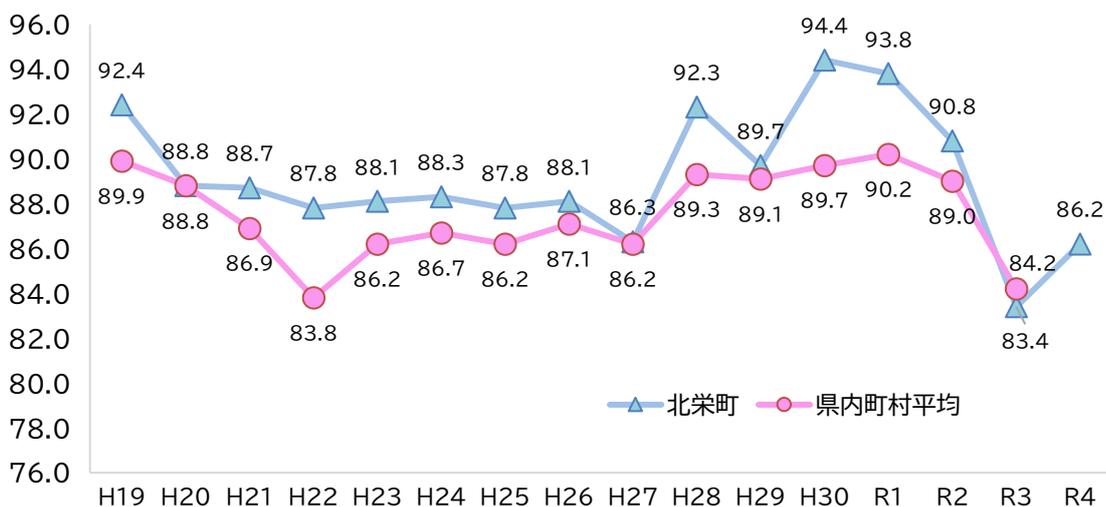
地方公共団体の財政力を示す指数。標準的な行政サービスを行うために必要な財源を、どの程度自力で調達できるかを示します。  
 ★この数値が大きいほど財政力が強く、1未満の場合は国から普通交付税が交付されます。



## 経常収支比率の推移

### 経常収支比率

地方税、普通交付税のように用途が特定されておらず、毎年度経常的に収入される財源のうち、人件費、扶助費、公債費のように義務的に支出される経費に充てた割合。  
 ★財政構造の弾力性を示す指標で、この比率が低いほど弾力性が大きいことを示します。



# 健全化判断比率及び資金不足比率の状況

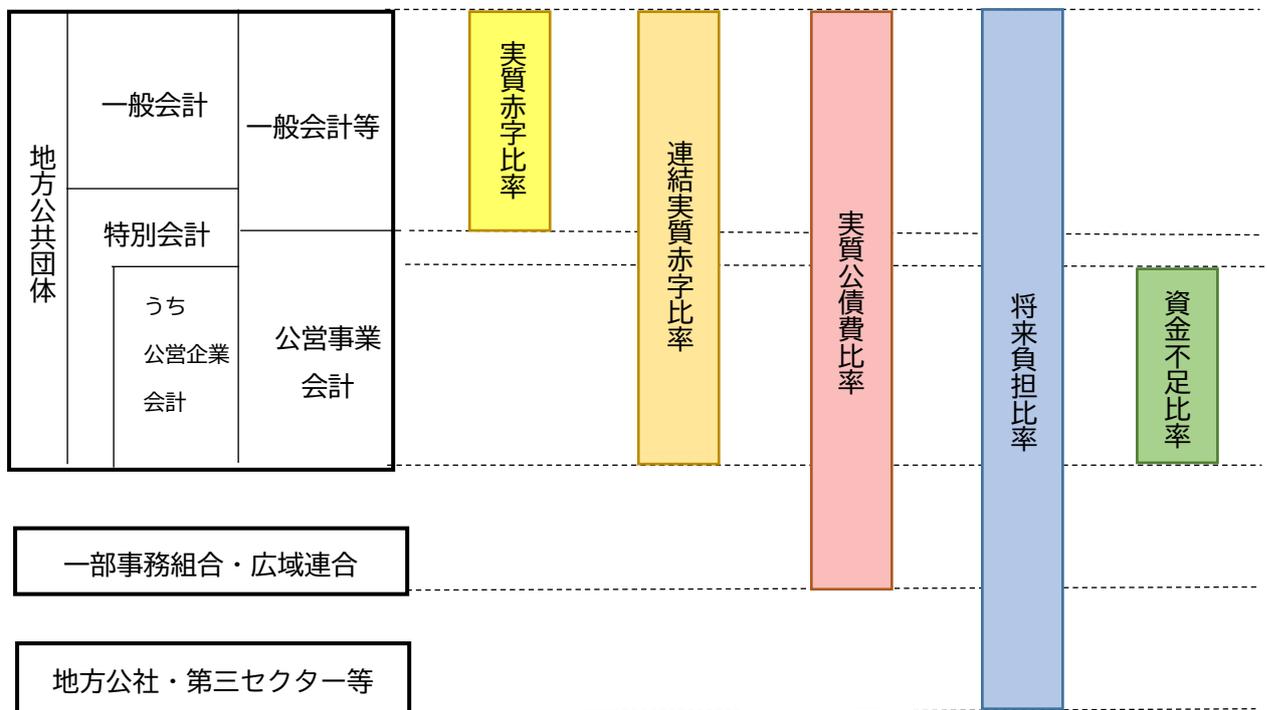
## 1 概要

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律（平成 19 年 6 月 22 日公布）」に基づき算定するもので、地方公共団体の財政の健全度を表す「健全化判断比率（①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率 ④将来負担比率）と公営企業の健全度を表す「資金不足比率」を公表します。

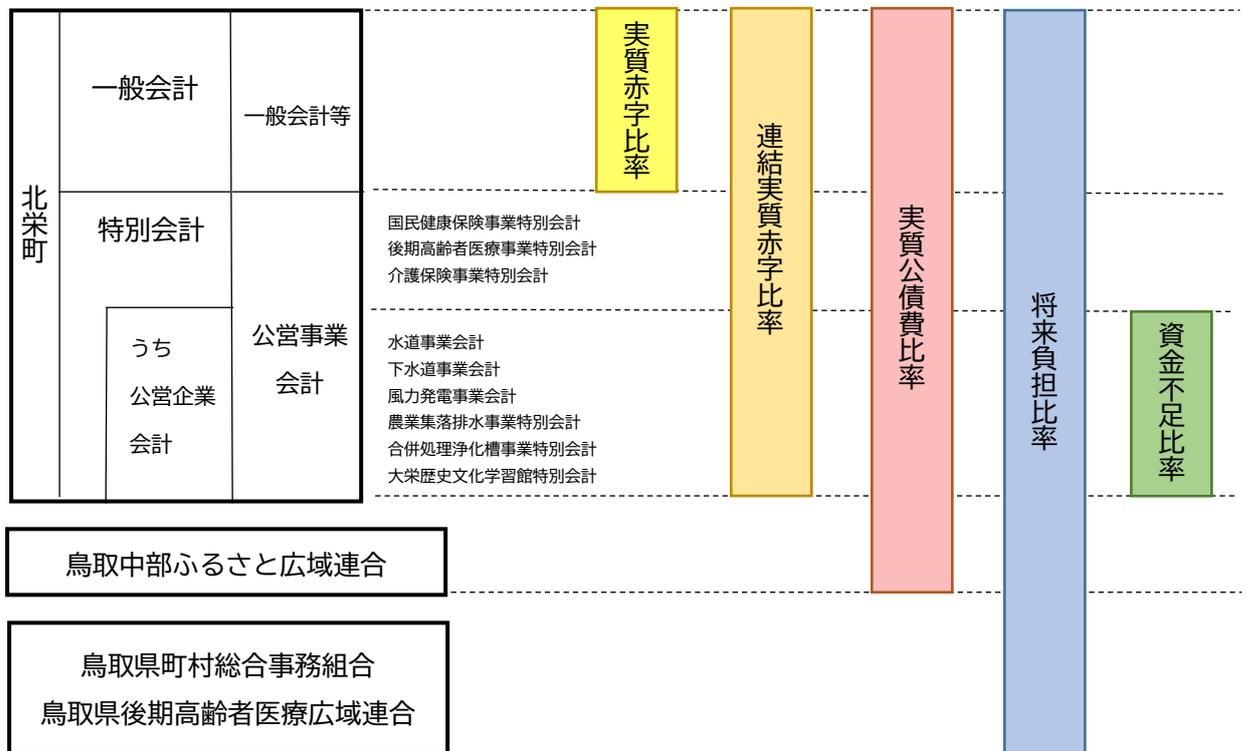
※毎年度、監査委員の審査に付した上で、議会に報告し、公表しなければならないとされています。

## 2 対象会計

≪総務省で示している対象会計≫



《北栄町の会計に置き換え》



※地方公社・第三セクター等…債務保証及び損失補償契約を締結していないことから除外

### 3 令和4年度決算に係る健全化判断比率及び資金不足比率の算定結果

令和4年度決算に基づいて、健全化判断比率を算定したところ、いずれも国の示した早期健全化基準を大きく下回っており、「健全」な状況となっています。

指標		令和4年度	令和3年度	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	①実質赤字比率	— (赤字なし)	— (赤字なし)	14.67%※	20%
	②連結実質赤字比率	— (赤字なし)	— (赤字なし)	19.67%※	30%
	③実質公債費比率	9.9%	10.4%	25%	35%
	④将来負担比率	47.4%	64.8%	350%	
⑤資金収支比率		— (資金不足なし)	— (資金不足なし)	経営健全化基準 20%	

※実質収支または連結実質収支は黒字であるため、「-」表示となります。

### ①実質赤字比率

実質赤字比率とは、地方公共団体の一般会計等の赤字額を標準財政規模の額で除して赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{実質赤字比率} = \frac{\text{一般会計等の実質赤字額（実質収支額）}}{\text{標準財政規模}}$$

(単位：千円)

区 分		実質収支額			
		令和4年度	令和3年度	増減額	増減率
一般会計等	一般会計	287,401	377,790	△90,389	△23.9%
	住宅新築資金等特別会計	—	0	—	—
計		287,401	377,790	△90,389	
標準財政規模		5,547,134	5,737,156	△190,022	△3.3%
実質赤字比率 (%)		—	—	—	—

※実質収支＝歳入総額－歳出総額－翌年度へ繰り越すべき財源

※住宅新築資金等特別会計は令和3年度末廃止

令和4年度の実質赤字比率は、一般会計等の実質収支が黒字だったため、算定されませんでした。

### ②連結収支赤字比率

連結実質赤字比率とは、すべての会計の黒字や赤字を合算し、標準財政規模の額で除して地方公共団体としての赤字の程度を指標化し、財政運営の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{連結実質赤字比率} = \frac{\text{連結実質赤字額（実質収支額または資金不足額・剰余額）}}{\text{標準財政規模}}$$

(単位：千円)

区 分	実質収支額		
	令和4年度	令和3年度	増減率
一般会計	287,401	377,790	△23.9%
住宅新築資金貸付事業特別会計	—	0	—
国民健康保険事業特別会計	57,888	104,622	△44.7%
後期高齢者医療事業特別会計	689	313	120.1%
介護保険事業特別会計	154,634	69,064	123.9%
水道事業会計	407,068	350,574	16.1%
下水道事業特別会計	355,939	265,737	33.9%
風力発電事業会計	327,653	306,591	6.9%
農業集落排水事業特別会計	0	0	0
合併処理浄化槽事業特別会計	0	0	0
大栄歴史文化学習館特別会計	13,438	0	0
計	1,604,710	1,474,691	
標準財政規模	5,547,134	5,737,156	△3.3%
実質赤字比率 (%)	—	—	—

令和4年度の連結実質赤字比率は、すべての会計において、実質収支は黒字で資金不足が生じた会計はなかったため、算定されませんでした。

### ③実質公債費比率

実質公債費比率とは、借入金の返済額およびこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。この比率が高まると財政の弾力化が低下し、他の経費を削減しないと収支が悪化し、赤字団体になる可能性が高まります。

$$\text{実質公債費比率} = \frac{\text{公債費及び公債費に準ずる額} - \text{特定財源} - \text{普通交付税算入額}}{\text{標準財政規模} - \text{普通交付税算入額}}$$

## 分子の計算

(単位：千円)

項 目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	増減額
①公債費の元利償還金の額	715,325	803,888	795,072	△88,563
②積立不足額を考慮して算定した額	0	0	0	0
③満期一括償還の元金償還金	0	0	0	0
④公営企業の公債費に要する繰入金	766,095	703,146	815,592	62,949
⑤一部事務組合等の公債費負担金等	22,887	18,365	15,505	4,522
⑥公債費に準ずる債務負担行為	1,122	1,452	1,714	△330
⑦一時借入金利息	0	0	0	0
公債費等額(①～⑦の計) A	1,505,429	1,526,851	1,627,883	△21,422
⑧特定財源 B	3,651	3,473	3,120	178
⑨普通交付税算入額 C	1,039,139	1,130,858	1,148,840	△91,719
分子計(A-B-C)	462,639	392,520	475,923	70,119

## 分母の計算

項 目	令和4年度	令和3年度	令和2年度	増減額
⑩標準財政規模 D	5,547,134	5,737,156	5,505,444	△190,022
⑪普通交付税算入額 E	1,039,139	1,130,858	1,148,840	△91,719
分母計(D-E)	4,507,995	4,606,298	4,356,604	△98,303

過去3カ年の実質公債費比率は、令和2年度が10.9%、令和3年度が8.5%、令和4年度が10.3%で、3カ年の平均は9.9%となり、早期健全化基準の25.0%を大きく下回っており、良好な状況となっています。

## ◆単年度比率

$$\text{令和2年度} = \frac{A \ 1,627,883 - B \ 3,120 - C \ 1,148,840}{D \ 5,505,444 - E \ 1,148,840} = \frac{475,923}{4,356,604} = 10.9\%$$

$$\text{令和3年度} = \frac{A \ 1,526,851 - B \ 3,473 - C \ 1,130,858}{D \ 5,737,156 - E \ 1,130,858} = \frac{392,520}{4,606,298} = 8.5\%$$

$$\text{令和4年度} = \frac{A \ 1,505,429 - B \ 3,651 - C \ 1,039,139}{D \ 5,547,134 - E \ 1,039,139} = \frac{462,639}{4,507,995} = 10.3\%$$

令和4年度実質公債費比率（3カ年平均） = 9.9%

令和4年度決算では、令和3年度の10.4%に対し0.5%減の9.9%となりました。  
また、単年度の比率は、令和3年度の単年度比率に対して1.8%の増となっています。  
単年度の比率が、令和3年度と比較して増となった主な原因は次のとおりです。

（分子：+70,119千円）

- ・普通交付税算入額が91,719千円の減

（分母：△98,303千円）

- ・標準財政規模が190,022千円の減

以上のように、分子の増加、分母の減少により、単年度比率では約1.8%の増加となっています。過去のピーク時である平成21年度の22.4%と比較すると、12.5%減少しています。

#### ④将来負担比率

将来負担比率とは、地方公共団体の一般会計等の借入金（地方債）や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来財政を圧迫する可能性の度合いを示すものです。この比率が高い場合は、標準財政規模に比べ将来負担額が大きいということであり、今後、実質公債費比率が増大することにより、財政上の問題が生じる可能性が高くなります。

$$\text{将来負担比率} = \frac{\text{将来負担額} - \text{充当可能財源等}}{\text{標準財政規模} - \text{算入公債費等の額}}$$

分子の計算

（単位：千円）

項目	令和4年度	令和3年度	増減額
①地方債の残高	7,327,413	7,463,965	△136,552
②債務負担行為に基づく支出予定額	3,201	4,322	△1,121
③公営企業債等繰入見込額	5,821,333	6,433,343	△612,010
④組合等負担等見込額	211,727	232,237	△20,510
⑤退職手当負担見込額	754,830	798,437	△43,607

⑥設立法人の負債額等負担見込額	0	0	0
⑦連結実質赤字額	0	0	0
⑧組合等実質赤字負担見込額	0	0	0
将来負担額（①～⑧の計）A	14,118,504	14,932,304	△813,800
⑨充当可能基金	3,222,754	2,580,529	642,225
⑩充当可能特定収入	362,734	365,426	△2,692
⑪基準財政需要額算入見込額	8,395,406	8,998,822	△603,416
充当可能財源等B（⑨～⑪の計）	11,980,894	11,944,777	36,117
分子 計（A－B）	2,137,610	2,987,527	△849,917

分母の計算

項 目	令和4年度	令和3年度	増減額
⑫標準財政規模 C	5,547,134	5,737,156	△190,022
⑬普通交付税算入額 D	1,039,139	1,130,858	△91,719
分母 計（C－D）	4,507,995	4,606,298	△98,303

◆将来負担比率

$$\text{将来負担比率} = \frac{A \ 14,118,504 - B \ 11,980,894}{C \ 5,547,134 - D \ 1,039,139} = \frac{2,137,610}{4,507,995} = 47.4\%$$

令和4年度将来負担比率 = 47.4%

令和4年度決算では、令和3年度の64.8%に対し17.4%減の47.4%となりました。  
令和3年度と比較して減となった主な原因は次のとおりです。

（分子：△849,917千円）

- ・ 公営企業債等繰出見込額が612,010千円の減
- ・ 地方債の残高が136,552千円の減

（分母：△98,303千円）

- ・ 標準財政規模が190,022千円の減

以上のように、分子の減少、分母の微減により、単年度比率では17.4%の減少となっています。過去のピーク時である平成20年度の205.3%と比較すると、157.9%減少しています。今後しばらくは現在の水準が続くと見込んでいます。

#### ⑤資金不足比率の状況

資金不足比率とは、公営企業の資金不足額または剰余額を、公営企業の事業規模である料金収入等の規模と比較して指標化し、経営状況の悪化の度合いを示すものです。

$$\text{資金不足比率} = \frac{\text{資金不足額または剰余額}}{\text{事業規模}}$$

(単位：千円)

区 分	令和4年度			令和3年度		
	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率	資金不足額 または剰余額	事業規模	資金 不足 比率
水道事業会計	407,068	226,508	—	350,574	238,199	—
下水道事業会計	355,939	255,792	—	265,737	262,620	—
風力発電事業会計	327,653	369,223	—	306,591	371,400	—
農業集落排水事業特別会計	0	4,437	—	0	4,415	—
合併処理浄化槽事業特別会計	0	2,703	—	0	2,864	—
大栄歴史文化学習館特別会計	13,438	81,853	—	0	46,949	—

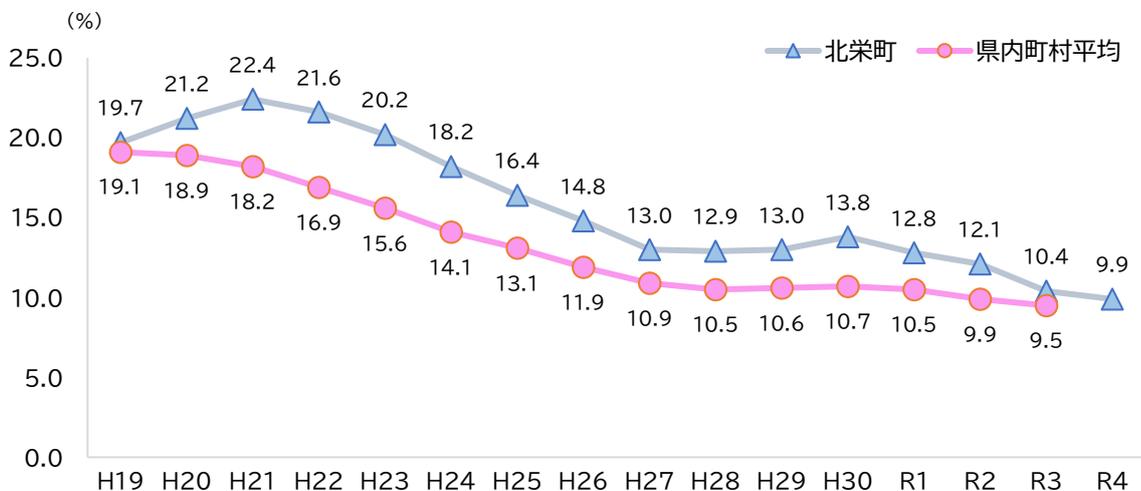
令和4年度の資金不足比率は、すべての会計において、資金不足はなかったため、算定されませんでした。

## 実質公債費比率の推移

実質公債費比率

公債費や公債費に準じた経費を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、財政の硬直化をします。

★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払いなどのその年の返済額が年収の25%以上となった場合、借金漬けになる可能性が高いことを示します。

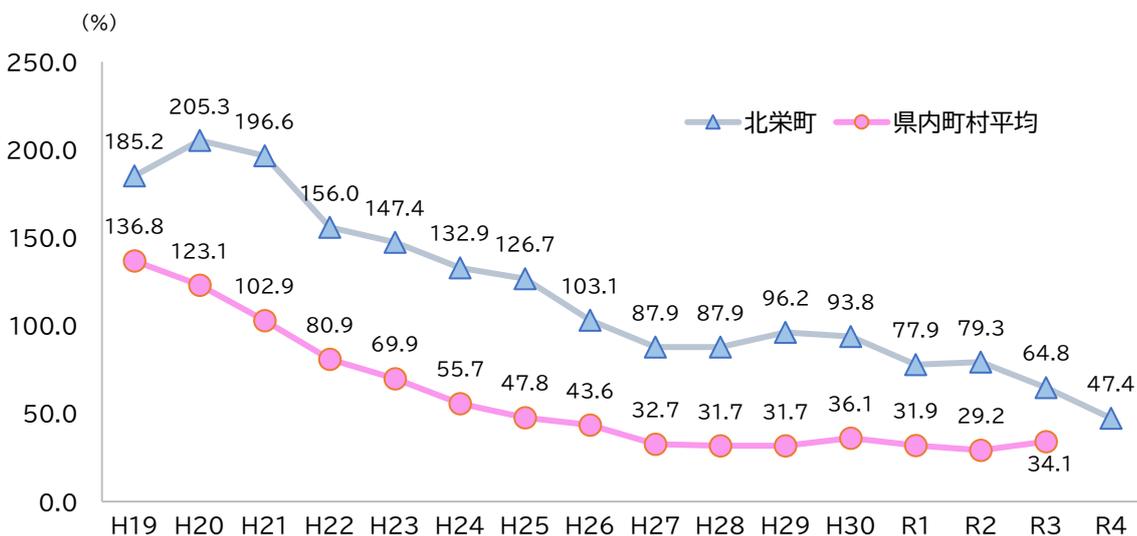


## 将来負担比率の推移

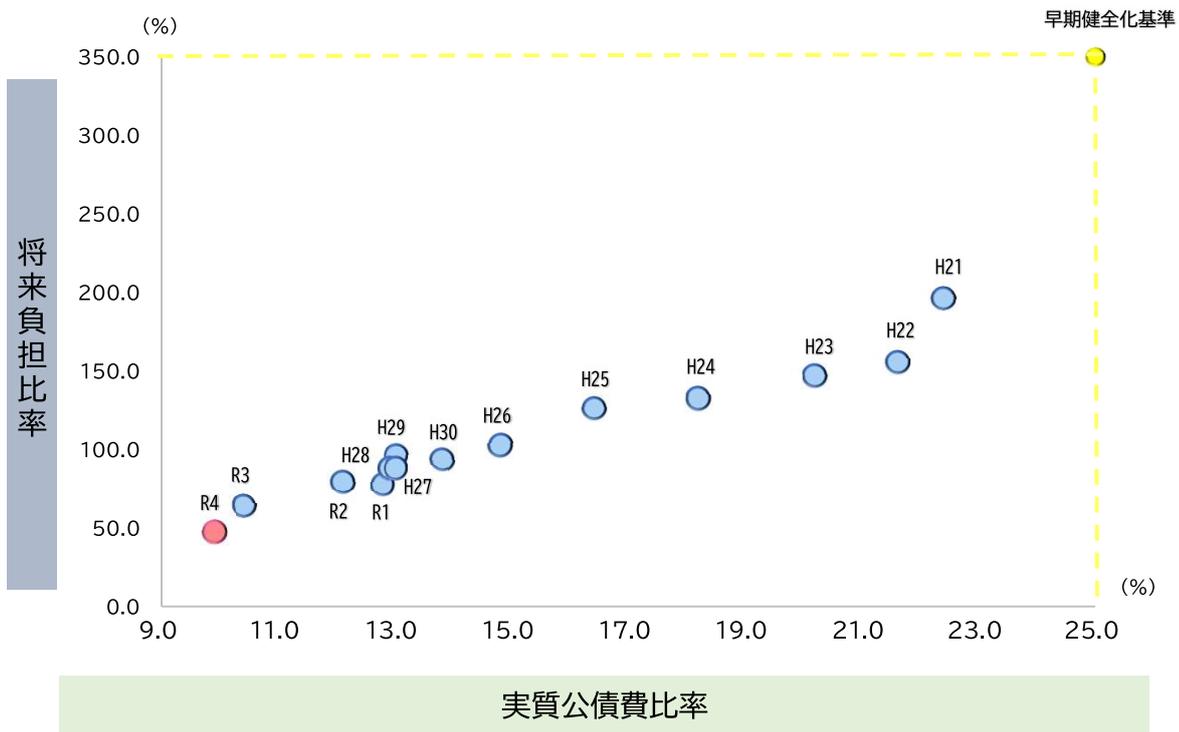
将来負担比率

地方債の現在高など、将来実質的に負担すべき債務を町の収入(標準財政規模)と比較することにより、将来負担の程度を把握するものです。

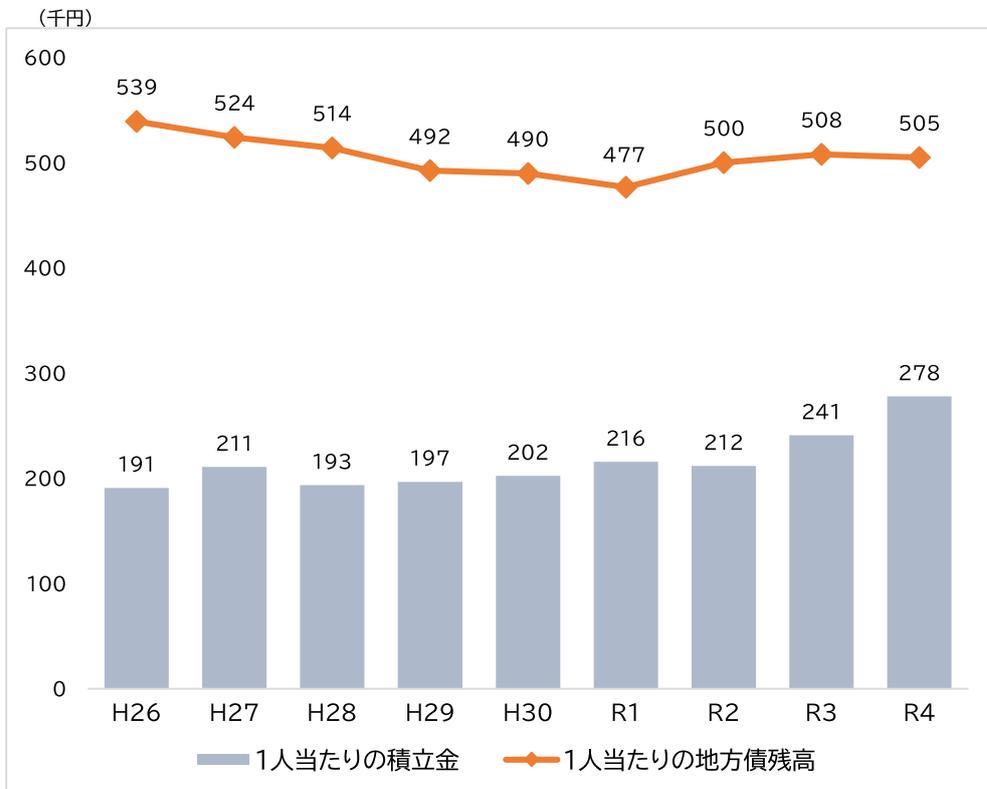
★家計に例えると、ローンやクレジットカードの支払い残高などが、年収の3.5倍以上になると、経済的苦境に陥る状態にあることを示します。



# 実質公債費比率と将来負担比率における状況



# 町民1人当たりの地方債残高・積立金の推移(一般会計)





## 北栄町役場

大栄庁舎 〒689-2292 鳥取県東伯郡北栄町由良宿423-1

電話番号:0858-37-3111

FAX番号:0858-37-5339

北条支所 〒689-2111 鳥取県東伯郡北栄町土下121-1

電話番号:0858-36-3111

FAX番号:0858-36-4595